

TR-IT-0316

音声言語データベースの  
日本語構文解析情報マニュアル  
— 最終版 —

Japanese Syntactic Information Manual  
for ATR Spoken Language Database

竹沢 寿幸

Toshiyuki TAKEZAWA

1999 (平成 11 年). 11.11

内容梗概

ATR 音声翻訳通信研究所で構築した音声言語データベース等には日本語構文解析情報が付与されている。本マニュアルの内容はその最終的な作業基準である。

ATR 音声翻訳通信研究所

ATR Interpreting Telecommunications Research Laboratories

© 株式会社 エイ・ティ・アール音声翻訳通信研究所

© 1999 by ATR Interpreting Telecommunications Research Laboratories

# 目次

1	まえがき	1
2	構文解析情報付与作業の流れとデータ形式	3
2.1	構文解析情報付与作業の流れ	3
2.2	構文解析情報データ (*.JTREE) のデータ形式	3
2.3	形態素解析情報データと構文解析情報データの形態素後処理データとの対応関係	4
2.3.1	形態素解析情報データ (*.JMOR)	5
2.3.2	構文解析情報データ (*.JTREE) の形態素後処理データ	5
3	構文木の選択基準	7
3.1	述語修飾	8
3.1.1	述語句と述語修飾語句	8
3.1.2	述語句の特殊な言語現象	11
3.1.3	述語修飾語句の修飾先候補となる述語が複数存在する場合	13
3.1.4	述語修飾語句の修飾先の決定によって<節>の範囲が決定される場合	15
3.1.5	述語修飾基準で構文木を選択した場合に発生する興味深い現象	16
3.2	節修飾語句と<節>の修飾関係	17
3.2.1	<接続詞>, <文副詞>, <感動詞>と<節>の修飾関係	18
3.2.2	複数の<副詞節>が連続する場合の選択基準	18
3.2.3	<副詞節>と<連体修飾節>の関係	20
3.2.4	複数の<連用接続節>が連続する場合の選択基準	22
3.3	<名詞句>およびその下位カテゴリの内部構造	24
3.3.1	<名詞句>の内部構造	24
3.3.2	<数量詞>の内部構造	27
3.3.3	<日時>, <複合日時>の内部構造	29
3.4	<副詞句>と<副詞節>の構成および選択基準	30
3.4.1	<副詞句>の構成(<節>に<接続助詞>が接続して構成されるものを除く)	30
3.4.2	<節>に<接続助詞>が接続して構成される<副詞句>	32
3.4.3	<節>に<接続助詞>が接続して構成される<副詞節>	34
4	部分木処理の原則	37
4.1	並列表現	38
4.1.1	<並立助詞>を含む並列表現	38
4.1.2	並列要素の間に<接続詞>, <副詞>, <後置詞句>などが出現する場合	41
4.1.3	並列要素の直後に「どちら(とも)」, 「両方(とも)」, 「なに(か)」等が出現する場合	43
4.1.4	<並立助詞>を含まない並列表現	45
4.2	並列表現以外の部分木	47
4.2.1	省略表現	47
4.2.2	倒置表現	47

4.2.3	交差表現	48
4.2.4	呼びかけ	48
4.2.5	その他の部分木処理	49
<b>5</b>	<b>むすび</b>	<b>51</b>
	謝辞	52
	参考文献	53
<b>A</b>	<b>構文解析のための形態素後処理</b>	<b>55</b>
A.1	概要説明	55
A.2	内容説明	56
<b>B</b>	<b>構文解析のための句構造規則</b>	<b>79</b>
B.1	概要説明	79
B.2	内容説明	80

# 第 1 章

## まえがき

ATR 音声翻訳通信研究所で構築した音声言語データベース等には日本語構文解析情報が付与されている。本マニュアルの内容はその最終的な作業基準である。

構文解析情報データ (\*.JTREE) は、音声言語データベース (SLDB: Spoken Language DataBase) の発話に対して、形態素情報データ (\*.JMOR) をもとに構文解析を行ない作成したデータである。

構文解析情報データの構文木付与作業は、「音声言語データベースにおける構文解析情報付与作業マニュアル」[1]に基づいて実施した。(以下、「作業マニュアル」と略す。)

「作業マニュアル」は、構文解析情報データ付与作業の初期に作成された、データ作成の基本方針と処理基準を示す解説書であった。しかし、その後の構文木付与作業において、そこに述べられていない種々の例外事項および細かな判断が要求される言語現象が出現した。

本解説書は、「作業マニュアル」の内容を前提とし、その後の構文解析情報付与作業において新たに必要となった種々の規則、処理方法の原則をまとめている。そのため、「作業マニュアル」と内容的に重複する部分があることも御了承いただきたい。

なお、本解説書(付録を含む)において、“名詞”や“節”等の文法的な術語(terminology)が未定義のまま使用されることについては「作業マニュアル」と同様に御了承いただきたい。

また、構文解析情報データ (\*.JTREE) は形態素情報データ (\*.JMOR) をもとに作成されるので、構文解析情報の理解は形態素情報の知識を前提にする。そのため、本解説書を読み進めるにあたっては、形態素解析情報マニュアル [2, 3, 4] を適宜参照して頂きたい。

本解説書は、本編と付録から構成される。主な内容は次の通り。

- 本編: 構文解析情報データ (\*.JTREE) 全般についての解説、および一般的な句構造規則の適用法と部分木についての解説。
- 付録 A: 形態素情報データ (\*.JMOR) の形態素と、構文解析情報データ (\*.JTREE) の形態素の間の関係を解説。
- 付録 B: 構文解析に用いられた句構造規則 (CFG 規則) を解説。

参照先が付録である場合は、項目番号が、付録 A については m-、付録 B については g- で始まる。

なお、構文解析情報データは音声言語データベース (SLDB) 以外に言語データベース (LDB: Language DataBase) の一部にも付与した。

本解説書の各解説項目において取り上げる例は、SLDB の中に実在するデータとし、ファイル名、発話番号を付した。一方、LDB で新たに追加した句構造規則や処理方法は、各付録の巻末にまとめた。ここでは、LDB の中から実例を取り上げ、ファイル名、発話番号を付した。



## 第 2 章

### 構文解析情報付与作業の流れとデータ形式

#### 2.1 構文解析情報付与作業の流れ

次の 1 から 4 の段階を経て構文解析情報データ (\*.JTREE) が作成される。本解説書は、この 4 段階目の作業について解説する。4 段階目の作業は、(a) ~ (c) の三つに細分化される。

##### 1. 会話の収録

音声を DAT に録音する。

##### 2. 書き起こし … 書き起こしデータ (\*.JTEXT) 作成

DAT を聴取し、文字列に書き起こす。

##### 3. 形態素解析情報付与 … 形態素解析情報データ (\*.JMOR) 作成

文字列データを形態素に分割し、品詞や活用情報を付与する。

##### 4. 構文解析情報付与 … 構文解析情報データ (\*.JTREE) 作成

形態素解析情報データを構文解析して、構文木を作成する。

##### (a) 形態素後処理 (付録 A で解説)

形態素解析結果の品詞体系を構文解析の品詞体系と合わせるため、形態素解析情報データの品詞情報を部分的に修正する。

##### (b) 構文解析 (本編および付録 B で解説)

日本語基本文法およびパーザを用いて機械的に構文解析を行なう。

##### (c) 手作業での修正 (本編で解説)

機械的な構文解析で発生する曖昧性の解消、および日本語基本文法 (付録 B の句構造規則) では記述しきれない言語現象への対応を手作業で行なう。

#### 2.2 構文解析情報データ (\*.JTREE) のデータ形式

構文解析情報データ (\*.JTREE) は、複数の連続する発話データから成る。

また、一つの発話データは、形態素後処理に関するデータ 4 行とその解析結果である発話番号付き構文木データから成る。

前者を形態素後処理データ、後者を構文木データと呼ぶ。

形態素後処理データは、形態素後処理前、形態素後処理後の各々 2 行より成る。形態素後処理前の 2 行は、各々形態素解析情報データ (\*.JMOR) の見出し文字列情報および品詞情報に対応する。形態素後処理後の 2 行は、直後に続く構文木データのターミナルおよびプレターミナルに対応する。

形態素後処理データについては、次節で詳しく説明する。

構文木データは、行頭に1バイト括弧を伴った発話番号の行から開始する。

次行以降に実際の構文木データが続く。部分木などの例外を除き、データは、“(<文> ”で始まり、“(<句点>。))”で終る。

さらに、行頭が1バイト閉じ括弧の行で1発話の構文木データが完結する。

構文木データでは、カテゴリが一つ出現するたびに改行を行ない、句構造規則の適用範囲をパーレンの対応によって表現している。またそれは1バイトスペース2個を単位としたインデントと対応している。

;;(TAS12001-0010-1 形態素後処理前 見出し ニューワシントンホテル で ございま す 。 )	← 形態素後処理前の見出し
;;(TAS12001-0010-1 形態素後処理前 品詞 固有名詞 助動詞 補助動詞 語尾 記号 )	← 形態素後処理前の品詞
;;(TAS12001-0010-1 形態素後処理後 見出し ニューワシントンホテル で ございま す 。 )	← 形態素後処理後の見出し
;;(TAS12001-0010-1 形態素後処理後 品詞 固有名詞 助動詞 補助動詞語幹 語尾 句点 )	← 形態素後処理後の品詞
(TAS12001-0010-1	← 構文木データの開始行
(<文>	← 構文木の内容
(<節>	←            〃
(<動詞句>	←            〃
(<動詞>	←            〃
(<名詞句>	←            〃
(<固有名詞> ニューワシントンホテル))	←            〃
(<助動詞> で))	←            〃
(<補助動詞>	←            〃
(<補助動詞語幹> ございま	←            〃
(<語尾> す)))))	←            〃
(<句点>。))	← 構文木の内容
)	← 構文木データの終了行
;;(TAS12001-0020-1 形態素後処理前 見出し すいません 。 )	← 次の発話データ
;;(TAS12001-0020-1 形態素後処理前 品詞 感動詞 記号 )	(以下の形式は同上)
;;(TAS12001-0020-1 形態素後処理後 見出し すいません 。 )	
;;(TAS12001-0020-1 形態素後処理後 品詞 感動詞 句点 )	
(TAS12001-0020-1	
(<文>	
(<節>	
(<感動詞> すいません))	
(<句点>。))	
)	
:	

注) 記号「←」以下は解説部分であり本来のデータには存在しない。また、記号「←        〃」は同上であることを示す。

### 2.3 形態素解析情報データと構文解析情報データの形態素後処理データとの対応関係

形態素解析情報データと構文解析情報データの形態素後処理データは、次のような対応関係にある。

### 2.3.1 形態素解析情報データ (\*.JMOR)

```

10|111 通訳者: |11111|
10|0010|10|10| ニューワシントンホテル | ニューワシントンホテル | ニューワシントンホテル | 固有名詞 |111|
10|0010|10|20| で | デ | だ | 助動詞 | 形容動詞 | 連用 ||
10|0010|10|30| ございま | ゴザイマ | ございま | 補助動詞 | 特殊サ | 語幹 ||
10|0010|10|40| す | ス | す | 語尾 | 特殊サ | 終止 ||
10|0010|10|50|. ||. | 記号 |111|
    ↑           ↑           ↑
    *num       *str       *mrp

*num   :   発話 ID
*str   :   形態素見出し文字列
*mrp   :   形態素品詞

```

注) 形態素解析情報データ (\*.JMOR) の各フィールドについての詳しい説明は、形態素解析情報データに関する解説書を参照して頂きたい。

### 2.3.2 構文解析情報データ (\*.JTREE) の形態素後処理データ

形態素後処理データの行頭は、記号「;」で始まる。その直後の1バイト括弧から行末の1バイト括弧までが、実際の形態素後処理データの内容である。

```

 *id-1  *id-2 *id-3  *lev   *con  *mrp-1          *mrp-2  ..  ..  *mrp-n
   ↓     ↓     ↓     ↓     ↓     ↓               ↓   ↓   ↓   ↓
;(TAS12001-0010-1| 形態素後処理前 | 見出し | ニューワシントンホテル | で | ございま | す |。 |)
;(TAS12001-0010-1| 形態素後処理前 | 品詞 | 固有名詞 | 助動詞 | 補助動詞 | 語尾 | 記号 |)
;(TAS12001-0010-1| 形態素後処理後 | 見出し | ニューワシントンホテル | で | ございま | す |。 |)
;(TAS12001-0010-1| 形態素後処理後 | 品詞 | 固有名詞 | 助動詞 | 補助動詞 | 語尾 | 句点 |)

*id-1   :   ファイル ID           :   構文解析情報データ (JTREE) の拡張子 .JTREE の直前8文字に相当
*id-2   :   発話番号             :   形態素データ (JMOR) の *num と一致
*id-3   :   発話番号の枝番号     :   発話番号の補助 ID

```

形態素データ (JMOR) では同一人物の連続する発話で句点が出現しても \*num が変更されない場合があるが、構文木では句点を発話の区切りとする必要がある。そこで、前後の発話を区別するために、予め1から始まる1桁の枝番号を用意している。これにより、形態素データ (JMOR) で句点が出現し、しかも \*num が増加しない場合でも、枝番号をインクリメントしてユニークな ID が付与されるようにしている。

なお、構文解析情報データ (JTREE) では、\*id-1、\*id-2、\*id-3 を1バイトハイフンで繋いだ全体を発話番号 (発話 ID) と呼んでいる。

```

*lev   :   形態素後処理種別       :   形態素後処理前、形態素後処理後の別を示す
*con   :   行データ内容種別       :   見出し、品詞の別を示す

*mrp-1 :   第1形態素データ       :   見出し文字列または品詞列が格納されるフィールド
  ⋮     :   ⋮                     :   ⋮
*mrp-n :   第n形態素データ       :   見出し文字列または品詞列が格納されるフィールド

```

\*mrp-1 ~ \*mrp-n に格納される内容は次の通り。

- \*lev が「形態素後処理前」の場合、形態素データ (JMOR) の形態素見出し文字列または品詞列である。
  - \*con が「見出し」であれば、形態素区切りによる見出し文字列が格納される。形態素データ (JMOR) の \*str と一致。



- \*con が「品詞」であれば、形態素区切りによる品詞列が格納される。  
形態素データ (JMOR) の \*mrp と一致。
- \*lev が「形態素後処理後」の場合、形態素データ (JMOR) に形態素後処理を行なった見出し文字列または品詞列である。
  - \*con が「見出し」であれば、形態素区切りによる見出し文字列が格納される。
  - \*con が「品詞」であれば、形態素区切りによる品詞列が格納される。

注) 行頭の記号「;」はその行が、直後に出現する構文木データについてのコメントであることを示す。

## 第 3 章

### 構文木の選択基準

構文木は、形態素後処理 (詳細は付録 A) の後、句構造規則 (詳細は付録 B) によってパーザで生成される。この時、パーザは正解木の候補を複数個生成する場合があるので、その中から正解を選択する必要がある。ここでは、正解木の選択基準についてまとめた。

構文木は、その構造によって語句の修飾関係を表している。構文木の修飾関係は大きく三つに分けられる。

#### A 述語修飾関係

#### B 節と節との修飾関係

#### C 名詞句などの内部構造における修飾関係

構文木は、以上の修飾関係について次の基準をどの程度満たしているかを総合的に判断して選択する。

- (1) それぞれの述語修飾語句は、修飾先として適切な述語が存在する場合、その述語修飾関係を選択する。  
(→ 3.1.1.2 節参照)
- (2) また、述語修飾以外の修飾関係についても、最適な修飾先が存在する場合、その修飾関係を選択する。  
(→ 3.1.1.3 節参照)  
ただし、すべての述語修飾語句がそれぞれ最適と思われる述語を修飾している木を、句構造規則によって構成することは、常に可能ではない。また、述語修飾以外の修飾関係についても同様のことがいえる。その場合、次の基準を適用する。
- (3) 上記の (1) および (2) が同時に満たされない場合は、(1) が満たされるような構文木を優先する。
- (4) 述語修飾語句は、述語修飾語句同士の修飾関係 (→ 3.1.1.3 節参照) が生じない限り、述語修飾をすることを優先する。
- (5) いずれかの述語修飾語句が意味的に正しくない修飾先しか得られない場合であっても、4章に示した部分木の処理の原則にあてはまらず、部分木として処理できない場合には、パーザが生成した構文木の中から最も妥当と判断された木を選択することがある。
- (6) パーザが複数の正解候補を生成した場合、なるべく過剰な中間カテゴリを生成していない構文木を選択する。

本章では、構文木の表す修飾関係が問題になるので、実例として構文木を示す。実例のフォーマットは次の通り。

```

full sentence
sample-TXXdddd-d : 参照した構文解析情報データ (*.JTREE) のファイル ID- 発話番号 - 枝番号
:
  (<mrp>
#   (<mrp>
#     (<mrp> str)
#     (<mrp> str)) ;; comm
:
  (<mrp>
   (<mrp> str)
   (<mrp> str)))
:

full sentence : 例示した木の一部分が省略されている場合、参考のために全文を示す
               また、解説に関連した部分については、記号【 】で囲む
mrp           : カテゴリ名
str           : 文字列
#             : 例示している修飾関係などの部分 (#がない場合は、木全体がその例であることを示す)
;; comm      : 記号「;;」以下に解説文との対応関係を示すコメントなどを記す

```

木の構造が大き過ぎる場合は、必要な部分だけを取り出して示す。その場合、省略部を記号“:”で示す。また、類例を文だけで例示する場合は、次のような表記を用いる。

記号【 】で囲まれた部分が例示対象

```

sample-TXXdddd-d : ファイル ID- 発話番号 - 枝番号
【str|str|str】 |str|str|str|str str : 形態素後処理後見出し文字列
【mrp|mrp|mrp】 |mrp|mrp|mrp|mrp mrp : 形態素後処理後品詞列

```

### 3.1 述語修飾

述語句、述語修飾語句の構成、および述語修飾の選択基準を述べる。

#### 3.1.1 述語句と述語修飾語句

##### 3.1.1.1 述語句を構成するカテゴリ

句構造規則の体系の中で述語としての機能を持つカテゴリは、次の通りである。

<本動詞>, <形容詞>, <形容名詞>, <サ変名詞>, <助動詞>, <態の助動詞>, <感動詞>

それぞれが述語として用いられた場合について述べる。

##### (1) <動詞>の構成

次のカテゴリから、<動詞>が構成される。

<本動詞>, <形容詞>, <形容名詞>, <サ変名詞>, <助動詞>

```

sample-TRS12001-0120-1
(<文>
  (<節>
    (<動詞句>
      # (<動詞>
        (<副詞句>
          (<副詞> 少々))
        # (<動詞>
          (<本動詞>
            (<接頭辞> お)
            (<本動詞> 待))
            (<語尾> ち)))
          (<補助動詞>
            (<補助動詞語幹> くださ)
            (<語尾> い))))
    (<句点> 。))

```

## (2) <感動詞> の構成

```

sample-TIS32002-0020-1
(<文>
  (<節>
    # (<感動詞>
      (<名詞句> お 電話)
    # (<感動詞> ありがとうございます)))
  (<句点> 。))

```

### 3.1.1.2 述語修飾語句

ここで言う述語修飾語句とは、必ずしも述語を修飾するとは限らないが、述語を修飾する機能を持つ語句を指す。

述語修飾語句には、次のカテゴリがある。

1. <後置詞句>
2. <連用修飾>
3. <副詞句>
4. <数量詞>
5. 述語修飾に必要な助詞類を伴わない<名詞句>、稀に<名詞節> (「作業マニュアル」にある格助詞の省略の場合)

これらの述語修飾語句が<動詞>を修飾する例を次に示す。

```

sample-TCC23102-0100-2
(<文>
  (<節>
    (<感動詞>
      (<感動詞> はい)
      (<読点> 、))
    (<節>
      (<動詞句>
        (<動詞句>
          # (<動詞>
          # (<連用修飾> ;;< ←<連用修飾> が<動詞> を修飾
            (<形容名詞> 確か)
            (<助動詞> に))
          # (<動詞>
          # (<後置詞句> ;;< ←<後置詞句> が<動詞> を修飾
            (<名詞句>
              (<連体詞句>
                (<名詞句>
                  (<人名> ハリス)
                  (<接尾辞> 様))
                (<連体助詞> の))
              (<名詞句>
                (<普通名詞> ほう)))
            (<格助詞> へ))
          # (<動詞>
          # (<後置詞句> ;;< ←<後置詞句> が<動詞> を修飾
            (<名詞句>
              (<固有名詞> トーヨープランニング社))
            (<格助詞> から))
          # (<動詞>
          # (<数量詞> ;;< ←<数量詞> が<動詞> を修飾
            (<数詞> 一)
            (<接尾辞> 通))
          # (<動詞>
            (<本動詞> 届)
            (<語尾> い))))))
      (<助動詞>
        (<助動詞語幹> てお)
        (<語尾> り)))
    (<助動詞>
      (<助動詞語幹> ま)
      (<語尾> す))))))
  (<句点> 。))

```

### 3.1.1.3 述語修飾語句間の修飾関係

述語修飾語句同士の間にも、意味的な修飾関係が発生する場合がある。組合せは次の5通りである。

1. <副詞> (句) と <名詞句> の間の修飾関係
2. <副詞> と <数量詞> の間の修飾関係
3. <副詞> と <副詞句> の間の修飾関係
4. <副詞> (句) と <連用修飾> の間の修飾関係
5. <数量詞> と <連用修飾> の間の修飾関係

1, 2については3.3で、3については3.4で解説する。4と5については、例外的なので付録Bを参照されたい。

### 3.1.2 述語句の特殊な言語現象

次に挙げる言語現象や表現においては、特別に設けられた規則によって生成された構文木、あるいは、統一的に選択された構文木を他の候補より優先する。

#### 3.1.2.1 コントロール現象

格のコントロール現象は、句構造規則 g-1.47 の格のコントロール現象のための規則によって解析される。ただし、〈態の動詞句〉は、〈動詞〉と並行的な関係にあるため、述語修飾語句の係り方の選択基準は共通である。

受身の例を示す。

```

【朝食代は部屋代に含まれ】てますか。
sample-TAS13001-0270-1
:
<動詞句>
#   <態の動詞句>
#   <後置詞句>
#       <名詞句> 朝食代)
#       <係助詞> は))
#   <態の動詞句>
#   <後置詞句>
#       <名詞句> 部屋代)
#       <格助詞> に))
#   <態の動詞句>
#   <態の動詞>
#       <本動詞> 含)
#       <語尾> ま))
#   <態の助動詞>
#       <受身助動詞語幹> れ)))))
<助動詞>
:
```

使役についても、受身と同様に格のコントロール現象のための規則によって解析される。

#### 3.1.2.2 変化の構文

述語句に〈本動詞〉「な(る)」が接続し、主体や対象の変化を表す場合、変化の構文のための句構造規則 g-1.13.2 (〈本動詞〉 <--> (〈動詞句〉 <本動詞>)) によって生成される木を選択する。

```

sample-TDS13005-0180-1
(<文>
  (<節>
    (<動詞句>
      (<動詞句>
        (<動詞>
          # (<本動詞>
            # (<動詞句>
              # (<動詞>
                # (<後置詞句>
                  # (<名詞句>
                    # (<連体詞句>
                      # (<名詞句>
                        # (<普通名詞> ワイン))
                        # (<連体助詞> の))
                        # (<名詞句> お 値段))
                        # (<係助詞> は))
                        # (<形容名詞> 別))
                        # (<助動詞> に))
                        # (<本動詞> な))
                        (<語尾> っ))
                    (<助動詞>
                      (<助動詞語幹> てお)
                      (<語尾> り)))
                (<助動詞>
                  (<助動詞語幹> ま)
                  (<語尾> す)))
          (<句点> 。))
        )
      )
    )
  )
)

```

注) 句構造規則 g-1.13.2 の規則に該当するカテゴリの並びによって、この構文以外でも木が生じる場合があるが、この構文に限定して用いられる規則である。

また、<動詞>に<本動詞>「な(る)」が接続する場合、複合動詞のための句構造規則 g-1.13.1 (<本動詞> <--> (<動詞> <本動詞>))によって生成される木を選択する。

### 3.1.2.3 強調表現

強調表現は、強調表現に用いられる<動詞句>の構成規則 g-1.14 によって表現される。全体否定の例を示す。

```

sample-TCS33050-0220-2
(<文>
  (<節>
    (<動詞句>
      (<動詞句>
        #   (<動詞句>
        #   (<動詞>
        #     (<後置詞句>
        #     (<名詞句>
        #       (<代名詞> 彼))
        #       (<係助詞> は))
        #       (<動詞>
        #       (<名詞句>
        #         (<普通名詞> ベジタリアン))
        #         (<助動詞> で))
        #         (<係助詞> は))
        #         (<助動詞>
        #           (<助動詞語幹> な)
        #           (<語尾> い)))
        #           (<終助詞> ので)))
        (<句点> 。))

```

その他、部分否定、二重否定、逆接の条件節で用いられる場合がある。

### 3.1.3 述語修飾語句の修飾先候補となる述語が複数存在する場合

述語修飾語句の修飾先候補となる述語が複数存在する場合、いずれの述語を選択するかは、文意あるいは文脈から判断する。

判断が難しい場合には、述語修飾語句に最も近い述語を選択するという、近接性優先の原則を適用する。

#### 3.1.3.1 述語修飾における近接性優先の原則が適用される例

複文で、述語修飾語句がどちらの述語を修飾しても解釈が成り立ち、かつ、文脈から判断してもどちらも意味が通じる場合、先行する述語の修飾を優先することを原則とする。



```

sample-TCS33064-0090-1
(<文>
  (<節>
    (<動詞句>
      (<動詞>
        (<後置詞句>
          (<節>
            (<動詞>
              #
              #
              (<副詞句>
                (<副詞> まあ) ;; 述語修飾語句
              )
              (<動詞>
                (<副詞句>
                  (<副詞> そう)
                  (<助動詞> だ))) ;; 述語 1
                (<引用助詞> と))
              #
              (<動詞>
                (<本動詞> 思) ;; 述語 2
                (<語尾> い))
              (<助動詞>
                (<助動詞語幹> ま)
                (<語尾> す)))
          (<句点> 。))
    )
  )

```

### 3.1.3.2 述語修飾における近接性優先の原則が適用されない例

明らかに述語修飾語句が後方の述語を修飾している場合は、近接性の原則を適用しない。

```

sample-TAS13003-0250-1
(<文>
  (<節>
    (<動詞句>
      (<動詞>
        (<後置詞句>
          (<節>
            (<動詞>
              #
              #
              (<副詞句>
                (<副詞> たぶん) ;; 述語修飾語句
              )
              (<動詞>
                (<名詞句>
                  (<節>
                    (<動詞句>
                      #
                      #
                      (<形容名詞> 同じ)) ;; 述語 1 (「たぶん」は、「同じ」を修飾しない)
                      (<副助詞> ぐらい)
                      (<助動詞> だ))) ;; 述語 2
                    (<引用助詞> と))
                    (<動詞>
                      (<本動詞> 思) ;; 述語 3
                      (<語尾> い))
                    (<助動詞>
                      (<助動詞語幹> ま)
                      (<語尾> す)))
                (<句点> 。))
          )
        )
      )
    )
  )

```

### 3.1.4 述語修飾語句の修飾先の決定によって<節>の範囲が決定される場合

複数の述語句が存在する場合、複数の<節>が構成される可能性がある。その場合、述語修飾語句の修飾先は、その節が、他の語句や<節>とどのような修飾関係を持つかを決定するだけでなく、<節>の構成範囲を決めることにもなる。

#### 3.1.4.1 いわゆる形式名詞を含む表現での述語の選択例

次の例では、<後置詞句>「お客様の方は」は、いわゆる形式名詞「こと」の補文の中にある述語「ご！希望」を修飾する。

はい、で、確かに【お客様のほうは一泊百五十ドルをご希望】ということになっております。

sample-TCC22114-0120-1

```

:
(<動詞>
  (<後置詞句>
    (<名詞句>
      (<連体詞句>
        (<節>
          (<動詞>
            #   (<後置詞句>
                  (<名詞句>
                    (<連体詞句>
                      (<名詞句> お客様)
                      (<連体助詞> の))
                    (<名詞句>
                      (<普通名詞> ほう)))
                  (<係助詞> は))
          (<動詞>
            (<後置詞句>
              (<名詞句>
                (<数量詞>
                  (<数量詞>
                    (<数詞> 一)
                    (<接尾辞> 泊))
                  (<数量詞>
                    (<数詞> 百五十)
                    (<接尾辞> ドル))))
                (<格助詞> を))
            #   (<サ変名詞>
                  (<接頭辞> ご)
                  (<サ変名詞> 希望))))))
#   (<連体助詞> という))
#   (<名詞句>
#   (<普通名詞> こと)))
  (<格助詞> に))
(<動詞>
  (<本動詞> な)
  (<語尾> っ))))
:

```

#### 3.1.4.2 引用句のある文での述語の選択例

次の例のような場合、<後置詞句>「ミラー様より」は、「…という連絡が入っ(て)」の「入る」を修飾する。



```

sample-TAS12020-0060-1
(<文>
  (<節>
    (<感動詞>
      (<感動詞> はい)
      (<読点> ,))
    (<節>
      (<動詞句>
        (<動詞>
          # (<後置詞句>
              (<名詞句>
                (<日時> 二十四日))
              # (<格助詞> から))
            (<動詞>
              # (<名詞句>
                  (<連体詞句>
                    (<後置詞句>
                      (<名詞句>
                        (<日時> 二十九日))
                      # (<格助詞> まで))
                    # (<連体助詞> の))
                    # (<名詞句>
                      (<数量詞>
                        (<数詞> 六)
                        (<接尾辞> 泊))))
                  (<助動詞>
                    (<助動詞語幹> で)
                    (<語尾> す))))
                (<終助詞> ね))))
      (<句点> 。))
  )

```

### 3.2 節修飾語句と<節>の修飾関係

ここでは、複数の述語が存在した場合に構成される複数の節相当語句の間の修飾関係について、選択の基準を述べる。

節相当語句に該当するのは、次のカテゴリである。

- 1) <節>
- 2) <副詞節>
- 3) <連用接続節>
- 4) <連体修飾節>
- 5) <感動詞>

<節> は、句構造規則 g-2.1.1 により <節> 同士で接続する場合も多い。

<感動詞> は、そのまま <節> を修飾するが、<節> に修飾される場合は <節> に書き換えられる。

被修飾節になるカテゴリは、<節>, <連体修飾節> である。

<連体修飾節> は、節レベルでの修飾関係においては、被修飾節としてのみ存在する。

また、節修飾語句として次のカテゴリがある。

- a) <接続詞>

## b) &lt;文副詞&gt;

注) <節> の関係性まで考慮に入れると複数の選択条件が共起する。そのため、<副詞節> (または<連用接続節>) と<節> などの、節レベルでの修飾関係には、(特に羅列的な発話の場合) それほどの重要度を持たせなくてよいという基準が作業初期から存在する。

## 3.2.1 &lt;接続詞&gt;, &lt;文副詞&gt;, &lt;感動詞&gt; と&lt;節&gt; の修飾関係

<接続詞> は<節> を修飾するが、再帰的に<節> が構成されている場合に、特定の<節> との強い修飾関係が見られない限り、後続の<節> からの再帰的構成を優先し、最終的に構成された<節> を修飾する木を選択する。

次の例では、<接続詞> 「それから」が「ホテルニューヨークです」という<節> を修飾する木を選ばない。

```

【それから】【ホテルニューヨークですけれども、百ドルちょうどになります】。
sample-TBS12002-0130-1
<文>
  <節>
#   <接続詞> それから)
#   <節>
    <副詞節>
      <節> ;: この<節> を修飾しない
        <動詞>
          <名詞句>
            <固有名詞> ホテルニューヨーク))
          <助動詞>
            <助動詞語幹> で)
            <語尾> す)))
        <接続助詞>
          <接続助詞> けれども)
          <読点> ,)))

```

<文副詞> と<節> の修飾関係、<感動詞> と<節> の修飾関係についても同様である。

## 3.2.2 複数の&lt;副詞節&gt; が連続する場合の選択基準

## 3.2.2.1 &lt;副詞節&gt; が後ろの&lt;節&gt; から順に&lt;節&gt; を構成する場合

複数の<副詞節> が連続する場合、特定の修飾関係をもつ<節> を構成する必要がある限り、最後の<節> から順に<節> を構成する木を選択する。

【日によっても変わりますが、】 【条件さえよければ】 よく見えます。

sample-T0S33009-0190-1

<文>

<節>

# <副詞節>

<節>

<動詞句>

:

<接続助詞>

<接続助詞> が)

<読点>、))

# <節>

# <副詞節>

<節>

:

<接続助詞> ば))

# <節>

<動詞句>

:

<助動詞>

<助動詞語幹> ま)

<語尾> す))))))

<句点>。))

### 3.2.2.2 <副詞節>が再帰的に<副詞節>を構成している場合

<副詞節>をネストさせた方が、<節>同士の関係がより適切に表される場合、<副詞節>がネストしている木を選択する。

【そこから地下鉄でサウスフェリー駅までいらっしゃいますと、】 【フェリーでリパティ島へ渡れるんですが、】 今日はまだ遅いですよ。

sample-TIS32002-0110-2

(<文>

(<節>

# (<副詞節>

(<節>

# (<副詞節>

(<節>

(<動詞句>

(<動詞>

(<後置詞句>

(<名詞句>

(<代名詞> そこ))

(<格助詞> から))

:

(<接続助詞>

(<接続助詞> と)

(<読点> 、))

# (<節>

(<動詞句>

:

(<助動詞>

(<助動詞語幹> で)

(<語尾> す))))))

(<接続助詞>

(<接続助詞> が)

(<読点> 、))

(<節>

(<動詞句>

:

(<助動詞>

(<助動詞語幹> で)

(<語尾> す)))

(<終助詞> よ))))

(<句点> 。))

### 3.2.3 <副詞節> と <連体修飾節> の関係

#### 3.2.3.1 <副詞節> が <連体修飾節> を修飾する場合

<副詞節> が、後続の <名詞句> を修飾する <連体修飾節> に含まれる場合、<副詞節> が <連体修飾節> を修飾する木を選択する。

はい、【午前零時十五分に出発して、】【午前七時五分に到着する】便がございます。

sample-THS32003-0170-1

```

<<文>
  <<節>
    <<感動詞>
      <<感動詞> はい)
      <<読点> 、))
    <<節>
      <<動詞>
        <<後置詞句>
          <<名詞句>
            # <<連体修飾節>
              # <<副詞節>
                <<節>
                  <<動詞句>
                    <<動詞>
                      <<後置詞句>
                        <<名詞句>
                          <<複合日時>
                            <<普通名詞> 午前)
                            <<複合日時>
                              <<日時> 零時)
                              <<日時> 十五分)))
                          <<格助詞> に))
                          <<サ変名詞> 出発))
                          <<補助動詞> し)))
                        <<接続助詞>
                          <<接続助詞> て)
                          <<読点> 、)))
                    # <<連体修飾節>
                      <<動詞句>
                        <<動詞>
                          <<後置詞句>
                            <<名詞句>
                              <<複合日時>
                                <<普通名詞> 午前)
                                <<複合日時>
                                  <<日時> 七時)
                                  <<日時> 五分)))
                              <<格助詞> に))
                              <<サ変名詞> 到着))
                              <<補助動詞> する)))
                            # <<名詞句>
                              <<普通名詞> 便))
                              <<格助詞> が)
                          <<動詞>
                            <<本動詞> ございま)
                            <<語尾> す))))))
                  <<句点> 。))

```

### 3.2.3.2 <副詞節> が <連体修飾節> を修飾しない場合

<副詞節> が <連体修飾節> の直前に出現する場合、<副詞節> が一般的な条件や理由などを表している場合は、<副詞節> は <連体修飾節> を修飾しない。



【頭痛なんで、】 【その薬を買いたいです】。

sample-TVS33001-0050-1

```

(<文>
  (<節>
    # (<副詞節>
      (<節>
        (<動詞>
          (<名詞句>
            (<普通名詞> 頭痛))
            (<助動詞> な)))
        (<接続助詞>
          (<接続助詞> んで)
          (<読点> 、)))
      (<節>
        (<動詞句>
          (<名詞節>
            # (<連体修飾節>
              :
              (<準体助詞> ん))
            (<助動詞>
              (<助動詞語幹> で)
              (<語尾> す))))))
        (<句点> 。))
  )

```

### 3.2.4 複数の<連用接続節>が連続する場合の選択基準

複数の<連用接続節>が連続する場合、優先すべき修飾関係をもつ<節>を構成する必要がある限り、最後の<節>から順に再帰的に<節>を構成する木を選択する。

## 3.2.4.1 &lt;連用接続節&gt;が後ろの&lt;節&gt;から順に&lt;節&gt;を構成する場合

【市は毎月二十一日、に行われ、】【古い着物、等があり、】【とても人出が多く】賑やかでございます。

sample-TCS33028-0050-1

```

<文>
# <節>
# <連用接続節>
  <態の動詞句>
    :
    <態の動詞句>
      <態の動詞>
        (<本動詞> 行)
        (<語尾> わ))
      <態の助動詞>
        (<受身助動詞語幹>
          (<受身助動詞語幹> れ)
          (<読点> 、))))))
# <節>
# <連用接続節>
  <動詞>
    :
    <動詞>
      (<本動詞> あ)
      (<語尾>
        (<語尾> り)
        (<読点> 、))))))
# <節>
# <連用接続節>
  :
  <動詞>
    (<形容詞> 多)
    (<語尾> く))))))
# <節>
  <動詞句>
    <動詞句>
      (<形容名詞> 賑やか)
      (<助動詞> で))
    <補助動詞>
      (<補助動詞語幹> ございま)
      (<語尾> す))))))
<句点> 。)

```

## 3.2.4.2 &lt;連用接続節&gt;が&lt;連体修飾節&gt;を修飾する場合

<連用接続節>が、後続の<名詞句>を修飾する<連体修飾節>に含まれる場合、<連用接続節>が<連体修飾節>を修飾する木を選択する。

ええ、【とても有名で】【人気のある】ところです。

sample-TCS32019-0110-1

```

<<文>
  <<節>
    <<感動詞>
      (<<感動詞> ええ)
      (<<読点> 、)
    <<節>
      <<動詞>
        (<<名詞句>
          # (<<連体修飾節>
            # (<<連用接続節>
              (<<動詞句>
                (<<動詞>
                  (<<副詞句>
                    (<<副詞> とても))
                    (<<形容名詞> 有名))
                    (<<助動詞> で)))
              # (<<連体修飾節>
                (<<動詞>
                  (<<後置詞句>
                    (<<名詞句>
                      (<<普通名詞> 人気))
                      (<<格助詞> の))
                    (<<動詞>
                      (<<本動詞> あ)
                      (<<語尾> る))))))
                (<<名詞句>
                  (<<普通名詞> ところ)))
              (<<助動詞>
                (<<助動詞語幹> で)
                (<<語尾> す))))))
        (<<句点> 。))
  
```

### 3.3 <名詞句> およびその下位カテゴリの内部構造

ここで述べる<名詞句>の下位カテゴリとしては、句構造規則 g-1.34 の<名詞句>を構成し得るカテゴリのうち、<数量詞>、<日時>、<複合日時>を扱う。

注) 住所を表す<名詞句>の構成については、出現頻度が極端に少ないので割愛する。

#### 3.3.1 <名詞句>の内部構造

<名詞句>の内部には様々な修飾関係が存在する。それを構文木で可能な限り表現する。

##### 3.3.1.1 <連体詞句>による<名詞句>の修飾

<名詞句>は<連体詞句>に修飾され、<名詞句>を構成する。この句構造規則は再帰的であるため、<連体詞句>が多いほど候補となる構文木が多く生成される。

ここでは、そのような内部構造を持つ<名詞句>の選択基準を述べる。

→ <連体詞句>を構成する要素については、句構造規則 g-1.32 参照

##### (1) 優先すべき修飾関係が認められる<名詞句>

<連体詞句>による<名詞句>の修飾関係が複数出現する場合、その中で、同レベルの概念のまとまり・意味的なまとまりを持つ語句が構成されるときは、その修飾関係を優先する。

その場合、一般的な口調上のまとまりよりも、論理的な集合の構成を意識して選択する。

```
sample-TKS32004-0160-1
(<名詞句>
  (<連体詞句>
    (<名詞句>
      (<人名> 鈴木)
      (<接尾辞> 様))
    (<連体助詞> の))
  (<名詞句>
    (<連体詞句>
      (<名詞句>
        (<普通名詞> ホテル))
      (<連体助詞> の))
    (<名詞句>
      (<連体詞句>
        (<名詞句> お 電話番号)
        (<並立助詞> と))
      (<名詞句> お 部屋 番号))))
```

注) 上の例においては、「鈴木様所有の」という意味で使われているのではない限り「鈴木様のホテル」という<名詞句>は採用しない。また「ホテルの」は「お電話番号」と「お部屋番号」の両方を修飾しているので「ホテルのお電話番号」という<名詞句>は選択しない。

## (2) 優先すべき修飾関係が認められない<名詞句>

(1)の基準にあてはまらず、特に優先すべき修飾関係が存在しないときは、出現順に<連体詞句>が<名詞句>を修飾する木を選択する。

```
sample-TUS33006-0250-1
(<名詞句>
  (<連体詞句>
    (<名詞句>
      (<連体詞句>
        (<名詞句>
          (<数詞> 零 三))
          (<連体助詞> の))
        (<名詞句>
          (<数詞> 三 五 四 二))))
    (<連体助詞> の))
  (<名詞句>
    (<数詞> 五 三 一 一))
```

### 3.3.1.2 <連体修飾節>による<名詞句>の修飾

<名詞句>は<連体修飾節>によっても修飾される。(下の例では<名詞句>がさらに<連体詞句>によって修飾されている。)

```

sample-TSS33001-0200-1
<<名詞句>
  <<連体詞句>
    <<名詞句>
      (<普通名詞> 会席料理))
    <<連体助詞> という))
# <<名詞句>
# <<連体修飾節>
  <<動詞句>
    <<動詞>
      (<<後置詞句>
        <<名詞句>
          (<<連体詞句>
            <<名詞句>
              (<固有名詞> 京都))
            <<連体助詞> の))
          <<名詞句>
            (<<連体詞句>
              <<名詞句>
                (<普通名詞> 季節))
              <<連体助詞> の))
            <<名詞句>
              (<普通名詞> 味))))
      (<格助詞> を))
    <<動詞>
      (<<副詞句>
        (<<副詞> うまく))
        (<サ変名詞> コーディネート)))
      (<<補助動詞> し))
      (<<助動詞> た)))
# (<<名詞句> 京 料理)))

```

### 3.3.1.3 <副詞> が <名詞句> を修飾して構成される <名詞句>

「できるだけ」、「だいたい」、「ちょうど」など、程度を表す<副詞>が後続の数量や日時を表す<名詞句>を修飾する場合に限る。

```

sample-TCS13036-0070-1
<<後置詞句>
  <<名詞句>
    <<連体詞句>
      <<名詞句>
# (<<副詞> できるだけ)
# (<<名詞句>
# (<普通名詞> 多く)))
      <<連体助詞> の))
    <<名詞句>
      (<<連体詞句>
        <<名詞句> お 寺)
        (<並立助詞> や))
      <<名詞句>
        (<普通名詞> 神社)))
    (<格助詞> を))

```

## 3.3.1.4 &lt;名詞句&gt; に&lt;副助詞&gt; が接続して構成される &lt;名詞句&gt;

```

sample-TSS33002-0130-1
<動詞>
  (<後置詞句>
    (<名詞句> ご 予算)
    (<係助詞> は))
<動詞>
  (<後置詞句>
#   (<名詞句>
#   (<名詞句>
#   (<代名詞> どれ))
#   (<副助詞> ぐらい))
    (<格助詞> を))
<動詞>
  (<本動詞>
    (<接頭辞> お)
    (<本動詞> 考え))))

```

注) 「それ|だけ」、「どれ|ぐらい」などの(<代名詞> <副助詞>)に、<連体助詞>、<格助詞>、<係助詞>、<助動詞> が接続する場合は<名詞句>として扱う。(→ <副詞句> を選択する場合については 3.4.1.2 節参照)

## 3.3.1.5 同格表現

連続する<名詞句>が同一の対象を表し、その間に、「であるところの」などの語句が補えるような場合、3.3.1.1 の<連体詞句>による<名詞句>の修飾における<連体助詞>の省略、あるいは、3.3.1.2 の<連体修飾節>による<名詞句>の修飾における述語の省略と考えることができる。

そのような場合、同格表現として、次のような<名詞句>を構成する。

```

sample-T0532007-0170-1
<名詞句>
  (<連体詞句>
#   (<名詞句>
#   (<名詞句>
    (<連体修飾節>
      (<動詞>
        (<形容詞> 美し)
        (<語尾> い)))
    (<名詞句>
      (<普通名詞> 山)))
#   (<名詞句>
    (<固有名詞> グランドティートン)))
  (<並立助詞> と))
<名詞句>
  (<固有名詞> ジャクソン湖))

```

注) また、同格と見做す二つの<名詞句>の間に<読点>がある場合は、句構造規則 g-2.19.2 を適用する。

## 3.3.2 &lt;数量詞&gt; の内部構造

<数量詞> は、再帰的な規則群によって構成されるため複雑な内部構造を持つ場合がある。その場合、特に多くの候補が生成されるので、選択基準を示す。また<数量詞>を<副詞>、<副助詞>などが前後から修飾する場合の接続順序にも基準が存在する。

## 3.3.2.1 &lt;数量詞&gt; に前接する数量詞構成要素

<数量詞> に前接する数量詞構成要素には、<接頭辞>、<副詞> がある。

```
sample-TCS33042-0120-1
  (<数量詞>
  # (<数量詞>
  # (<接頭辞> 約)
  # (<数量詞>
    (<数詞> 十五万)
    (<接尾辞> 円)))
  (<副助詞> ほど))
```

注) <数量詞> は、<副助詞> と共起する頻度が高い。その場合、先に <接頭辞> が <数量詞> を修飾する構造を選択する。

## 3.3.2.2 &lt;数量詞&gt; に後接する数量詞構成要素

<数量詞> に後接する数量詞構成要素には、<副助詞>、<副詞>、<接尾辞>、<連用修飾> がある。

```
sample-TBS32002-0240-1
  (<後置詞句>
  (<名詞句>
  # (<数量詞>
  # (<数量詞>
    (<数量詞>
      (<数詞> 一)
      (<接尾辞> 泊))
    (<数量詞>
      (<数詞> 百)
      (<接尾辞> ドル)))
  # (<副詞> ちょうど))
  (<格助詞> と))
```

注) <普通名詞> 「以内」、「程度」、「以上」、<サ変名詞> 「前後」などが後続する場合は、名詞複合語句にまとめる。(→ 形態素後処理 m-3.2.3.2 数量詞相当語句に関する処理 参照)

## 3.3.2.3 連続する&lt;数量詞&gt; が一つの&lt;数量詞&gt; を構成する場合

いくつかの数量詞構成要素が連続している場合、<名詞句> の内部構造と同様に、意味的なまとまりで小単位の<数量詞> を構成する。それらの小単位の<数量詞> が別々に述語修飾する必要がない場合は、より近い修飾関係を持つ<数量詞> 同士から順に接続して、全体で一つの<数量詞> を構成する。

sample-TAS13008-0060-1

(<名詞句>

(<連体詞句>

(<名詞句>

# (<数量詞>

# (<数量詞>

# (<数量詞> ; ; 割合の基準 1

(<数詞> 一)

(<接尾辞> 泊))

# (<数量詞>

# (<数量詞> ; ; 割合の基準 2

(<数詞> 一)

(<接尾辞> 人))

# (<数量詞> ; ; 値を表す<数量詞>

(<数詞> 一万五千)

(<接尾辞> 円)))

(<副助詞> ぐらい))

(<連体助詞> の))

(<名詞句> お部屋))

注) このように、複数の小単位の<数量詞>によって長い<数量詞>が構成されうる場合、<副助詞>は直前の小単位の<数量詞>ではなく、全体で構成される<数量詞>に接続する。割合を表す部分(「一泊」、「一人」など)が複数存在する場合は、意味的に無理がない限り、後ろの小単位の<数量詞>から順に接続して再帰的に<数量詞>を構成する。

### 3.3.3 <日時>、<複合日時>の内部構造

<日時>、<複合日時>も<数量詞>と同様に再帰的な規則群によって構成されるので、多数の候補が生成される。その中で、日時、時刻をなるべく正しく表現している構造を選択する。

ここでは、説明の便宜上、年・月・日・曜日・時刻などの表現を、一日単位の日付を表す上位日時と、一日のうちの時刻もしくは時間帯を表す下位日時に分ける。

#### 3.3.3.1 日付構成要素を修飾する名詞類により構成される上位日時

月を表す「今月」、「来月」、「毎月」などが「*n*日」に先行する場合。

sample-TCS33026-0020-1

(<日時>

(<普通名詞> 毎月)

(<日時> 二十一日))

週を表す「来週」、「毎週」などが「*w*曜日」に先行する場合も同じ。

#### 3.3.3.2 時刻構成要素を修飾する名詞類により構成される下位日時

sample-TCS13036-0140-1

# (<複合日時>

# (<普通名詞> 朝)

# (<複合日時>

(<日時> 八時)

(<日時> 半)))

→ これらの名詞類に<接頭辞>が前接した場合には、形態素後処理 m-3.2.8 参照



## 3.3.3.3 時刻構成要素に後続する名詞類により構成される下位日時

時刻構成要素に後続する語句には、<接尾辞>、<普通名詞>、<サ変名詞>、<副詞>、<副助詞>がある。

```
sample-TSS33001-0090-2
# (<日時>
#   (<日時>
#     (<普通名詞> 午後)
#     (<日時> 六時))
#   (<接尾辞> 頃))
```

## 3.3.3.4 上位日時と下位日時が接続する場合

上位日時、下位日時、それぞれの単位で日時の構造を構成し、その後、それらを接続して全体の日時の構造を構成する。

```
sample-TCS33025-0050-1
# (<複合日時>
#   (<複合日時>           ;; 上位日時
#     (<複合日時>
#       (<日時> 九月)
#       (<日時> 二日))
#     (<日時>
#       (<日時> 金曜日)
#       (<読点> 、)))
#   (<複合日時>           ;; 下位日時
#     (<普通名詞> 午後)
#     (<複合日時>
#       (<日時> 五時)
#       (<日時> 半))))
```

注) 上記のように、日付構成要素のうち、「m月」、「n日」、「w曜日」が存在する場合、「m月」、「n日」の接続を優先する。

## 3.4 &lt;副詞句&gt; と &lt;副詞節&gt; の構成および選択基準

## 3.4.1 &lt;副詞句&gt; の構成 (&lt;節&gt; に &lt;接続助詞&gt; が接続して構成されるものを除く)

## 3.4.1.1 &lt;副詞&gt; に助詞類 (&lt;格助詞&gt;、&lt;係助詞&gt;、&lt;副助詞&gt;) が接続する場合

ここでは、<格助詞> が接続する場合について説明する。

この場合、句構造規則 g-1.25.2 (<副詞句> <--> (<副詞> <格助詞>)) で構成される木を採用する。

```
どうも【いろいろ】ありがとう。
sample-TOS33013-0240-2
:
# (<感動詞>
#   (<副詞句>
#     (<副詞> いろいろ)
#     (<格助詞> と))
#   (<感動詞> ありがとう)))
:
```

注) パーザは、<副詞> を <副詞句> に書き換えてから、句構造規則 g-1.25.18 (<副詞句> <--> (<副詞句> <格助詞>)) で生成した木も出力するが、それは採用しない。

## 3.4.1.2 &lt;代名詞&gt; に &lt;副助詞&gt; が接続する場合

<代名詞> に <副助詞> が接続した語句が、述語を修飾する場合は、句構造規則 g-1.25.12 (<副詞句> <--> (<代名詞> <副助詞>)) により <副詞句> を構成する。

【いくらぐらい】 するのですか。

sample-TSS33002-0180-2

:

<動詞>

# <副詞句>

# (<代名詞> いくら)

# (<副助詞> ぐらい)

<動詞>

(<本動詞> する)))

:

注) 「いくら | ぐらい」に、助詞類、<助動詞> が接続する場合は <名詞句> を構成する。(→ 3.3.1.4 節参照)

## 3.4.1.3 &lt;副詞&gt; に &lt;副詞句&gt; が接続する場合

程度などを表す <副詞> が後続の <副詞句> を修飾して全体で <副詞句> を構成する。

【だいたいどれぐらい】 時間かかりますか。

sample-TIS33011-0060-1

:

<動詞>

# <副詞句>

# (<副詞> だいたい)

# <副詞句>

(<代名詞> どれ)

(<副助詞> ぐらい)))

:

## 3.4.1.4 &lt;副詞的名詞&gt; で構成される &lt;副詞句&gt;

<副詞的名詞> は連体修飾されて <副詞句> を構成する。

九月十五日の午後二時から都ホテルであります結婚披露宴のほうに出席しますので、【そちらのほうに間に合うよう】にしてくださいんですけど。

sample-TCS33040-0040-1

```

:
<副詞句>
# <副詞句>
# <連体修飾節>
  <動詞>
    <後置詞句>
      <名詞句>
        <連体詞句>
          <名詞句>
            <代名詞> そちら))
          <連体助詞> の))
        <名詞句>
          <普通名詞> ほう))
      <格助詞> に))
    <動詞>
      <本動詞> 間に合)
      <語尾> う)))))
# <副詞的名詞> よう))
  <格助詞> に))
:

```

#### 3.4.1.5 <節> に助詞類 (<格助詞>, <副助詞>) が接続する場合

<節> に助詞類が接続して <副詞句> を構成することも多い。

【お医者様に診ていただくほど】ひどいとは思いませんので、鎮痛剤だけあれば十分なんですけれども。

sample-TCC23073-0050-1

```

:
<動詞>
# <副詞句>
# <節>
  <動詞句>
    <動詞>
      <後置詞句>
        <名詞句> お 医者 様)
        <格助詞> に))
      <動詞>
        <本動詞> 診))
    <助動詞>
      <助動詞語幹> ていただ)
      <語尾> く)))))
# <副助詞> ほど))
  <動詞>
    <形容詞> ひど)
    <語尾> い)))))
:

```

#### 3.4.2 <節> に<接続助詞> が接続して構成される <副詞句>

述語句が<節> に書き換えられて、それに<接続助詞> が接続する場合、<副詞節> と <副詞句> の 2 通りのカテゴリを構成する。ここでは、その場合の選択基準を示す。

節ではなく述語を修飾していると考えられる場合は<副詞句>とするが、<副詞節>、<副詞句>のどちらを選択しても文意に差のない場合は<副詞節>を優先する。

#### 3.4.2.1 「できれば」に類する語句

「できれば」は、類似した語句「できるだけ」が一語で副詞と解析されているので、<副詞句>として扱う。また、「できれば」のような語句は、述語修飾語句としての出現位置の自由度が高いため<副詞句>とするほうが構文解析に有効である。

で、今回も【できれば】続けて同じ部屋に泊まりたいんですけども。

sample-TAS12024-0090-2

```

:
(<連体修飾節>
  (<動詞句>
    (<動詞>
      (<後置詞句>
        (<名詞句>
          (<普通名詞> 今回))
          (<係助詞> も))
        (<動詞>
          (<副詞句>
            # (<節>
              # (<動詞>
                # (<本動詞> でき)
                # (<語尾> れ)))
              # (<接続助詞> ば))
            (<動詞>
              (<副詞句>
                (<節>
                  (<動詞>
                    (<本動詞> 続け)))
                  (<接続助詞> て))
                (<動詞>
                  (<後置詞句>
                    (<名詞句>
                      (<形容名詞> 同じ)
                      (<名詞句>
                        (<普通名詞> 部屋)))
                    (<格助詞> に))
                  (<動詞>
                    (<本動詞> 泊ま)
                    (<語尾> り))))))
            (<助動詞>
              (<助動詞語幹> た)
              (<語尾> い))))))
  :

```

#### 3.4.2.2 手段、方法、状態を表す場合

「歩いて」、「合わせて」、「向かって」など文中で述語修飾語句として機能している語句である。記号【】で囲まれた部分が<副詞句>を構成する。

sample-TBS23003-0200-2

【歩|い|て|、】|二、三|分|で|行け|ま|す|の|で|。

【本動詞|語尾|接続助詞|読点】|数詞|接尾辞|格助詞|本動詞|助動詞語幹|語尾|終助詞|句点

### 3.4.2.3 同時進行を表現する場合

「…しながら、…する」のように、修飾する述語句と同時進行的な状態を表す場合である。

sample-TOS33013-0170-1

一般 | の | 方 | は | 【山鉾 巡行 | を | 見 | ながら】 | 歩道 | を | 【つ | い | て】 | 歩 | く | こと | は | でき | ます | が |、 | 行列 | に | 参加 | する | の | は | 無理 | です | ね |。

普通名詞 | 連体助詞 | 普通名詞 | 係助詞 | 【名詞句 | 格助詞 | 本動詞 | 接続助詞】 | 普通名詞 | 格助詞 | 【本動詞 | 語尾 | 接続助詞】 | 本動詞 | 語尾 | 普通名詞 | 係助詞 | 本動詞 | 助動詞語幹 | 語尾 | 接続助詞 | 読点 | サ変名詞 | 格助詞 | サ変名詞 | 補助動詞 | 準体助詞 | 係助詞 | 形容名詞 | 助動詞語幹 | 語尾 | 終助詞 | 句点

### 3.4.3 <節> に <接続助詞> が接続して構成される <副詞節>

特に <副詞句> とする必要のない場合、または <節> を修飾していると考えられる場合は、<副詞節> とする。<副詞節> は主節よりも時間的順序が先行している場合や、条件節となる場合などである。次に <副詞節> が多用される例を挙げる。

#### 3.4.3.1 条件を表す場合

「…であれば」、「…でなければ」、「…でよければ」、「…であるが」などである。

【日によっても違ってまいります、】 【条件がよければ】 大変よく眺めることができる日がございます。

sample-TOS33010-0160-1

<文>

<節>

# <副詞節>

# <節>

# <動詞句>

# <動詞句>

# <動詞>

# <後置詞句>

# <後置詞句>

# <名詞句>

# <普通名詞> 日))

# <格助詞> によって))

# <係助詞> も))

# <動詞>

# <本動詞> 違)

# <語尾> っ))

# <助動詞>

# <助動詞語幹> てまい)

# <語尾> り))

# <助動詞>

# <助動詞語幹> ま)

# <語尾> す))

# <接続助詞>

# <接続助詞> が)

# <読点> 、))

<節>

<動詞>

<後置詞句>

<名詞句>

<連体修飾節>

# <副詞節>

# <節>

# <動詞>

# <後置詞句>

# <名詞句>

# <普通名詞> 条件))

# <格助詞> が))

# <動詞>

# <形容詞> よ)

# <語尾> けれ))

# <接続助詞> ば))

<連体修飾節>

<動詞>

<後置詞句>

:

<動詞>

<本動詞> でき)

<語尾> る))

<名詞句>

<普通名詞> 日))

<格助詞> が)

<動詞>

<本動詞> ございま)

<語尾> す))

<句点> 。))

## 3.4.3.2 話題の提示を表す場合

「…たいのですけれども」などの形で願望を表す場合が多い。

記号【】で囲まれた部分が<副詞節>を構成する。

sample-TOS33016-0030-1

【上高地へ行っしてみたいんですけど、】いろいろなアドバイスしてもらえますか。

【固有名詞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞語幹 | 助動詞語幹 | 語尾 | 準体助詞 | 助動詞語幹 | 語尾 | 接続助詞 | 読点】 | 副詞 | サ変名詞 | 補助動詞 | 助動詞語幹 | 助動詞語幹 | 語尾 | 終助詞 | 句点

## 3.4.3.3 原因、理由を表す場合

sample-TAS12023-0040-2

【確認いたしましたので、】少々お待ちくださいませ。

【サ変名詞 | 補助動詞語幹 | 語尾 | 助動詞語幹 | 語尾 | 接続助詞 | 読点】 | 副詞 | 接頭辞 | 本動詞 | 語尾 | 補助動詞語幹 | 語尾 | 助動詞語幹 | 語尾 | 句点

## 3.4.3.4 勧誘の意味を表す場合

「…してはいかがでしょうか。」「…してはどうでしょうか。」などの表現である。

文の前半の条件節「…しては」を<副詞節>とする。

sample-TOS33015-0250-1

【ぜひこちらにも一泊されて、北アルプスをスケッチされては】いかがですか。

【副詞 | 代名詞 | 格助詞 | 係助詞 | サ変名詞 | 補助動詞 | 助動詞語幹 | 接続助詞 | 読点 | 固有名詞 | 格助詞 | サ変名詞 | 補助動詞 | 助動詞語幹 | 接続助詞 | 係助詞】 | 副詞 | 助動詞語幹 | 語尾 | 終助詞 | 句点

## 第 4 章

### 部分木処理の原則

構文木データは、次の三つの条件のいずれかに該当する場合、部分木として処理する。

1. 当該の発話が次のいずれかの表現を用いている場合

- (1) 並列表現
- (2) 省略表現
- (3) 倒置表現
- (4) 交差表現
- (5) 呼びかけ

注) 当該の発話が上に挙げた表現に該当した場合、句構造規則で木を構成できたとしても部分木として処理する。発話によっては、上に挙げた表現に複数当てはまるものもある。

2. 付録 B の g-1 の句構造規則群を適用して、パーザにより木が生成されない場合で、さらに g-2 の例外規則群を適用しても木が構成できない場合 (→ その他の部分木処理 4.2 節参照)
3. パーザで木が生成されても、3 章で述べた修飾関係の基準からみて正しくない修飾関係の木しか構成されない場合 (→ その他の部分木処理 4.2.5 節参照)

部分木を構成するための処理の基準は次の通りである。

- (A) 部分木を構成する場合、部分木間の修飾関係は扱わないので、形態素後処理 m-2 で説明している品詞変更も、その修飾関係にかかわる箇所については行なわない。(〈普通名詞〉から〈副詞的名詞〉への品詞変更(形態素後処理 m-2.6) や、〈副詞〉から〈文副詞〉への品詞変更(形態素後処理 m-2.5.5) なども(C)の部分構造において必要である場合を除いて不要。)
- (B) 部分木のトップのカテゴリでは、上位の無駄な中間カテゴリを排除する。
- (C) 意味的なまとまりをもった語列については、句構造で表現できる限りの範囲で部分構造を構成する。
- (D) 部分木の内部構造については、3 章の基準がすべて適用される。
- (E) 並列表現に伴って用いられる〈接続詞〉は、句構造規則上可能な場合でも、後続の〈節〉に接続させない。その他の節修飾語句についても、後続の部分木が〈節〉を構成できる場合であっても、修飾関係がない限り接続させない。

この章では、部分木を含む構文木の例を次のフォーマットで示す。



```

sample-TXXdddd-dddd-d : ファイル名 - 発話番号 - 枝番号
$ (<mrp>
  (<mrp> str)
  (<mrp> str))
# (<mrp>
  (<mrp>
    (<mrp> str)
    (<mrp> str))
  (<mrp>      ;; comm
    (<mrp> str)
    (<mrp> str)))
& (<mrp> str)

mrp      : カテゴリ名
str      : 文字列
#        : 例示している部分木のトップカテゴリ
$        : 例示している部分木の存在により生じた部分木
&        : 例示している部分木の構成に関連して説明される対象
;; comm  : 記号「;;」以下に解説文との対応関係を示すコメントなどを記す

```

#### 4.1 並列表現

同じ集合に含まれるような事物を等位に接続する表現を、並列表現と呼ぶ。また、並列表現で対象としている事物を並列要素と呼ぶ。

並列関係を表現する方法としては次の二つがある。

1. 並列関係にある事物を順に並べ、<並立助詞>で接続する
2. <並立助詞>を用いずに、並列関係にある事物を列挙する

並列表現の部分木の処理は、次の二点で他の部分木とは異なる。

- a) 通常、<並立助詞>は<名詞句>または<節>に接続して<連体詞句>を構成する。しかし、並列表現で部分木を構成する場合、<名詞句>または<節>に<並立助詞>が接続して構成される句を特に<並立助詞句>というカテゴリにして、それを部分木の一つの単位とする。
- b) 並列要素の間に出現した<接続詞>は、並列要素を接続する機能を持つので、句構造規則によって後続の<節>に接続できる場合でも接続させず、部分木とする。

##### 4.1.1 <並立助詞>を含む並列表現

<並立助詞>を含む並列表現をいくつかのタイプに分けて説明する。

注) 次の例では<並立助詞句>が二つの場合を挙げているが、<並立助詞句>が一つしか出現しない場合、あるいは三つ以上連続する場合も同じように処理する。

[ ]内の語句は並列要素を表す。

( )内の語句は省略される場合があることを示す。

[A] + とか + [B] + (とか) + 述語

各サンプルに使用されている<並立助詞>は、他の<並立助詞>(「か」、「とか」、「や」、「たり」など)に置き換え可能な場合もある。

## 4.1.1.1 並列要素 [A], [B] が&lt;名詞句&gt;の場合

```

sample-TCC23042-0070-1
$ (<感動詞>
  (<感動詞> はい)
  (<読点> 、))
$ (<副詞>
  (<副詞> 例えば)
  (<読点> 、))
# (<並立助詞句>
  (<名詞句>                ;; A
   (<普通名詞> 和食))
  (<並立助詞> とか))
# (<並立助詞句>
  (<名詞句>                ;; B
   (<普通名詞> フランス料理))
  (<並立助詞>
   (<並立助詞> とか)
   (<読点> 、)))
<文>
<節>
  (<動詞句>
   (<動詞句>
    (<動詞>
     (<後置詞句>
      (<名詞句>
       (<連体詞句>
        (<連体詞> そういう))
       (<名詞句> ご 希望))
      (<係助詞> は))
     (<動詞>
      (<本動詞> ございま)
      (<語尾> す)))
    (<助動詞>
     (<助動詞語幹> で)
     (<語尾> しょ)))
    (<助動詞> う))
   (<終助詞> か)))
  (<句点> 。))

```

注) 上の発話をパーザで解析すると、「和食とかフランス料理とかそういうご希望」という<名詞句>が生成されるが、その部分構造は採用しない。

## 4.1.1.2 並列要素 [A], [B] の一方または両方が&lt;節&gt;の場合

並列要素 [A], [B] の一方または両方が<節>の場合も、名詞句の場合と同じように処理する。

```

sample-TCS32013-0290-1
$ (<感動詞>
  (<感動詞> はい)
  (<読点> 、))
# (<並立助詞句>
  (<節> ;; A
    (<動詞句>
      (<動詞>
        (<後置詞句>
          (<名詞句>
            (<連体修飾節>
              (<動詞句>
                (<動詞句>
                  (<動詞>
                    (<本動詞> 送)
                    (<語尾> ら))
                  (<助動詞>
                    (<助動詞語幹> れ)))
                  (<助動詞> た)))
                (<名詞句> お 荷物))
              (<格助詞> が))
            (<サ変名詞> 破損))
          (<補助動詞> し)))
    (<並立助詞>
      (<並立助詞> たり)
      (<読点> 、)))
# (<並立助詞句> ;; B
  (<節>
    (<動詞句>
      (<サ変名詞> 紛失)
      (<補助動詞> し)))
  (<並立助詞> たり))
<文>
<節>
  (<動詞>
    (<名詞句>
      (<連体詞句>
        (<名詞句>
          (<連体修飾節>
            (<動詞句>
              (<動詞>
                (<本動詞> し))
                (<助動詞> た)))
            (<名詞句>
              (<普通名詞> 時)))
          (<連体助詞> の))
        (<名詞句> 安全 保証))
      (<助動詞>
        (<助動詞語幹> で)
        (<語尾> す))))
  (<句点> 。))

```

注) 「たり」が一つしか存在しない場合は、<接続助詞>として形態素解析されるため、<副詞句>または<副詞節>を構成することになる。

## 4.1.2 並列要素の間に&lt;接続詞&gt;、&lt;副詞&gt;、&lt;後置詞句&gt;などが出現する場合

## 4.1.2.1 並列要素の間に&lt;接続詞&gt;「それから」、「そして」、「または」、「それに」などが出現する場合

[A] + と + <接続詞> + [B] + (と) + <格助詞> + 述語

この<接続詞>は、並列要素を接続するもので、句構造規則で用いられる<文>の接続とは意味が異なるので、後続の<節>を修飾せず部分木とする。

```

sample-T0S33011-0060-1
$ (<感動詞>
  (<感動詞> ええ)
  (<読点> 、))
# (<並立助詞句>
  (<節>                                     ;; A
    (<動詞>
      (<名詞句>
        (<普通名詞>
          (<普通名詞> 時間)
          (<読点> 、)))
        (<動詞>
          (<後置詞句>
            (<名詞句>
              (<普通名詞> 何時))
            (<格助詞> から))
          (<動詞>
            (<本動詞> 始ま)
            (<語尾> る))))))
  (<並立助詞>
    (<並立助詞> とか)
    (<読点> 、))
# (<接続詞> または)
(<文>
  (<節>
    (<動詞句>
      (<動詞句>
        (<動詞>
          (<後置詞句>
            (<名詞句>                                     ;; B
              (<連体詞句>
                (<名詞句>
                  (<連体修飾節>
                    (<動詞>
                      (<本動詞> 見れ)
                      (<語尾> る)))
                    (<名詞句>
                      (<普通名詞> ところ)))
                  (<連体助詞> の))
                (<名詞句>
                  (<普通名詞> 場所)))
                    (<格助詞> を))
                    (<動詞>
                      (<本動詞> 教え)))
                    (<助動詞>
                      (<助動詞語幹> てもらえ)))
                    (<助動詞>
                      (<助動詞語幹> ま)
                      (<語尾> す)))
                    (<終助詞> か)))
            (<句点> 。))
  
```

## 4.1.2.2 並列要素の間に&lt;副詞&gt;「あと」などが出現する場合

[A] + と + <副詞> + [B] + (と) + <格助詞> + 述語

この場合、まず「[A] と」を<並立助詞句>として部分木を構成する。そして、<副詞>が後続の述語を修飾する木を作る。また、<並立助詞句>「[B] と」に<格助詞>が接続して<後置詞句>を構成する規則を適用する。

注) 次の例では、並列要素[B]の後の<並立助詞>が省略されているので、通常の規則で<後置詞句>を構成する。

```
sample-TDS13008-0130-2
$ (<接続詞>
  (<接続詞> それでは)
  (<読点> 、))
# (<並立助詞句>
  (<名詞句>                ;; A
   (<普通名詞> 時間))
  (<並立助詞>
   (<並立助詞> と)
   (<読点> 、)))
(<文>
 (<節>
  (<動詞句>
   (<動詞>
    (<副詞句>
     &
      (<副詞>
       (<副詞> あと)
       (<読点> 、)))
     (<動詞>
      (<後置詞句>
       #
        (<名詞句> 参加 費用)      ;; B
        (<格助詞> について))
       (<動詞>
        (<本動詞> 教え))))
     (<助動詞>
      (<助動詞語幹> くださ)
      (<語尾> い))))
  (<句点> 。))
```

## 4.1.3 並列要素の直後に「どちら(とも)」、「両方(とも)」、「なに(か)」等が出現する場合

並列要素の直後に「どちら(とも)」が出現する例で説明する。

## 4.1.3.1 [A] + と + [B] + 「どちら(とも)」 + (&lt;格助詞&gt;) + 述語

この場合、「[A] と」を<連体詞句>として「[B]」を修飾して構成される<名詞句>を一つの部分木にし、「どちら(とも)」以降を一つの<文>とする。「[A] と [B]」と「どちら」を同格扱いにはしない。

```

sample-THS33005-0070-1
$ (<感動詞>
  (<感動詞> はい)
  (<読点> 、))
# (<名詞句>
  (<連体詞句>
    (<名詞句>
      (<普通名詞> 禁煙席)) ;; A
    (<並立助詞> と))
  (<名詞句>
    (<普通名詞> 喫煙席))) ;; B
<文>
<節>
  (<動詞句>
    (<動詞句>
      (<動詞>
        (<後置詞句>
          (<名詞句>
            (<代名詞> どちら))
          (<格助詞> が))
        (<動詞>
          (<形容詞> よろし)
          (<語尾> い)))
      (<助動詞>
        (<助動詞語幹> で)
        (<語尾> す)))
    (<終助詞> か)))
  (<句点> 。))

```

#### 4.1.3.2 [A] + と + [B] + と + 「どちら(とも)」 + (<格助詞>) + 述語

[B] の直後に<並立助詞> が接続する場合、「[A] と [B] とどちら(とも)」という<名詞句> を構成する木ができる。しかし、この「どちら(とも)」は並列要素ではなく、正しい修飾関係ではないため、その木は採用しない。

```

sample-TCS32038-0120-2
# (<並立助詞句>
  (<名詞句>
    (<普通名詞> リムジン))    ;; A
  (<並立助詞> と))
# (<並立助詞句>
  (<名詞句>
    (<普通名詞> タクシー))    ;; B
  (<並立助詞> と))
<文>
<節>
  (<動詞句>
    (<動詞句>
      (<動詞句>
        (<動詞>
          (<後置詞句>
            (<名詞句>
              (<代名詞> どちら))
            (<格助詞> が))
          (<動詞>
            (<形容詞> よろし)
            (<語尾> い)))
        (<助動詞>
          (<助動詞語幹> で)
          (<語尾> しょ)))
        (<助動詞> う))
      (<終助詞> か)))
  (<句点> 。))

```

「どちら」の部分が「両方」などの語句に置き換わった場合も同様に処理する。

「A かなにか…」の表現も、上記の並列表現と同様に処理する。

#### 4.1.4 <並立助詞> を含まない並列表現

<名詞句> + <接続詞> + <名詞句> を基本パターンとする。

ここで現れる <接続詞> は、並列、追加の意を表す語句で、4.1.1 の <並立助詞> を含む場合と共通の扱いとなる。

##### 4.1.4.1 並列要素が名詞複合語句である <名詞句> の場合

並列要素が名詞複合語句としてまとめられる場合は、その範囲で <名詞句> とする。(→ 形態素後処理 m-3.2.6.1 参照)



```

sample-TCS12037-0110-1
$ (<後置詞句>
  (<名詞句>
    (<連体詞句>
      (<名詞句>
        (<普通名詞> アメリカン))
      (<連体助詞> の))
    (<名詞句>
      (<普通名詞> メニュー)))
  (<係助詞>
    (<係助詞> は)
    (<読点> 、)))
# (<名詞句>
# (<名詞句> ロールパン、ハムエッグ、サラダ)
# (<読点> 、))
# (<接続詞> そして)
# (<文>
  (<節>
    (<動詞>
      (<名詞句>
        (<普通名詞> 飲み物))
        (<助動詞>
          (<助動詞語幹> で)
          (<語尾> す))))
  (<句点> 。))

```

#### 4.1.4.2 <並立助詞> が接続しない並列要素の直後に「どちら」が出現する場合

これは、<並立助詞> が存在する場合と同様に扱う。この場合、<代名詞> 「どちら」は、名詞複合語句「現金、カード」に含めない。

```

sample-TDS13010-0250-1
$ (<後置詞句>
  (<名詞句>
    (<普通名詞> その際))
  (<係助詞>
    (<係助詞> は)
    (<読点> 、)))
# (<名詞句>
# (<名詞句> 現金、カード)
# (<読点> 、))
# (<文>
  (<節>
    (<動詞句>
      (<動詞>
        (<副詞句>
          (<代名詞> どちら)
          (<副助詞> でも))
          (<形容名詞> 結構))
        (<助動詞>
          (<助動詞語幹> で)
          (<語尾> す))))
  (<句点> 。))

```

## 4.2 並列表現以外の部分木

ここでは、並列表現以外の部分木として次の表現について例を挙げて解説する。

1. 省略表現
2. 倒置表現
3. 交差表現
4. 呼びかけ
5. その他の部分木

### 4.2.1 省略表現

一発話の中で、いろいろな要素が省略される可能性は常にあるが、そのうち部分木の処理に関係するのは次の場合である。

1. 述語の省略
2. 助詞類の省略 (<並立助詞> の省略)

<文> の構成に必要な述語が省略されている場合

```
sample-TGS12004-0260-2
# (<後置詞句>
  (<名詞句>
    (<普通名詞> 名前))
  (<格助詞> が)
# (<姓名>
  (<人名> 鈴木)
  (<人名> 和夫))
# (<句点> 。)
```

### 4.2.2 倒置表現

述語修飾語句が修飾すべき述語より後方に現れた場合、部分木として処理する。

```
sample-TCS33006-0130-2
$ (<動詞句>
  (<動詞句>
    (<動詞>
      (<形容詞> 遠)
      (<語尾> い))
    (<助動詞>
      (<助動詞語幹> で)
      (<語尾> す)))
  (<終助詞>
    (<終助詞> か)
    (<読点> 、)))
# (<後置詞句>
  (<名詞句>
    (<代名詞> ここ))
  (<格助詞> から))
$ (<句点> 。)
```

### 4.2.3 交差表現

述語修飾語句の入れ替え、もしくは語句の挿入により、句構造規則で木が構成できない、あるいは修飾関係が正しくない木が構成される場合がある。その場合も部分木として処理する。

<連体詞句> とその修飾先の <名詞句> との間に他のカテゴリが位置している場合

次の例の場合、「お客様のビジネス上の、御要望」となるべき <名詞句> の間に <副詞> 「いろいろ」が位置している。

```

sample-TCS32041-0140-1
# (<連体詞句>
  (<名詞句> お客様)
  (<連体助詞> の))
(<文>
  (<節>
    (<動詞句>
      (<動詞>
        (<後置詞句>
          (<節>
            (<動詞句>
              (<動詞>
                (<副詞句>
                  (<副詞> いろいろ))
                (<動詞>
                  (<後置詞句>
                    (<名詞句>
                      (<連体詞句>
                        (<名詞句> ビジネス 上)
                        (<連体助詞>
                          (<連体助詞> の)
                          (<読点> 、)))
                        (<名詞句> 御 要望))
                      (<格助詞> に))
                    (<動詞>
                      (<本動詞>
                        (<接頭辞> お)
                        (<本動詞> 応え))))))
                  (<補助動詞>
                    (<補助動詞語幹> でき)
                    (<語尾> る))))
                (<引用助詞> と))
              (<動詞>
                (<本動詞> 存じ)))
            (<助動詞>
              (<助動詞語幹> ま)
              (<語尾> す))))
          (<句点> 。))

```

### 4.2.4 呼びかけ

相手に呼びかける語句は、文中の様々な位置に出現し、前後の語句と統語的關係がない。そこで、呼びかけの語句は部分木とする。

```

sample-TJS32002-0200-2
# (<名詞句>
  (<人名> 鈴木)
  (<接尾辞>
    (<接尾辞> 様)
    (<読点> ,))
<文>
  (<節>
    (<動詞句>
      (<動詞句>
        (<動詞>
          (<後置詞句>
            (<名詞句> 御 到着)
            (<格助詞> を))
          (<動詞>
            (<本動詞>
              (<接頭辞> お)
              (<本動詞> 待))
            (<語尾> ち)))
        (<補助動詞>
          (<補助動詞語幹> 申し上げ)))
      (<助動詞>
        (<助動詞語幹> てお)
        (<語尾> り)))
    (<助動詞>
      (<助動詞語幹> ま)
      (<語尾> す)))
  (<句点> 。))

```

注) ただし、確認内容の一部として名前(助詞類を省略して)が出現したと考えられる場合や、助詞類を補うと文の主語と解釈できる場合などは助詞類の省略として木を構成する。

#### 4.2.5 その他の部分木処理

<名詞句> を構成する語列の間に<後置詞句>が存在する場合

次の場合、<名詞句> 「(月曜と水曜と土曜の) 週に三便」が句構造では正しい修飾関係が表現できないので部分木とする。

sample-TGS33005-0090-1

```

$ (<感動詞>
  (<感動詞> いえ)
  (<読点> 、))
# (<連体詞句>
  (<名詞句>
    (<連体詞句>
      (<名詞句>
        (<連体詞句>
          (<名詞句>
            (<日時> 月曜))
          (<並立助詞> と))
        (<名詞句>
          (<日時> 水曜))
        (<並立助詞> と))
      (<名詞句>
        (<日時> 土曜))
    (<連体助詞> の))
  (<文>
    (<節>
      (<動詞>
        (<後置詞句>
          (<名詞句>
            (<普通名詞> 週))
          (<格助詞> に))
        (<動詞>
          (<名詞句>
            (<数量詞>
              (<数詞> 三)
              (<接尾辞> 便))
            (<助動詞>
              (<助動詞語幹> で)
              (<語尾> す))))))
  (<句点> 。))

```

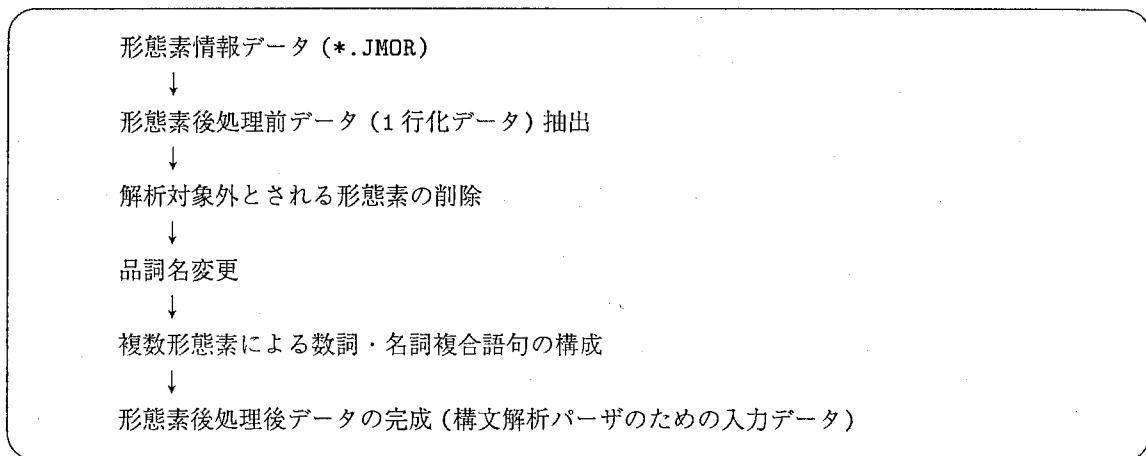
## 第 5 章

### むすび

本解説書で述べた構文解析情報付与作業の処理の流れをまとめる。

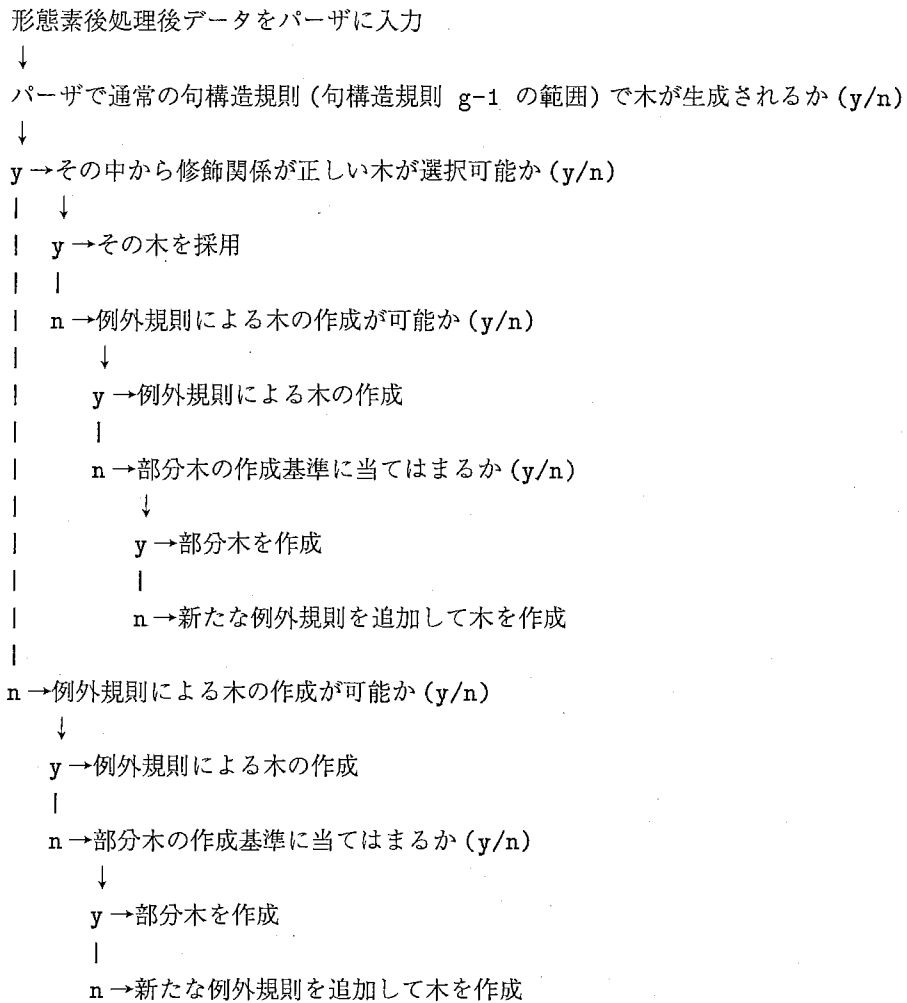
#### (1) 形態素後処理作業の手順

形態素後処理におけるデータ加工は、次の順で行なわれる。



#### (2) 構文解析処理の手順

形態素後処理後データに対して行なう構文解析処理の手順 (正解木の選択および、作成の過程) は次のような処理の流れで表すことができる。



### (3) 構文解析情報データの形成

(1) の形態素後処理前データ、および形態素後処理後データと (2) で選択・作成された構文木を、1 発話ごとにマージして構文解析情報データとして完成させる。

### 謝辞

音声言語データベースの日本語構文解析情報データファイルを作成するにあたり協力いただいた田代敏久、桜田弘之、坂口明子、衛藤純司 各氏に感謝いたします。

## 参考文献

- [1] 田代敏久, 竹沢寿幸, “音声言語データベースにおける構文解析情報付与作業マニュアル,” ATR テクニカルレポート, TR-IT-0083, 1994.
- [2] 浦谷則好, 田代敏久, 山田久子, 松本香, “音声言語データベースにおける日本語形態素解析マニュアル,” ATR テクニカルレポート, TR-IT-0009, 1993.
- [3] 浦谷則好, 田代敏久, 森田千帆, “音声言語データベースにおける日本語形態素解析マニュアルの補遺,” ATR テクニカルレポート, TR-IT-0053, 1993.
- [4] 竹沢寿幸, “音声言語データベースの日本語形態素情報マニュアル — 最終版 —,” ATR テクニカルレポート, TR-IT-0315, 1999.





## 付録 A

### 構文解析のための形態素後処理

#### A.1 概要説明

構文解析を行なう場合、まず解析対象となる形態素データ (\*.JMOR) をパーザに入力できるデータ形式に変更する必要がある。

また、構文解析は、付録 B で述べる日本語基本文法の句構造規則に基づいて行なわれるが、形態素データ (\*.JMOR) は、そのままでは日本語基本文法の品詞体系に対応しない部分がある。そのため、必要に応じて、見出し語情報、品詞情報を変更する。

これらの処理を総称して形態素後処理と呼ぶ。

形態素後処理で行なわれる変更は、次のように大きく三つに分類できる。

1. 構文解析対象外の語句の削除 m-1
2. 品詞名の変更 m-2
3. 複数の形態素のまとめ m-3

形態素情報変更例のフォーマットを示す。

```
sample-TXXdddd-dddd-d : 実例のファイル ID- 発話番号 - 枝番号
...|str| [str] |str|... : 見出し語文字列 (形態素後処理前)
...|str| [str] |str|... : 見出し語文字列 (形態素後処理後)
...|mrp| [mrp] |mrp|... : 品詞列 (形態素後処理前)
...|mrp| [mrp] |mrp|... : 品詞列 (形態素後処理後)

[str] : 変更対象見出し語
[mrp] : 変更対象品詞
... : 省略部分
```

品詞名の変更では次のような表記が使われる。

```
(<mrp1> --> (<mrp2>) : 形態素後処理による品詞の変更

mrp1 : 形態素後処理前の品詞
mrp2 : 形態素後処理後の品詞
```

複数の形態素のまとめでは次のような表記が使われる。

```
((<mrp1> <mrp2>) <mrp3>) : <名詞句>, <数詞> などにまとめる場合の品詞列
((str1 str2) str3) : <名詞句>, <数詞> などにまとめる場合の文字列
(( ) ) : 括弧は、意味的なまとまりを示す
```

説明に関連した参照先は、項目番号で示した。

- 参照先が本編である場合は、項目番号の前に本編と記した。
- 参照先が付録 B である場合は、項目番号が、g- で始まる。
- 必要に応じて該当する項目を参照されたい。

## A.2 内容説明

### m-1 構文解析対象外の語句の削除

形態素データのうち構文解析の対象としない語句は、形態素後処理で削除する。

構文解析の対象としない語句（記号も含む）としては、間投詞、及び間投詞を示す記号、言い誤り、及び言い誤りの範囲を示す記号、その他の特殊な記号がある。

#### m-1.1 <間投詞>の削除

<記号> " [" から、<記号> "]" " に囲まれた語列は、<間投詞> で、構文解析の対象としないため、<記号> も含めて形態素後処理で削除する。

##### sample-THS23002-0310-1

はい |、| 【 [ | あ | ] | 】 | これ | で | 全部 | 大丈夫 | で | す | ね |。

はい |、| これ | で | 全部 | 大丈夫 | で | す | ね |。

感動詞 | 記号 | 【記号 | 間投詞 | 記号】 | 代名詞 | 格助詞 | 普通名詞 | 形容名詞 | 助動詞 | 語尾 | 終助詞 | 記号

感動詞 | 読点 | 代名詞 | 格助詞 | 副詞 | 形容名詞 | 助動詞語幹 | 語尾 | 終助詞 | 句点

#### m-1.2 言い誤りの削除

<記号> " (" から、<記号> ")" " に囲まれた語列は、言い淀み・言い誤りなどが発生した部分で、構文解析の対象としないため、<記号> も含めて形態素後処理で削除する。

##### sample-TKS33004-0220-2

で |、| ( | ( | 手続 | ) | ) | カード | の | 手続 |、| どう | し | たら | い | い | で | す | か |。

で |、| カード | の | 手続 |、| どう | し | たら | い | い | で | す | か |。

接続詞 | 記号 | 【記号 | サ変名詞 | 記号】 | 普通名詞 | 連体助詞 | サ変名詞 | 記号 | 副詞 | 本動詞 | 助動詞 | 語尾 | 助動詞 | 語尾 | 終助詞 | 記号

接続詞 | 読点 | 普通名詞 | 連体助詞 | サ変名詞 | 読点 | 副詞 | 本動詞 | 助動詞語幹 | 語尾 | 助動詞語幹 | 語尾 | 終助詞 | 句点

#### m-1.3 削除する記号

(... <記号>) --> 削除

##### sample-TAS23002-0250-1

[ | そう | です | ね | ] | 新幹線 | が | あれ | だ | から | 【 . . . 】 | 夕方 | 六時 | ごろ | で | す |。

新幹線 | が | あれ | だ | から | 夕方 | 六時 | ごろ | で | す |。

記号 | 間投詞 | 記号 | 普通名詞 | 格助詞 | 代名詞 | 助動詞 | 接続助詞 | 【記号】 | 普通名詞 | 日時 | 接尾辞 | 助動詞 | 語尾 | 記号

普通名詞 | 格助詞 | 代名詞 | 助動詞 | 接続助詞 | 普通名詞 | 日時 | 接尾辞 | 助動詞語幹 | 語尾 | 句点

#### m-1.4 解析対象外の語列の削除に伴って発生する不要な<読点>の削除

- a) m-1.1、m-1.2、m-1.3 に該当する語列を削除した結果、<読点> が文頭または文末に残った場合、その<読点> は削除する。

##### sample-TRS32004-0160-1

[ | え | ] | 【 . | 】 | 分か | り | ま | す |。

分か | り | ま | す |。

記号 | 間投詞 | 記号 | 【記号】 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞 | 語尾 | 記号  
 本動詞 | 語尾 | 助動詞語幹 | 語尾 | 句点

b) また、削除する語列の前後に <読点> が存在した場合、削除によって <読点> の連続が生じる。その場合、そのうち一つを残して削除する。

sample-TCS32034-0290-2

では | メールボックス | の | ほう | に | 【、】 | ( | いただいま | ) | 【、】 | [ | あうー | ] | ただちに | お | 入れ | いた | し | ま | す | 。  
 では | メールボックス | の | ほう | に | 【、】 | ただちに | お | 入れ | いた | し | ま | す | 。

接続詞 | 普通名詞 | 連体助詞 | 普通名詞 | 格助詞 | 【記号】 | 記号 | 普通名詞 | 記号 | 【記号】 | 記号 | 間投詞 | 記号 | 副詞 | 接頭辞 |  
 本動詞 | 補助動詞 | 語尾 | 助動詞 | 語尾 | 記号

接続詞 | 普通名詞 | 連体助詞 | 普通名詞 | 格助詞 | 【読点】 | 副詞 | 接頭辞 | 本動詞 | 補助動詞語幹 | 語尾 | 助動詞語幹 | 語尾 | 句点

## m-2 品詞名の変更

形態素データの品詞は、そのままプレターミナルとして規則化すると、構文解析の規則数が増大し、また出力候補数も増える。そこで、これらの品詞は、日本語基本文法で定めた品詞に変更、統合する。また、構文解析では、述語類の一部について語幹の区別をしたり、多品詞語については語句の機能によって品詞を使い分けている場合がある。それらの変更を形態素後処理で行なう。

注) 構文解析で使用する品詞は、「g-1.1 プレターミナルの書き換え規則」に挙げた品詞に限られる。

品詞名の変更は、次の2つに大きく分けられる。

### 1 機械的変更 (無条件に行なう変更)

記号類についての品詞の細分化

助動詞・補助動詞のうち語幹に該当する語の品詞変更

文末の接続助詞の品詞変更

### 2 判断を要する変更

#### (1) 構文解析データ側でのみ使用される品詞への変更

助動詞の使役・受身についての詳細化

副詞的名詞への変更

副詞の文副詞への変更

#### (2) 形態素解析で付与された品詞に関する解釈の違い

多品詞語について、構文解析側では、違う品詞に変更して解析したもの

## m-2.1 <記号> に関する形態素後処理

記号類の品詞の変更。

形態素解析における <記号> は、<読点>、<句点>、<中黒>、<疑問符>、<感嘆符> の5種類に細分化される。

<記号> と付与された品詞は、次のように変更される。

m-2.1.1 (、 <記号>) --> (、 <読点>)

m-2.1.2 (。 <記号>) --> (。 <句点>)

m-2.1.3 (・ <記号>) --> (・ <中黒>)

sample-TSS13001-0340-1

はい | 【、】 | ジョン | 【・】 | フィリップス | です | 【。】

はい | 【、】 | ジョン | 【・】 | フィリップス | で | す | 【。】  
 感動詞 | 【記号】 | 人名 | 【記号】 | 人名 | 助動詞 | 語尾 | 【記号】  
 感動詞 | 【読点】 | 人名 | 【中黒】 | 人名 | 助動詞語幹 | 語尾 | 【句点】

m-2.1.4 (? <記号>) --> (? <疑問符>)

m-2.1.5 (! <記号>) --> (! <感嘆符>)

注) ただし, " ? ", " ! " は SLDB の中には出現していない。(書き起こし基準による)

上に挙げた以外の記号は、名詞複合語句に吸収する。

m-2.1.6 (「 <記号> ) --> 名詞複合語句にまとめる ( " [ " から " ] " までの語列)

m-2.1.7 (「 <記号> ) --> 名詞複合語句にまとめる

名詞複合語句にまとめる例

sample-TCS12027-0050-1

【「レ・ミゼラブル」】 | で | す | 。  
 【「レ・ミゼラブル」】 | で | す | 。  
 【記号 | 固有名詞 | 記号】 | 助動詞 | 語尾 | 記号  
 【名詞句】 | 助動詞語幹 | 語尾 | 句点

→ m-3.2.12 参照

注) 中黒 ( " ・ " ) については、単独で記号として用いられる以外に、固有名詞の中に含まれる場合がある。

## m-2.2 助詞類に関する形態素後処理

### m-2.2.1 (<接続助詞>) --> (<終助詞>)

文末に現れた<接続助詞>は、原則として<終助詞>に変更する。

sample-TAS12001-0020-2

... | と | 思 | っ | て | 電 | 話 | し | た | ん | で | す | 【けど】 | 。  
 ... | と | 思 | っ | て | 電 | 話 | し | た | ん | で | す | 【けど】 | 。  
 ... | 引用助詞 | 本動詞 | 語尾 | 接続助詞 | サ変名詞 | 補助動詞 | 助動詞 | 準体助詞 | 助動詞 | 語尾 | 【接続助詞】 | 記号  
 ... | 引用助詞 | 本動詞 | 語尾 | 接続助詞 | サ変名詞 | 補助動詞 | 助動詞 | 準体助詞 | 助動詞語幹 | 語尾 | 【終助詞】 | 句点

また、次の例は品詞の解釈の違いと考えられ、場合に応じて変更する。

### m-2.2.2 (<引用助詞>) --> (<終助詞>)

例. 助詞「か」

sample-TIS32004-0050-2

... | タクシー | で | 行 | く | の | が | 一 | 番 | い | い | ん | じ | ゃ | な | い | 【か】 | な | と | 思 | う | ...  
 ... | タクシー | で | 行 | く | の | が | 一 | 番 | い | い | ん | じ | ゃ | な | い | 【か】 | な | と | 思 | う | ...  
 ... | 普通名詞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 準体助詞 | 格助詞 | 数詞 | 接尾辞 | 形容詞 | 語尾 | 準体助詞 | 助動詞 | 助動詞 | 語尾 | 【引用助詞】 | 終助詞 | 引用助詞 | 本動詞 | 語尾 | ...  
 ... | 普通名詞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 準体助詞 | 格助詞 | 副詞 | 形容詞 | 語尾 | 準体助詞 | 助動詞 | 助動詞語幹 | 語尾 | 【終助詞】 | 終助詞 | 引用助詞 | 本動詞 | 語尾 | ...

### m-2.2.3 (<副助詞>) --> (<終助詞>)

例. 助詞「か」

## sample-TCS33037-0110-1

そう | 【か】 |、 | 确实 | に | 使え | る | よう | に | し | て | お | き | た | い | の | で |、 | ...

そう | 【か】 |、 | 确实 | に | 使え | る | よう | に | し | て | お | き | た | い | の | で |、 | ...

副詞 | 【副助詞】 | 記号 | 形容名詞 | 助動詞 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞 | 語尾 | 本動詞 | 助動詞 | 語尾 | 助動詞 | 語尾 | 接続助詞 | 記号 | ...

副詞 | 【終助詞】 | 読点 | 形容名詞 | 助動詞 | 本動詞 | 語尾 | 副詞の名詞 | 格助詞 | 本動詞 | 助動詞語幹 | 語尾 | 助動詞語幹 | 語尾 | 接続助詞 | 読点 | ...

## m-2.2.4 (&lt;副助詞&gt;) --&gt; (&lt;引用助詞&gt;)

例. 助詞「か」

## sample-TAS12025-0210-2

... | 何時 | ごろ | ご | 到着 | 【か】 | お | 分 | か | り | で | す | か |。

... | 何時 | ごろ | ご | 到着 | 【か】 | お | 分 | か | り | で | す | か |。

... | 普通名詞 | 接尾辞 | 接頭辞 | サ変名詞 | 【副助詞】 | 接頭辞 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞 | 語尾 | 終助詞 | 記号

... | 普通名詞 | 接尾辞 | 接頭辞 | サ変名詞 | 【引用助詞】 | 接頭辞 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞語幹 | 語尾 | 終助詞 | 句点

## m-2.2.5 (&lt;並立助詞&gt;) --&gt; (&lt;格助詞&gt;)

例. 助詞「と」

## sample-TAS33018-0050-1

... | きょう |、 | あす | 【と】 | 二 | 日 |、 | お | 部屋 | を | 予約 | し | た | い | ...

... | きょう |、 | あす | 【と】 | 二 | 日 |、 | お | 部屋 | を | 予約 | し | た | い | ...

... | 普通名詞 | 記号 | 普通名詞 | 【並立助詞】 | 数詞 | 接尾辞 | 記号 | 接頭辞 | 普通名詞 | 格助詞 | サ変名詞 | 補助動詞 | 助動詞 | 語尾 | ...

... | 名詞句 | 【格助詞】 | 数詞 | 接尾辞 | 読点 | 名詞句 | 格助詞 | サ変名詞 | 補助動詞 | 助動詞語幹 | 語尾 | ...

## m-2.2.6 (&lt;並立助詞&gt;) --&gt; (&lt;副助詞&gt;)

例. 助詞「とか」

## sample-TCS33035-0140-1

... | 社員 | の | 方 | で | 習 | わ | れ | て | い | る | 方 | 【とか】 |、 | [ | え | ] | そう | いう | 方 | に | ...

... | 社員 | の | 方 | で | 習 | わ | れ | て | い | る | 方 | 【とか】 |、 | そう | いう | 方 | に | ...

... | 普通名詞 | 連体助詞 | 普通名詞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞 | 助動詞 | 語尾 | 普通名詞 | 【並立助詞】 | 記号 | 記号 | 間投詞 | 記号 | 連体詞 | 普通名詞 | 格助詞 | ...

... | 普通名詞 | 連体助詞 | 普通名詞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞語幹 | 助動詞語幹 | 語尾 | 普通名詞 | 【副助詞】 | 読点 | 連体詞 | 普通名詞 | 格助詞 | ...

## m-2.3 &lt;助動詞&gt;、&lt;補助動詞&gt;に関する形態素後処理

日本語基本文法の句構造規則の体系に合わせるため、<助動詞>、<補助動詞>を細分化し、語幹に該当する語の品詞は、それぞれ<助動詞語幹>、<補助動詞語幹>と変更する。

## m-2.3.1 (&lt;助動詞&gt;) --&gt; (&lt;助動詞語幹&gt;)

## sample-TCS12028-0010-1

はい |、 | こちら | フロント | 【で】 | す |。

はい |、 | こちら | フロント | 【で】 | す |。

感動詞 | 記号 | 代名詞 | 普通名詞 | 【助動詞】 | 語尾 | 記号

感動詞 | 読点 | 代名詞 | 普通名詞 | 【助動詞語幹】 | 語尾 | 句点

## m-2.3.2 (&lt;補助動詞&gt;) --&gt; (&lt;補助動詞語幹&gt;)

sample-TAS13003-0010-1

ニュー京都ホテル | で | 【ごぞいま】 | す | 。

ニュー京都ホテル | で | 【ごぞいま】 | す | 。

固有名詞 | 助動詞 | 【補助動詞】 | 語尾 | 記号

固有名詞 | 助動詞 | 【補助動詞語幹】 | 語尾 | 句点

受身・使役における格コントロール現象を表すために<助動詞>「せ(る)」、「させ(る)」は<使役助動詞語幹>に、<助動詞>「れ(る)」、「られ(る)」は<受身助動詞語幹>に変更する。

m-2.3.3 (<助動詞>) --> (<使役助動詞語幹>)

sample-TUS33006-0180-1

... | 係 | の | 者 | に | 、 | 館 | 内 | を | 捜 | さ | 【せ】 | て | み | ま | す | 。

... | 係 | の | 者 | に | 、 | 館 | 内 | を | 捜 | さ | 【せ】 | て | み | ま | す | 。

... | 普通名詞 | 連体助詞 | 普通名詞 | 格助詞 | 記号 | 普通名詞 | 接尾辞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 【助動詞】 | 助動詞 | 助動詞 | 語尾 | 記号

... | 普通名詞 | 連体助詞 | 普通名詞 | 格助詞 | 読点 | 名詞句 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 【使役助動詞語幹】 | 助動詞語幹 | 助動詞語幹 | 語尾 | 句点

m-2.3.4 (<助動詞>) --> (<受身助動詞語幹>)

sample-TAS33007-0230-1

... | デイナー | や | ショー | が | 企画 | さ | 【れ】 | て | り | ん | で | す | よ | 。

... | デイナー | や | ショー | が | 企画 | さ | 【れ】 | て | り | ん | で | す | よ | 。

... | 普通名詞 | 並立助詞 | 普通名詞 | 格助詞 | サ変名詞 | 補助動詞 | 【助動詞】 | 助動詞 | 語尾 | 準体助詞 | 助動詞 | 語尾 | 終助詞 | 記号

... | 普通名詞 | 並立助詞 | 普通名詞 | 格助詞 | サ変名詞 | 補助動詞 | 【受身助動詞語幹】 | 助動詞語幹 | 語尾 | 準体助詞 | 助動詞語幹 | 語尾 | 終助詞 | 句点

ただし、使役・受身は動作主と対象の間に純粹に使役・受身関係が成立している場合に限る。次のような場合、使役とはしない。

sample-TBS33004-0210-1

お | 待 | た | 【せ】 | い | た | し | ま | し | た | 。

お | 待 | た | 【せ】 | い | た | し | ま | し | た | 。

接頭辞 | 本動詞 | 語尾 | 【助動詞】 | 補助動詞 | 語尾 | 助動詞 | 語尾 | 助動詞 | 記号

接頭辞 | 本動詞 | 語尾 | 【助動詞語幹】 | 補助動詞語幹 | 語尾 | 助動詞語幹 | 語尾 | 助動詞 | 句点

m-2.4 <本動詞>、<補助動詞>に関する形態素後処理

m-2.4.1 (<本動詞>) --> (<補助動詞>)、または (<本動詞>) --> (<補助動詞語幹>)

「(て) いただ(く)」など。

m-2.4.1.1 長単位の<助動詞>の途中で言い誤りがあり、<接続助詞>と<本動詞>に分かれた場合

次のような場合、<本動詞>を<補助動詞>(または<補助動詞語幹>)に変更し、句構造規則 g-1.23 で一語に再構成する。

sample-TCC22114-0190-1

宿泊 | 台帳 | の | 自宅 | の | 住所 | に | 送 | っ | て | ( | い | ) | 【くださ】 | い | 。

宿泊 | 台帳 | の | 自宅 | の | 住所 | に | 送 | っ | て | 【くださ】 | い | 。

サ変名詞 | 普通名詞 | 連体助詞 | 普通名詞 | 連体助詞 | 普通名詞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 接続助詞 | 記号 | その他 | 記号 | 【本動詞】 | 語尾 | 記号

名詞句 | 連体助詞 | 普通名詞 | 連体助詞 | 普通名詞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 接続助詞 | 【補助動詞語幹】 | 語尾 | 句点

## m-2.4.1.2 &lt;動詞句&gt;に&lt;係助詞&gt;が接続した場合

次のような強調表現の場合、<補助動詞>（または<補助動詞語幹>）に変更する。

sample-TCS33035-0130-1

...|御|紹介|でき|な|く|は|【あ】|り|ま|せ|ん|が|。  
 ...|御|紹介|でき|な|く|は|【あ】|り|ま|せ|ん|が|。  
 ...|接頭辞|サ変名詞|補助動詞|助動詞|語尾|係助詞|【本動詞】|語尾|助動詞|語尾|助動詞|接続助詞|記号  
 ...|接頭辞|サ変名詞|補助動詞語幹|助動詞語幹|語尾|係助詞|【補助動詞語幹】|語尾|助動詞語幹|語尾|助動詞|終助詞|句点

→句構造規則 g-1.14 参照

## m-2.4.2 (&lt;補助動詞&gt;) --&gt; (&lt;本動詞&gt;)

「する」など。次の例では、<サ変名詞>の後に<格助詞>が省略されていると考えられる。

sample-TVS32001-0170-1

...|人|と|会|う|約束|【し】|て|る|ん|で|す|よ|。  
 ...|人|と|会|う|約束|【し】|て|る|ん|で|す|よ|。  
 ...|普通名詞|格助詞|本動詞|語尾|サ変名詞|【補助動詞】|助動詞|語尾|準体助詞|助動詞|語尾|終助詞|記号  
 ...|普通名詞|格助詞|本動詞|語尾|サ変名詞|【本動詞】|助動詞語幹|語尾|準体助詞|助動詞語幹|語尾|終助詞|句点

## m-2.4.3 (&lt;補助動詞&gt;) --&gt; (&lt;助動詞語幹&gt;)

名詞類に後接する「らし(い)」は、<助動詞語幹>に変更する。

sample-TCS33062-0070-1

京都|【らし】|い|お|料理|と|、|...  
 京都|【らし】|い|お|料理|と|、|...  
 固有名詞|【補助動詞】|語尾|接頭辞|サ変名詞|並立助詞|記号|...  
 固有名詞|【助動詞語幹】|語尾|名詞句|並立助詞|読点|...

## m-2.5 副詞的な機能を持つ語に関する形態素後処理

## m-2.5.1 (&lt;普通名詞&gt;) --&gt; (&lt;副詞&gt;)

副詞的な意味（主に日時・時間を表す）で、または数量詞的な意味（数量・程度の表現）で、述語を修飾する名詞類の品詞を<副詞>に変更する。

## m-2.5.1.1 時間を表す語句

<普通名詞>であるが、単独で述語を修飾する場合、品詞を<副詞>に変更する。

sample-TCS32005-0220-3

じゃあ|早速|【あした】|、|のぞ|い|て|み|ま|す|。  
 じゃあ|早速|【あした】|、|のぞ|い|て|み|ま|す|。  
 接続詞|副詞|【普通名詞】|記号|本動詞|語尾|助動詞|助動詞|語尾|記号  
 接続詞|副詞|【副詞】|読点|本動詞|語尾|助動詞語幹|助動詞語幹|語尾|句点

SLDB に現れた、時間を表す<普通名詞>には、他に次のような語句がある。

去年, 昨年, 毎月, 毎日, 来週, 本日, 明日, 翌日, 今朝, 昼間, 夜, 夕方, 今晚, 明朝  
 先日, 当日, 後日, 以前, 前, 昔, 最初, 途中, 一瞬, 現在, 今, 前回, 今回, 今度, 今後, 以後, 以降



## m-2.5.1.2 数量を表す語句

<普通名詞>であるが、機能的には不特定の数量を表す語句が単独で述語を修飾する場合、<副詞>に変更する。

## sample-TCS12036-0250-2

【全員】 | こちら | に | 泊ま | っ | てい | ます | 。

【全員】 | こちら | に | 泊ま | っ | てい | ます | 。

【普通名詞】 | 代名詞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞 | 助動詞 | 語尾 | 記号

【副詞】 | 代名詞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞語幹 | 助動詞語幹 | 語尾 | 句点

SLDB に現れた、不特定の数量を表す<普通名詞>は、次の通り。

何時間、何室、何分、何枚、数時間、数席、数日、全員、全室、全席、全部

## m-2.5.2 (&lt;代名詞&gt;) --&gt; (&lt;副詞&gt;)

述語を修飾する(疑問)<代名詞>の品詞を<副詞>に変更する。

## sample-TAS32006-0160-1

一体 |、| 【いくら】 | 割り引 | い | て | いただけ | ます | か | 。

一体 |、| 【いくら】 | 割り引 | い | て | いただけ | ます | か | 。

副詞 | 記号 | 【代名詞】 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞 | 助動詞 | 語尾 | 終助詞 | 記号

副詞 | 読点 | 【副詞】 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞語幹 | 助動詞語幹 | 語尾 | 終助詞 | 句点

他に「みな」など。

## m-2.5.3 (&lt;数詞&gt; &lt;接尾辞&gt;) --&gt; (&lt;副詞&gt;)

「一番」は、<数量詞>として使われていない限り、<副詞>に変更する。

## sample-TCS23142-0140-1

【一 | 番】 | い | い | 席 | が | い | い | ん | で | す | けれども |、| ...

【一番】 | い | い | 席 | が | い | い | ん | で | す | けれども |、| ...

【数詞 | 接尾辞】 | 形容詞 | 語尾 | 普通名詞 | 格助詞 | 形容詞 | 語尾 | 準体助詞 | 助動詞 | 語尾 | 接続助詞 | 記号 | ...

【副詞】 | 形容詞 | 語尾 | 普通名詞 | 格助詞 | 形容詞 | 語尾 | 準体助詞 | 助動詞語幹 | 語尾 | 接続助詞 | 読点 | ...

## m-2.5.4 (&lt;副詞&gt;) --&gt; (&lt;形容名詞&gt; &lt;助動詞&gt;)

## sample-TAC22013-0390-2

... | 【確かに】 | お | 客 | 様 | の | お | 部屋 | を | お | 取 | り | し | ...

... | 【確かに】 | お | 客 | 様 | の | お | 部屋 | を | お | 取 | り | し | ...

... | 【副詞】 | 接頭辞 | 普通名詞 | 接尾辞 | 連体助詞 | 接頭辞 | 普通名詞 | 格助詞 | 接頭辞 | 本動詞 | 語尾 | 補助動詞 | ...

... | 【形容名詞 | 助動詞】 | 名詞句 | 連体助詞 | 名詞句 | 格助詞 | 接頭辞 | 本動詞 | 語尾 | 補助動詞 | ...

## m-2.5.5 (&lt;副詞&gt;) --&gt; (&lt;文副詞&gt;)

文全体を修飾すると認められる<副詞>は、<文副詞>に変更する。

「どうも」、「恐れ入りますが」、「申し訳ございませんが」、「失礼ですが」など。

## sample-TSS23001-0170-1

【恐れ入りますが】 |、| 税 | サービス | 料 | は | 別 | に | な | り | ます | 。

【恐れ入りますが】 |、| 税 | サービス | 料 | は | 別 | に | な | り | ます | 。

【副詞】 | 記号 | 普通名詞 | サ変名詞 | 接尾辞 | 係助詞 | 形容名詞 | 助動詞 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞 | 語尾 | 記号

【文副詞】 | 読点 | 名詞句 | 係助詞 | 形容名詞 | 助動詞 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞語幹 | 語尾 | 句点

同じ語でも、文によって<文副詞>に変更する場合と、変更しない場合がある。

例えば、<感動詞>「ありがとう」と共起する頻度の高い「どうも」は次のように使い分けをする。

a) 「どうも」が、他の感動詞修飾語句に先行している場合。

<副詞>「いろいろ」のように、他の感動詞修飾語句が「どうも」よりも先に<感動詞>を修飾し<感動詞>を構成する場合。「どうも」は<文副詞>に変更し、後続の<感動詞>が構成する<節>を修飾する。

→ 次に示す構文木のフォーマットについては本編3章冒頭の解説参照

sample-TAS33011-0290-2

【どうも】 | いろいろ | ありがとう |。

【どうも】 | いろいろ | ありがとう |。

【副詞】 | 副詞 | 感動詞 | 記号

【文副詞】 | 副詞 | 感動詞 | 句点

<<文>

<<節>

# <<文副詞> どうも)

<<節>

<<感動詞>

<<副詞句>

<<副詞> いろいろ))

# <<感動詞> ありがとう)))))

<<句点> 。))

b) 他の感動詞修飾語句が、「どうも」に先行している場合。

次のように、<副詞>「いろいろ」が文頭にある場合は、「いろいろ」が<感動詞>を修飾できるように、「どうも」を<副詞>のままにする。

sample-TCS12023-0390-1

いろいろ | 【どうも】 | ありがとうございます |。

いろいろ | 【どうも】 | ありがとうございます |。

副詞 | 【副詞】 | 感動詞 | 記号

副詞 | 【副詞】 | 感動詞 | 句点

<<文>

<<節>

<<感動詞>

<<副詞句>

<<副詞> いろいろ))

<<感動詞>

<<副詞句>

# <<副詞> どうも))

# <<感動詞> ありがとうございます)))))

<<句点> 。))

注) 「どうも」は、「作業マニュアル」の時点では、<副詞>のまま<感動詞>を修飾する例として取り上げられていたが、その後 SLD B においては、a) のように、<文副詞>にできるかぎり<文副詞>としている。

#### m-2.6 <副詞的名詞>への形態素後処理

<副詞的名詞>への品詞変更が行なわれるのは、次に述べるいずれかに該当する場合である。

1) 状況(時)を表す<普通名詞>が連体修飾されて構成された語句が述語修飾する場合。

全体で<副詞句>を構成するために、<普通名詞>の品詞を<副詞的名詞>に変更する。

- 2) 比況、例示、様態を表す<助動詞>「よう」が述語修飾する場合。(助動詞「だ」の連用形「に」を伴う場合と伴わない場合がある)  
その場合「よう」を形式名詞と考えて、品詞を<副詞的名詞>に変更する。また、「に」を<格助詞>に変更する。

次に、各々の例を示す。

- 1) <普通名詞>から<副詞的名詞>への変更

#### m-2.6.1 (<普通名詞>) --> (<副詞的名詞>)

- a) <連体詞句>に修飾される場合

sample-TKS12001-0260-1

その【場合】|、|料金|は|どう|な|る|ん|で|す|か|。

その【場合】|、|料金|は|どう|な|る|ん|で|す|か|。

連体詞|【普通名詞】|記号|普通名詞|係助詞|副詞|本動詞|語尾|準体助詞|助動詞|語尾|終助詞|記号

連体詞|【副詞的名詞】|読点|普通名詞|係助詞|副詞|本動詞|語尾|準体助詞|助動詞語幹|語尾|終助詞|句点

- b) <連体修飾節>に修飾される場合

sample-TKS32004-0240-1

でき|る|【限り】|早|く|御|連絡|いた|し|ま|す|。

でき|る|【限り】|早|く|御|連絡|いた|し|ま|す|。

本動詞|語尾|【普通名詞】|形容詞|語尾|接頭辞|サ変名詞|補助動詞|語尾|助動詞|語尾|記号

本動詞|語尾|【副詞的名詞】|形容詞|語尾|接頭辞|サ変名詞|補助動詞語幹|語尾|助動詞語幹|語尾|句点

SLDBで<副詞的名詞>に品詞が変更された<普通名詞>は、次の通りである。

場合、とおり、ところ、上、ため、かわり、分、限り(かぎり)、前、後(あと)、ころ、間、時、時間

ただし、これらの語句でも助詞、助動詞類が接続して他のカテゴリを構成する場合は、<普通名詞>のままとする。

- 2) 助動詞「よう」が述語修飾する場合

比況、例示、様態を表す助動詞「ようだ」は(<助動詞> <助動詞>)と形態素解析される。接続する<助動詞>「だ」の活用形によって次のように品詞を使い分ける。

- a) <助動詞>「だ」の連用形「に」が接続する場合

#### m-2.6.2 (<助動詞> <助動詞>) --> (<副詞的名詞> <格助詞>)

sample-TCS32026-0050-1

間に合|う|【よう】|に|五時|で|お|願|い|し|た|い|の|で|す|が|。

間に合|う|【よう】|に|五時|で|お|願|い|し|た|い|の|で|す|が|。

本動詞|語尾|【助動詞|助動詞】|日時|格助詞|接頭辞|本動詞|語尾|補助動詞|助動詞|語尾|準体助詞|助動詞|語尾|接続助詞|記号

本動詞|語尾|【副詞的名詞|格助詞】|日時|格助詞|接頭辞|本動詞|語尾|補助動詞|助動詞語幹|語尾|準体助詞|助動詞語幹|語尾|終助詞|句点

- b) <助動詞>「だ」の連用形「に」が接続しない場合

#### m-2.6.3 (<助動詞>) --> (<副詞的名詞>)

<助動詞>「よう」に<助動詞>「だ」の連用形「に」が接続しない場合でも、述語修飾していれば<副詞的名詞>に変更する。

sample-TAS32006-0280-4

...|お|電話|で|御|連絡|いただき|ます|【よう】|お|願|い|いた|し|ます|。  
 ...|お|電話|で|御|連絡|いただき|ます|【よう】|お|願|い|いた|し|ます|。  
 ...|接頭辞|サ変名詞|格助詞|接頭辞|サ変名詞|補助動詞|語尾|助動詞|語尾|【助動詞】|接頭辞|本動詞|語尾|補助動詞|  
 語尾|助動詞|語尾|記号  
 ...|名詞句|格助詞|接頭辞|サ変名詞|補助動詞語幹|語尾|助動詞語幹|語尾|【副詞的名詞】|接頭辞|本動詞|語尾|補助動詞  
 語幹|語尾|助動詞語幹|語尾|句点

注) 次の例は、<助動詞>「よう」が品詞変更されない例。ただし、SLDB にそのような例はあまり出現しない。

sample-TOS33002-0250-2

どうやら|京都|に|二|回|行け|る|テーマ|が|見つ|か|っ|た|【よう|だ】|。  
 どうやら|京都|に|二|回|行け|る|テーマ|が|見つ|か|っ|た|【よう|だ】|。  
 副詞|固有名詞|格助詞|数詞|接尾辞|本動詞|語尾|普通名詞|格助詞|本動詞|語尾|助動詞|【助動詞|助動詞】|記号  
 副詞|固有名詞|格助詞|数詞|接尾辞|本動詞|語尾|普通名詞|格助詞|本動詞|語尾|助動詞|【助動詞|助動詞】|句点

m-2.7 <普通名詞>への形態素後処理

m-2.7.1 (<助動詞>) --> (<普通名詞>)

比況、例示、様態を表す<助動詞>「よう」が<連体詞句>により連体修飾され、<名詞句>として機能している場合は、「よう」は次のように<普通名詞>として処理する。

sample-TAS13003-0110-1

今回|の|【よう】|な|変更|で|す|と|、|...  
 今回|の|【よう】|な|変更|で|す|と|、|...  
 普通名詞|連体助詞|【助動詞】|助動詞|サ変名詞|助動詞|語尾|接続助詞|読点|...  
 普通名詞|連体助詞|【普通名詞】|助動詞|サ変名詞|助動詞語幹|語尾|接続助詞|読点|...

他に、「はず」など。

m-2.7.2 (<助動詞> <助動詞>) --> (<普通名詞> <格助詞>)

「つもり|に」は、連用形で述語修飾している場合は、次のように処理する。

sample-TDS12001-0280-1

オーエイチピー|を|使|う|【つもり|に】|し|て|い|た|ので|、|...  
 オーエイチピー|を|使|う|【つもり|に】|し|て|い|た|ので|、|...  
 普通名詞|格助詞|本動詞|語尾|【助動詞|助動詞】|本動詞|助動詞|助動詞|接続助詞|記号|...  
 普通名詞|格助詞|本動詞|語尾|【普通名詞|格助詞】|本動詞|助動詞語幹|助動詞|接続助詞|読点|...

注) 「つもり」は、<副詞的名詞>に変更しない。

m-2.7.3 (<形容名詞>) --> (<普通名詞>)

例. 「不調」、「不良」、「明細」など(連体修飾されている場合)

sample-TKS12003-0160-1

それから|ウォーターポンプ|の|サーモスタット|の|【不調】|による|もの|だ|...  
 それから|ウォーターポンプ|の|サーモスタット|の|【不調】|による|もの|だ|...  
 接続詞|普通名詞|連体助詞|普通名詞|連体助詞|【形容名詞】|連体助詞|普通名詞|助動詞|...  
 接続詞|普通名詞|連体助詞|普通名詞|連体助詞|【普通名詞】|連体助詞|普通名詞|助動詞|...

注) <サ変名詞>の場合は、<名詞句>に書き換える句構造規則 g-1.34.4 を適用する。

m-2.7.4 (<副詞>) --> (<普通名詞>)

例. 「はじめ」など

sample-T0S33015-0220-1

槍ヶ岳 | を | 【はじめ】 |、 | 美しい | 山 | が | 目 | の | 前 | に | 広が | る | 景観 | は | とても | 感動的 | です |。

槍ヶ岳 | を | 【はじめ】 |、 | 美しい | 山 | が | 目 | の | 前 | に | 広が | る | 景観 | は | とても | 感動的 | です |。

固有名詞 | 格助詞 | 【副詞】 | 記号 | 形容詞 | 語尾 | 普通名詞 | 格助詞 | 普通名詞 | 連体助詞 | 普通名詞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 普通名詞 | 係助詞 | 副詞 | 形容名詞 | 助動詞 | 語尾 | 記号

固有名詞 | 格助詞 | 【普通名詞】 | 読点 | 形容詞 | 語尾 | 普通名詞 | 格助詞 | 普通名詞 | 連体助詞 | 普通名詞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 普通名詞 | 係助詞 | 副詞 | 形容名詞 | 助動詞 | 語幹 | 語尾 | 句点

注) 「XをはじめY…」という表現は、省略現象/並列表現が関係しているため、このように解析した。この場合、特殊な例として「はじめ」から前は部分木を構成する。(部分木では句構造規則を適用するために必要な品詞変更は行なわないが、解釈上必要な品詞変更は行なっている)

## m-2.8 <感動詞> への形態解析後処理

### m-2.8.1 (<サ変名詞>) --> (<感動詞>)

<サ変名詞> が、一語で <感動詞> として機能しているもの。

sample-TCC22112-0080-1

[ あ ] | 【失礼】 |。

【失礼】 |。

記号 | 間投詞 | 記号 | 【サ変名詞】 | 記号

【感動詞】 | 句点

### m-2.8.2 (<副詞>) --> (<感動詞>)

<副詞> が、一語で <感動詞> として機能しているもの。

sample-TCS33036-0140-1

[ あー ] | 【そう】 | [ んー ] | 分か | り | ま | し | した |。

【そう】 | 分か | り | ま | し | した |。

記号 | 間投詞 | 記号 | 【副詞】 | 記号 | 間投詞 | 記号 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞 | 語尾 | 助動詞 | 記号

【感動詞】 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞 | 語幹 | 語尾 | 助動詞 | 句点

## m-2.9 その他の形態素後処理

### m-2.9.1 (<普通名詞>) --> (<本動詞>)

例. 「お泊まり」など

sample-TCS32029-0030-1

… | こち | ら | に | 【お泊まり】 | の | お | 客 | 様 | で | …

… | こち | ら | に | 【お泊まり】 | の | お | 客 | 様 | で | …

… | 代名詞 | 格助詞 | 【接頭辞 | 普通名詞】 | 連体助詞 | 接頭辞 | 普通名詞 | 接尾辞 | 助動詞 | …

… | 代名詞 | 格助詞 | 【接頭辞 | 本動詞 | 語尾】 | 連体助詞 | 名詞句 | 助動詞 | …

### m-2.9.2 (<助動詞> <助動詞>) --> (<引用助詞> <連体助詞> <普通名詞> <助動詞語幹>)

例. 「とのこと」で

sample-TCS33034-0140-1

…|お|電話|くださ|る|よう|に|【と|の|こ|と|で】|す|ね|。

…|接頭辞|サ変名詞|補助動詞|語尾|助動詞|助動詞|【助動詞|助動詞】|語尾|終助詞|記号

…|お|電話|くださ|る|よう|に|【と|の|こ|と|で】|す|ね|。

…|接頭辞|サ変名詞|補助動詞|語幹|語尾|副詞的名詞|格助詞|【引用助詞|連体助詞|普通名詞|助動詞|語幹】|語尾|終助詞|句点

### m-3 複数の形態素のまとめ

形態素データでは複数の形態素に解析されている語句のうち、構文解析においては一語にまとめて扱う場合がある。その処理について述べる。

#### m-3.1 <数詞>のまとめに関する形態素後処理

##### m-3.1.1 連続する<数詞>を1形態素にまとめる

連続する<数詞>、数字の桁を表す<接尾辞>は、形態素のデリミタ "|" を 1 バイトスペース " " に置き換えて、一個の<数詞>とする。

この表記法は、後述する名詞複合語句などの場合も同じである。

sample-TAS13001-0180-2

【一|万|四|千】|円|の|部屋|を|お|願|い|し|ま|す|。

【一 万 四 千】|円|の|部屋|を|お|願|い|し|ま|す|。

【数詞|接尾辞|数詞|接尾辞】|接尾辞|連体助詞|普通名詞|格助詞|接頭辞|本動詞|語尾|補助動詞|助動詞|語尾|記号

【数詞】|接尾辞|連体助詞|普通名詞|格助詞|接頭辞|本動詞|語尾|補助動詞|助動詞|語幹|語尾|句点

他に、電話番号・カード番号・ホテルの部屋番号などの数字の部分に対して、この処理が行なわれる。ただし<接尾辞>「番」、「号|室」などを伴った場合は、m-3.2.4 で示されるように名詞複合語句とする。

##### m-3.1.2 連続する<数詞>の間に出現する<読点>の扱い

一語にまとめようとする<数詞>の間に<読点>が入っている場合、<読点>も<数詞>の一部とする。(この処理は、名詞複合語句などの場合にも共通である。)

sample-TDS33007-0290-1

ファックス|番号|は|、|【零|三|、|三|二|四|五|、|四|五|四|五】|で|す|ね|。

ファックス 番号|は|、|【零 三、 三 二 四 五、 四 五 四 五】|で|す|ね|。

サ変名詞|普通名詞|係助詞|記号|【数詞|数詞|記号|数詞|数詞|数詞|数詞|記号|数詞|数詞|数詞|数詞】|助動詞|語尾|終助詞|記号

名詞句|係助詞|読点|【数詞】|助動詞|語幹|語尾|終助詞|句点

#### m-3.2 名詞複合語句に関する形態素後処理

日本語基本文法では、名詞類が連続する場合については、全体を網羅する句構造規則を用意するのが難しいことから、<日時>、<数量詞>、<姓名>などを扱う一部の規則群を除いて名詞句構成規則を設けていない。また、文の構造を簡潔に表現することを考慮すると、それらの語列の修飾関係を句構造で表現する必要性はさほどない。そこで、名詞類が連続して出現した場合、名詞複合語句として一語にまとめ、<名詞句>とラベル付ける。

また、述語修飾以外の修飾関係による部分構造を持つ語句が多数連続する場合(例:複数の<数量詞>が連続して接続する場合)、パーザが多数の候補を生成する。文の構造をある程度簡潔に表すために、それらの語句を名詞複合語句としてまとめる場合がある。

名詞複合語句を形成する語句は原則として、名詞類(<普通名詞>、<サ変名詞>、<形容名詞>、<固有名詞>、<人名>、<住所名>、<日

時>、<数詞>、<代名詞>）、及び、<接頭辞>、<接尾辞>、<読点>、<記号>（「『、』」）である。また名詞複合語句は、その中に再帰的に名詞複合語句の構造を含む場合がある。その場合、名詞類として<名詞句>も含まれる。

例外として、<記号>「『、』」の内部にはいろいろな品詞が含まれる場合がある。（→ m-3.2.12 参照）

名詞複合語句には、慣用表現、並列表現の処理にかかわるもの、<数量詞>や<日時>と名詞類の組合せなど、いろいろな種類がある。

次に、それらを分類して説明する。

### m-3.2.1 一般的な複合名詞

名詞類に名詞類が接続するか、または、名詞類に<接頭辞>・<接尾辞>が接続する場合

#### m-3.2.1.1 名詞類+名詞類

- 1 (<サ変名詞> <サ変名詞>) (観光 案内)
- 2 (<サ変名詞> <普通名詞>) (参加 人数),(会議 前)
- 3 (<形容名詞> <サ変名詞>) (特別 料理)
- 4 (<形容名詞> <普通名詞>) (必要 事項)

注) <形容名詞>「同じ」が名詞類を修飾する場合に限り、句構造規則 g-2.20.5 (<名詞句> <--> (<形容名詞> <名詞句>)) で木を構成する。他の<形容名詞>が名詞類を修飾する場合は、名詞複合語句として扱っている。

- 5 (<普通名詞> <サ変名詞>) (コース 料理)
- 6 (<普通名詞> <形容名詞>) (税 別)
- 7 (<普通名詞> <普通名詞>) (カード 番号),(夕食 後)
- 8 (<普通名詞> <固有名詞>) (地下鉄 烏丸線)
- 9 (<固有名詞> <普通名詞>) (金閣寺 ほか)
- 10 (<固有名詞> <サ変名詞>) (日本 建築)
- 11 (<代名詞> <普通名詞>) (それ 以外)

#### m-3.2.1.2 <接頭辞>+名詞類

- 1 (<接頭辞> <サ変名詞>) (お 電話)

注) サ変名詞が述語の場合は、句構造規則 g-1.9.3 を適用する。

- 2 (<接頭辞> <普通名詞>) (お 勤め),(何 部屋)
- 3 (<接頭辞> <代名詞>) (お いくら)

#### m-3.2.1.3 名詞類+<接尾辞>

- 1 (<サ変名詞> <接尾辞>) (サービ ス 料)
- 2 (<普通名詞> <接尾辞>) (何名 様),(何時 ごろ)

注) 「何時」ごろが副詞的である場合は、句構造規則 g-1.25.11 で木を構成する。

- 3 (<形容名詞> <接尾辞>) (普通 便)

注) 接尾辞「さ」が形容名詞、形容詞に後接して様態を表す名詞を構成する場合は、句構造規則 g-2.20.1、g-1.38.3 で木を構成する。

- 4 (<固有名詞> <接尾辞>) (大阪 行き),(丸太町 通り)
- 5 (<代名詞> <接尾辞>) (それら),(わたくし ども),(いつ ごろ)

注) 「いつ」ごろが副詞的である場合は、句構造規則 g-1.25.13 で木を構成する。

## m-3.2.1.4 &lt;接頭辞&gt; + 名詞類 + &lt;接尾辞&gt;

- |   |                      |                   |
|---|----------------------|-------------------|
| 1 | (<接頭辞> <普通名詞> <接尾辞>) | (お 昼 ごろ),(お 部屋 代) |
| 2 | (<接頭辞> <サ変名詞> <接尾辞>) | (ご 滞在 中)          |

## m-3.2.1.5 名詞複合語句 + &lt;接尾辞&gt;

- |   |                              |                |
|---|------------------------------|----------------|
| 1 | ((<接頭辞> <普通名詞> <接尾辞>) <接尾辞>) | ((お 子 様) 連れ)   |
| 2 | ((<接頭辞> <普通名詞>) <接尾辞>)       | ((両 コース) とも)   |
| 3 | ((<人名> <接尾辞>) <接尾辞>)         | ((フィリップス 様) 宛) |

## m-3.2.1.6 名詞複合語句 + 名詞類

- |   |                               |                 |
|---|-------------------------------|-----------------|
| 1 | ((<接頭辞> <普通名詞> <接尾辞>) <サ変名詞>) | ((お 客 様) 専用)    |
| 2 | ((<サ変名詞> <接尾辞>) <普通名詞>)       | ((宿泊 者) 全員)     |
| 3 | ((<固有名詞> <普通名詞>) <普通名詞>)      | ((日本 企業) 向け)    |
| 4 | ((<人名> <接尾辞>) <普通名詞>)         | ((フィリップス 様) 以外) |

## m-3.2.1.7 名詞類 + 名詞複合語句

- |   |                          |                |
|---|--------------------------|----------------|
| 1 | (<形容名詞> (<普通名詞> <サ変名詞>)) | (特別 (早朝 サービス)) |
| 2 | (<人名> (<接頭辞> <普通名詞>))    | (ブラウン (御 夫妻))  |

注) <接頭辞> に <普通名詞> が後接する規則は存在しないため、句構造規則 g-1.37.5 (<名詞句> <--> (<人名> <普通名詞>)) ; ブラウン / 夫妻 と同じようには処理できない。

- |   |                         |                    |
|---|-------------------------|--------------------|
| 3 | (<固有名詞> (<サ変名詞> <接尾辞>)) | (ホテルニューヨーク (予約 係)) |
| 4 | (<代名詞> (<接頭辞> <普通名詞>))  | (あなた (ご 自身))       |

## m-3.2.1.8 名詞複合語句 + 名詞複合語句

m-3.2.1.1 から m-3.2.1.7 までの規則で構成された名詞複合語句にさらに名詞複合語句が接続し、全体で一語を形成する場合。

((<普通名詞> <普通名詞>) (<サ変名詞> <普通名詞>)) ((メイン 会場) (使用 料金))

## m-3.2.2 &lt;固有名詞&gt; を含む名詞複合語句

<固有名詞> を含む情報の詳細化

- |   |               |                                    |
|---|---------------|------------------------------------|
| 1 | 会社名           | (エービーエム、日本 京都支社)                   |
| 2 | 列車、飛行機などの便名   | ((のぞみ 九 号) (九時 五十六分 東京 発) (博多 行き)) |
| 3 | ホテルなどの部屋      | (ワシントンホテル (五〇七 号室))                |
| 4 | 場所を示す語句       | ((近鉄 奈良駅) 前), (賀茂川 沿い)             |
| 5 | 地域、団体で一番などの表現 | ((ニューヨーク 一) 新鮮)                    |

## m-3.2.3 数量詞相当語句に関する処理

m-3.2.3.1 (<数詞> <接尾辞>) の組合せだが、<数量詞> として直接述語を修飾する機能を持たない場合、名詞複合語句として処理する。

(十 六 番), (五 階), (十 歳), (二 等)

## m-3.2.3.2 数量詞相当語句と名詞類または &lt;接尾辞&gt; の組合せ

- 1 数量詞相当語句 + <接尾辞>

((三 十 パーセント) 増し)



## 2 数量詞相当語句 + &lt;普通名詞&gt;

((六 時間) 半), ((一 万円) 以下), ((十 五分) 間隔), ((一 泊) 料金), ((三 十分) 程度)

## 3 数量詞相当語句 + &lt;サ変名詞&gt;

((二 十 本) 前後), ((三 十 パーセント) 割り増し), ((八 十 人) 収容)

## 4 数量詞相当語句 + &lt;代名詞&gt;

((四 人 様) それぞれ)

## 5 数量詞相当語句 + 名詞複合語句

((二 つ) (京都 寄り)), ((一 泊) ((二 食) 付き))

## 6 &lt;普通名詞&gt; + 数量詞相当語句

(シングル (二 部屋)), (徒歩 (五 分))

注) この場合、「二 部屋」は<数量詞>を構成し得るが、「シングル」と「二 部屋」が別々に述語を修飾するようにはしない。

## 7 &lt;代名詞&gt; + 数量詞相当語句

(ここ (二、三 日)), (わたし (一 人))

## 8 名詞複合語句 + 数量詞相当語句

((週末 割引) (四 十 パーセント))  
((一 泊 二 食 付き)、(お 一 人 様) (二 万 円))

注) 「お | 一 | 人 | 様 | 二 | 万 | 円」だけの場合は、<数量詞>にして木を構成する。

## 9 接頭辞的な意味を表す&lt;サ変名詞&gt;・数量詞の意味を補足する&lt;普通名詞&gt; + 数量詞相当語句

<サ変名詞>に接続する例 (合計 (八 千 円)), (平均 (二 十 ドル)), (往復 (十 二 万 八 千 円))  
<普通名詞>に接続する例 (大人 (二 人)), (タクシー (二 台)), (年 (一 回))

## 10 程度を表す&lt;接頭辞&gt; + 数量詞相当語句 + 接尾辞的な意味を表す&lt;普通名詞&gt;・&lt;サ変名詞&gt;

<サ変名詞>が接続する例 (だいたい (百 ドル) 前後)  
<普通名詞>が接続する例 (およそ (十 五 分) 間隔)

## 11 その他 (1 ~ 10 が複合的に連続する場合)

((<数詞> <接尾辞> <普通名詞>) <読点> (<数詞> <接尾辞> <数詞> <接尾辞> <普通名詞>))  
((七 日 以上)、(三 十 七 日 以内))

## m-3.2.4 電話番号・カード番号・ホテルの部屋番号などに関する処理

(<数詞> <数詞> <読点> <数詞> <数詞> <数詞> <数詞> <読点> <数詞> <数詞> <数詞> <数詞> <接尾辞>)  
(零 三、三 二 二 三、一 二 三 四 番)

(<数詞> <数詞> <数詞> <接尾辞> <接尾辞>)  
(五 〇 八 号 室)

## m-3.2.5 スベルに関する処理

人名や名称の確認でスペルを述べる場合などのアルファベットの連続は、一語の名詞複合語句にまとめる。

sample-TGS13002-0060-2

【ピー | エイチ | アイ |、 | エル | エル | アイ | ビー | エス】 | で | す | 。

【ピー エイチ アイ、 エル エル アイ ビー エス】 | で | す | 。

【普通名詞 | 普通名詞 | 普通名詞 | 記号 | 普通名詞 | 普通名詞 | 普通名詞 | 普通名詞 | 普通名詞】 | 助動詞 | 語尾 | 記号

【名詞句】 | 助動詞語幹 | 語尾 | 句点

### m-3.2.6 並列表現に関する処理

m-3.2.6.1 並列表現の各要素が <普通名詞> <読点> <普通名詞> ... など名詞類の連続で出現した場合、名詞複合語句にまとめる

(コーヒー、紅茶)、(十二日、十三日)

注) 特に、<日時>の並列表現は、品詞列に対応した句構造規則が存在する場合は有るが、その場合でも並列表現であることの方が優先される。(「十二日、十三日」に、句構造規則 g-1.41.4 (<複合日時> <--> (<日時> <日時>)) を適用しない、など)

m-3.2.6.2 先頭または最後の語句が、意味的に並列する語句を修飾する場合、名詞複合語句にまとめる

次の「毎時」は、「零分 ~ 四十五分」までを修飾

((<普通名詞> <読点> (<日時> <読点> <日時> <読点> <日時> <読点> <日時>))  
(毎時、(零分、十五分、三十分、四十五分))

次の「九月」は、「二、三、四日」を修飾

((<日時> (<日時> <読点> <日時> <読点> <日時>))  
(九月(二、三、四日))

次の「とも」は、「ツイン、ダブル」を後ろから修飾

(((<普通名詞> <読点> <普通名詞>)) <接尾辞>)  
((ツイン、ダブル)とも)

→ 部分木にして木構造を示す場合は、本編 4.1 並列表現 を参照

### m-3.2.7 同格表現に関する処理

同格表現ではあるが、当該の表現を含む語列の修飾関係を句構造規則では表現しきれない場合

(((<普通名詞> (<日時> <日時>)) <接尾辞>)  
((明日(八月十日))中)

(((<代名詞> (<人名> <人名>)) <普通名詞>)  
(((<わたくし(鈴木 和夫)>) 名義)

### m-3.2.8 日時に関する処理

m-3.2.8.1 日時相当語句だが、木を構成する句構造規則がないので、名詞複合語句にまとめる

((<接頭辞> <数詞>) <接尾辞> ((第一)週)  
((<接頭辞> <数詞>) <日時>) ((第四)日曜日)  
((<接頭辞> <普通名詞>) <日時>) ((お昼)十二時)

注) 普通名詞の前に <接頭辞> がない「昼 | 十二時」、「毎週 | 土曜日」は、句構造規則 g-1.41.2 で木を構成する。

m-3.2.8.2 「m時 n分前」の表現は、木を構成する句構造規則がないので、名詞複合語句にまとめる

(<日時> (<<数詞> <接尾辞>) <接尾辞>)) (六時 (五分) 前))

m-3.2.8.3 日時の木を構成する規則が存在するが名詞複合語句とする場合

(<日時> <日時> <普通名詞>) (十月 二十八日 付け)

注) 句構造規則 g-1.41、g-2.22 が適用されるのは、日時そのものを表している場合に限られる。次も同様である。

m-3.2.8.4 日時に接続する<サ変名詞>が述語でない場合

(<日時> <サ変名詞>) (九時 出発), (十三時 開演)

注) 「六時 | 前後」の場合は、句構造規則 g-2.22.1 で木を構成する。

m-3.2.8.5 日時相当語句 + <接尾辞> (「発」、「着」など)

((<普通名詞> <日時> <日時>) <接尾辞>) ((午前 九時 十五分) 発)  
 ((<日時> <日時>) <接尾辞>) ((九時 五十五分) 着)

m-3.2.8.6 日時相当語句 + 数量詞相当語句

((<日時> <日時>) (<接頭辞> <数詞> <接尾辞>)) ((十月 十日) (御 一 泊))

m-3.2.9 <間投詞>、言い誤りの処理と名詞複合語句

m-3.2.9.1 名詞複合語句にまとめる語列の間に、<間投詞>、言い誤りを含む場合、当該の語列を削除し名詞複合語句を構成する

(<サ変名詞> <記号> <読点> <間投詞> <記号> <間投詞> <読点> <普通名詞>)  
 (料理 |、| [う |、| まあ |] | 日本料理店) --> (料理、日本料理店)

(<普通名詞> <記号> <その他> <記号> <固有名詞>)  
 (ホテル | ( | 東急 |) | 東京イン) --> (ホテル 東京イン)

m-3.2.9.2 言い誤りの部分をそのまま吸収して名詞複合語句を構成する場合

次の例では、最初の「レンタル」は言い誤りだが、( ) で囲まれていないため、解析対象語句となる。そこで、後続の名詞複合語句にまとめる。

sample-TDS32009-0120-3

... | そして | その | 【レンタル |、| レンタル | クラブ】 | で | す | ね |、| ...  
 ... | そして | その | 【レンタル、 レンタル クラブ】 | で | す | ね |、| ...  
 ... | 接続詞 | 連体詞 | 【サ変名詞 | 記号 | サ変名詞 | 普通名詞】 | 助動詞 | 語尾 | 終助詞 | 記号 | ...  
 ... | 接続詞 | 連体詞 | 【名詞句】 | 助動詞語幹 | 語尾 | 終助詞 | 読点 | ...

m-3.2.10 並列/同格以外の名詞類の連続による名詞複合語句 (簡条発話)

予約などの確認においては、日時・人数・金額・部屋番号・便名・人名などの要素が、無関係に羅列される。これらは、いくつかの要素の連続したものであり、それぞれが述語を修飾しているわけではない。そのため、次のように非常に長い名詞複合語句を構成することがある。

(<固有名詞> <読点> <固有名詞> <接尾辞> <読点> <普通名詞> <読点> <普通名詞>)  
 (メトロライナー、ワシントン行、ファーストクラス、喫煙席)

(<普通名詞> <普通名詞> <接尾辞> <数詞> <接尾辞>)  
 (シングルルーム シャワー 付き 二 泊)

(〈日時〉 〈日時〉 〈読点〉 〈数詞〉 〈数詞〉 〈数詞〉 〈接尾辞〉 〈読点〉 〈人名〉 〈中黒〉 〈人名〉 〈接尾辞〉)  
 (八月 十日、二〇一 便、ジョン・フィリップス 様)

注) ここでの人名は、呼びかけではなく確認内容である。

m-3.2.11 連続する名詞類を一つの名詞複合語句にまとめず、複数の〈名詞句〉がそれぞれ述語を修飾する場合

次の例では、途中に〈連体助詞〉が出現しているので、全体を一つの名詞複合語句にまとめられない。さらに〈連体助詞〉「の」までの〈連体詞句〉は直後の「のぞみ 号」だけを修飾するので、予約確認の場合の簡条発話のように「一 名 様」までを名詞複合語句に含めない。

sample-TCS33052-0120-1

ジョン・フィリップス様 | で、 | [ | え | ] | 【京都 | 発 | 十時 | 十一分 |、 | 博多 | 着 |、 | 一時 |】 | の | 【のぞみ | 号 |】 |、 | 【一 | 名 | 様 |】 | で | ご | ざ | い | ま | す | ね |。

ジョン・フィリップス様 | で、 | 【京都 | 発 | 十時 | 十一分、 | 博多 | 着、 | 一時 |】 | の | 【のぞみ | 号 |】 |、 | 【一 | 名 | 様 |】 | で | ご | ざ | い | ま | す | ね |。

人名 | 記号 | 人名 | 接尾辞 | 格助詞 | 記号 | 記号 | 間投詞 | 記号 | 【固有名詞 | 接尾辞 | 日時 | 日時 | 記号 | 固有名詞 | 接尾辞 | 記号 | 日時 |】 | 連体助詞 | 【固有名詞 | 接尾辞 |】 | 記号 | 【数詞 | 接尾辞 | 接尾辞 |】 | 助動詞 | 補助動詞 | 語尾 | 終助詞 | 記号

人名 | 中黒 | 人名 | 接尾辞 | 格助詞 | 読点 | 【名詞句 |】 | 連体助詞 | 【名詞句 |】 | 読点 | 【数詞 | 接尾辞 | 接尾辞 |】 | 助動詞 | 補助動詞 | 語幹 | 語尾 | 終助詞 | 句点

m-3.2.12 〈記号〉「」でまとめられる名詞複合語句

「」の内部では、例外的に名詞類以外の品詞 (〈連体助詞〉 など) が含まれることを認めている。

(〈記号〉 〈普通名詞〉 〈連体助詞〉 〈普通名詞〉 〈記号〉)  
 (「 本 日 の デ ィ ナ ー 」)

また、次のように、「」でくくられた〈名詞句〉に続く名詞類までが一つの名詞複合語句にまとめられることもある。

(〈記号〉 〈固有名詞〉 〈数詞〉 〈接尾辞〉 〈記号〉 〈固有名詞〉 〈接尾辞〉)  
 (「 のぞみ 九 号 」 博多 行き)

sample-THS13002-0070-2

そうしますと、 | 【「 | のぞみ | 九 | 号 |」 | 博多 | 行き |】 | という | 電車 | が | 有 | り | ま | す | ね |。

そうしますと、 | 【「 | のぞみ | 九 | 号 |」 | 博多 | 行き |】 | という | 電車 | が | 有 | り | ま | す | ね |。

接続詞 | 記号 | 【記号 | 固有名詞 | 数詞 | 接尾辞 | 記号 | 固有名詞 | 接尾辞 |】 | 連体助詞 | 普通名詞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞 | 語尾 | 終助詞 | 記号

接続詞 | 読点 | 【名詞句 |】 | 連体助詞 | 普通名詞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞語幹 | 語尾 | 終助詞 | 句点

m-3.2.13 名詞類以外の品詞が名詞複合語句に含まれる場合

次の例は、当該の語列が文中で〈名詞句〉の働きをしている。これらの語列は、〈名詞句〉にまとめる原則から外れているが、現在の句構造規則では〈名詞句〉の内部構造を適切に表現することができない。しかし、そのために例外的な句構造規則を追加することは意味がないので、これらの語列については〈名詞句〉にまとめる。

m-3.2.13.1 〈連体詞〉が含まれる場合

(〈連体詞〉 〈普通名詞〉 〈数詞〉 〈接尾辞〉 〈接尾辞〉) (当 ホテル 二 番 目)

sample-TDS33004-0150-1

... | 桔梗の間 | は、 | 【当 | ホテル | 二 | 番 | 目 |】 | の | 大 | き | さ | に | な | っ | て | お | り | ま | し | て |、 | ...

... | 桔梗の間 | は、 | 【当 | ホテル | 二 | 番 | 目 |】 | の | 大 | き | さ | に | な | っ | て | お | り | ま | し | て |、 | ...

... | 固有名詞 | 係助詞 | 記号 | 【連体詞 | 普通名詞 | 数詞 | 接尾辞 | 接尾辞 |】 | 連体助詞 | 形容詞 | 接尾辞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞 | 語尾 | 助動詞 | 語尾 | 接続助詞 | 記号 | ...

... | 固有名詞 | 係助詞 | 読点 | 【名詞句 |】 | 連体助詞 | 形容詞 | 接尾辞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞語幹 | 語尾 | 助動詞語幹 | 語尾 | 接続助詞 | 読点 | ...

## m-3.2.13.2 &lt;感動詞&gt; が含まれる場合

(<感動詞> <人名>) (ハッピーバースデー ユウジ)

sample-TCS33032-0080-2

... | 【ハッピーバースデー | ユウジ】 |、 | と | 書 | い | て | くだ | さ | い |。  
 ... | 【ハッピーバースデー ユウジ】 |、 | と | 書 | い | て | くだ | さ | い |。  
 ... | 【感動詞 | 人名】 | 記号 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞 | 語尾 | 記号  
 ... | 【名詞句】 | 読点 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 助動詞語幹 | 語尾 | 句点

## m-3.2.13.3 &lt;副詞&gt; が含まれる場合

(<日時> <副詞> <普通名詞>) (三時 ちょうど 発)

sample-THS33005-0140-1

... | 【三時 | ちょうど | 発】 | の | ひ | かり | 二 | 百 | 四 | 十 | 六 | 号 | と | ...  
 ... | 【三時 ちょうど 発】 | の | ひ | かり | 二 | 百 | 四 | 十 | 六 | 号 | と | ...  
 ... | 【日時 | 副詞 | 普通名詞】 | 連体助詞 | 固有名詞 | 数詞 | 接尾辞 | 数詞 | 接尾辞 | 数詞 | 接尾辞 | 並立助詞 | ...  
 ... | 【名詞句】 | 連体助詞 | 名詞句 | 並立助詞 | ...

## m-3.3 &lt;数詞&gt;、名詞複合語句以外の品詞のまとめに関する形態素後処理

複数の形態素を一語にまとめる処理は、<数詞>の場合と、名詞複合語句の場合以外は、例外的な処理であり、次のような例がある。

## m-3.3.1 本来1形態素であるべき語句の間に言い誤りが入って2語になった場合

言い誤りで分離した「フィリッ」と「プス」と間に1バイトスペースを入れて <人名> を再構成する。

sample-TAS33020-0030-1

はい |、 | 【フィリッ | ( | ス | ) | プス | 様】 |、 | お | は | よ | う | ご | ざ | い | ま | す |。  
 はい |、 | 【フィリッ プス | 様】 |、 | お | は | よ | う | ご | ざ | い | ま | す |。 | )  
 感動詞 | 記号 | 【その他 | 記号 | その他 | 記号 | その他 | 接尾辞】 | 記号 | 感動詞 | 記号  
 感動詞 | 読点 | 【人名 | 接尾辞】 | 読点 | 感動詞 | 句点 | )

## m-3.3.2 複数の形態素後処理を適用した場合

数詞を日時として扱い、かつ日時が並列しているので m-3.2.6 を適用し名詞複合語句を構成する。

sample-TAC23021-0110-2

【 | 十 | 四 | 十 | 五 | 】 | で | し | た | ら |、 | ...  
 【 | 十 | 四 | 十 | 五 | 】 | で | し | た | ら |、 | ...  
 数詞 | 数詞 | 数詞 | 数詞 | 助動詞 | 語尾 | 助動詞 | 記号 | ...  
 名詞句 | 助動詞語幹 | 語尾 | 助動詞 | 読点 | ...

## m-4 SLDB以後に発生した形態素後処理

## m-4.1 記号 "「"、及び "」" の削除

形態素後処理で、2発話にまたがった記号 "「"、及び "」" を削除する。

sample-CT230021-0150-2

【 | 「 | 先 | に | 現 | 地 | へ | 向 | か | う | の | で | 直 | 接 | 来 | て | くだ | さ | い |。  
 先 | に | 現 | 地 | へ | 向 | か | う | の | で | 直 | 接 | 来 | て | くだ | さ | い |。  
 【記号】 | 普通名詞 | 格助詞 | 普通名詞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 接続助詞 | 副詞 | 本動詞 | 助動詞 | 語尾 | 記号

普通名詞 | 格助詞 | 普通名詞 | 格助詞 | 本動詞 | 語尾 | 接続助詞 | 副詞 | 本動詞 | 助動詞語幹 | 語尾 | 句点

sample-CT230021-0150-3

【】 | とのことです |。

と | の | こと | です |。

【記号】 | 助動詞 | 語尾 | 記号

引用助詞 | 連体助詞 | 普通名詞 | 助動詞語幹 | 語尾 | 句点

m-4.2 (<接頭辞> <普通名詞> <本動詞>) --> (<接頭辞> <サ変名詞> <補助動詞>)

「お | 話 | する」の品詞列を、「話」を述語修飾する語句が存在する場合に限り、(<接頭辞> <普通名詞> <本動詞>) から (<接頭辞> <サ変名詞> <補助動詞>) に変更する。

次の発話では、「話」に<普通名詞>、「し」に<本動詞>が付与されているので、<格助詞>「を」が省略されていると考えることもできるが、「どなたと」が「(お) 話 (し)」を修飾できるように、形態素後処理で「話」を<サ変名詞>に、「し」を<補助動詞>に変更する。

sample-OT230011-0180-2

... | どなた | と | 【お | 話 | し】 | たらよ | い | で | しょ | う | か |。

... | どなた | と | 【お | 話 | し】 | たらよ | い | で | しょ | う | か |。

... | 代名詞 | 格助詞 | 【接頭辞 | 普通名詞 | 本動詞】 | 助動詞 | 語尾 | 助動詞 | 語尾 | 助動詞 | 終助詞 | 記号

... | 代名詞 | 格助詞 | 【接頭辞 | サ変名詞 | 補助動詞】 | 助動詞語幹 | 語尾 | 助動詞語幹 | 語尾 | 助動詞 | 終助詞 | 句点

m-4.3 (<連体詞>) --> (<副詞>)

述語修飾している「そんな」の品詞を<連体詞>から<副詞>に変更する。

sample-UT320012-0080-1

いえ |、| 【あの一】 | 【そんな】 | ( | な | な | ) | 長 | く | な | い | で | す | よ |。

いえ |、| 【そんな】 | 長 | く | な | い | で | す | よ |。

感動詞 | 記号 | 記号 | 間投詞 | 記号 | 【連体詞】 | 記号 | その他 | 記号 | 形容詞 | 語尾 | 助動詞 | 語尾 | 助動詞 | 語尾 | 終助詞 | 記号

感動詞 | 読点 | 【副詞】 | 形容詞 | 語尾 | 助動詞語幹 | 語尾 | 助動詞語幹 | 語尾 | 終助詞 | 句点

m-4.4 (<副詞> <接続助詞>) --> (<文副詞>) (または (<副詞>))

「あいにく | ながら」 (<副詞> <接続助詞>) を一語の<文副詞> (または<副詞>) 「あいにくながら」とする。

sample-CT320062-0040-1

... | 【あいにく | ながら】 | ( | ほ | ん | に | つ | ) | 本 | 日 | の | サ | ー | ビ | ス | は | ...

... | 【あいにくながら】 | 本 | 日 | の | サ | ー | ビ | ス | は | ...

... | 【副詞 | 接続助詞】 | 記号 | その他 | 記号 | 普通名詞 | 連体助詞 | サ変名詞 | 係助詞 | ...

... | 【文副詞】 | 普通名詞 | 連体助詞 | サ変名詞 | 係助詞 | ...

m-4.5 (<形容詞> <接続助詞>) --> (<文副詞>) (または (<副詞>))

m-4.4 と同様に、「恥ずかし | ながら」 (<形容詞> <接続助詞>) も一語の<文副詞> (または<副詞>) 「恥ずかしながら」とする。

sample-CT320082-0060-1

... | 【恥ずかし | ながら】 | ... | 得 | 意 | で | は | な | い | ん | で | す | よ |。

...|【恥ずかしながら】|...|得意|で|は|な|い|ん|で|す|よ|。  
 ...|【形容詞|接続助詞】|...|形容名詞|助動詞|係助詞|助動詞|語尾|準体助詞|助動詞|語尾|終助詞|記号  
 ...|【文副詞】|...|形容名詞|助動詞|係助詞|助動詞語幹|語尾|準体助詞|助動詞語幹|語尾|終助詞|句点

m-4.6 形態素後処理の基準 m-2.7.2 (<助動詞> <助動詞>) --> (<普通名詞> <格助詞>) の補足

「つもり|で」(<助動詞> <助動詞>) の品詞を、(<普通名詞> <格助詞>) に変更する。

sample-AT120052-0280-1

...|四時|ごろ|に|着|く|【つもり|で】|い|ま|す|の|で|、|...  
 ...|四時|ごろ|に|着|く|【つもり|で】|い|ま|す|の|で|、|...  
 ...|日時|接尾辞|格助詞|本動詞|語尾|【助動詞|助動詞】|本動詞|助動詞|語尾|接続助詞|記号|...  
 ...|日時|接尾辞|格助詞|本動詞|語尾|【普通名詞|格助詞】|本動詞|助動詞語幹|語尾|接続助詞|...

m-4.7 (<サ変名詞> <記号> <サ変名詞>) --> (<サ変名詞>)

「展示|、|販売」(<サ変名詞> <記号> <サ変名詞>) を一語の<サ変名詞>「展示、販売」(1バイトスペース入り)とする。

sample-OT230102-0020-1

...|京都|の|伝統|工芸品|を|【展示|、|販売】|し|て|い|る|場所|を|...  
 ...|京都|の|伝統|工芸品|を|【展示、販売】|し|て|い|る|場所|を|...  
 ...|固有名詞|連体助詞|普通名詞|普通名詞|格助詞|【サ変名詞|記号|サ変名詞】|補助動詞|助動詞|語尾|普通名詞|格助詞|...  
 ...|固有名詞|連体助詞|名詞句|格助詞|【サ変名詞】|補助動詞|助動詞語幹|語尾|普通名詞|格助詞|...

m-4.8 (<本動詞> <語尾> <普通名詞>) --> (<普通名詞>)

「空|き|部屋」(<本動詞> <語尾> <普通名詞>) を一語の<普通名詞>「空き部屋」とする。

sample-CT130111-0110-1

...|同じ|お|値段|の|シングル|の|【空|き|部屋】|が|ご|ざ|い|ま|す|。  
 ...|同じ|お|値段|の|シングル|の|【空き部屋】|が|ご|ざ|い|ま|す|。  
 ...|形容名詞|接頭辞|普通名詞|連体助詞|【本動詞|語尾|普通名詞】|連体助詞|本動詞|語尾  
 ...|形容名詞|名詞句|連体助詞|普通名詞|連体助詞|【普通名詞】|格助詞|本動詞|語尾|句点

m-4.9 (<形容詞> <語尾>) --> (<普通名詞>)

助詞が接続する場合、「早|く」(<形容詞> <語尾>) を一語の<普通名詞>「早く」に変更する。

sample-RT330012-0160-1

かなり|【朝|早|く】|から|来|て|い|た|だ|け|れ|ば|、|...  
 かなり|【朝|早く】|から|来|て|い|た|だ|け|れ|ば|、|...  
 副詞|【普通名詞|形容詞|語尾】|格助詞|本動詞|助動詞|語尾|接続助詞|記号|...  
 副詞|【名詞句】|格助詞|本動詞|助動詞語幹|語尾|接続助詞|読点|...

注) この例では、さらに m-3.2.1.1 により、先行する「朝」と名詞複合語句を構成する。

同様に、「遅|く」(<形容詞> <語尾>) も、一語の<普通名詞>「遅く」に変更する。

sample-0T230122-0100-4

【夜|遅|く】|でも|入れ|ます|か|。

【夜|遅|く】|でも|入れ|ます|か|。

【普通名詞|形容詞|語尾】|副助詞|本動詞|助動詞|語尾|終助詞|記号

【名詞句】|副助詞|本動詞|助動詞語幹|語尾|終助詞|句点

m-4.10 「お|乗|り|間|違|え」を、名詞複合語句として処理

当該の語列は全体で動詞句として形態素解析されているので、名詞複合語句の構成原則から外れるが、発話中では名詞句相当の機能を果たしており、転成名詞として扱うのが妥当と考えられるので、名詞複合語句とする。

sample-IT230031-0120-1

...|外|回|り|と|内|回|り|も|ご|ざ|い|ま|す|の|で|【お|乗|り|間|違|え】|の|な|い|よ|う|に|お|気|を|付|け|く|だ|さ|い|。

...|外|回|り|と|内|回|り|も|ご|ざ|い|ま|す|の|で|【お|乗|り|間|違|え】|の|な|い|よ|う|に|お|気|を|付|け|く|だ|さ|い|。

...|サ|変|名|詞|並|立|助|詞|普|通|名|詞|係|助|詞|本|動|詞|語|尾|接|続|助|詞|【接|頭|辞|本|動|詞|語|尾|補|助|動|詞】|格|助|詞|形|容|詞|語|尾|助|動|詞|助|動|詞|接|頭|辞|本|動|詞|補|助|動|詞|語|尾|記|号

...|サ|変|名|詞|並|立|助|詞|普|通|名|詞|係|助|詞|本|動|詞|語|尾|接|続|助|詞|【名|詞|句】|格|助|詞|形|容|詞|語|尾|副|詞|的|名|詞|格|助|詞|接|頭|辞|本|動|詞|補|助|動|詞|語|尾|句|点

他に、「二|十|四|枚|撮|り」(<数詞> <接尾辞> <数詞> <接尾辞> <本動詞> <語尾>)を、名詞複合語句「二|十|四|枚|撮|り」とした例がある。

sample-CT130092-0190-1

【二|十|四|枚|撮|り】|の|フ|ィ|ル|ム|な|ん|で|す|が|、|...

【二|十|四|枚|撮|り】|の|フ|ィ|ル|ム|な|ん|で|す|が|、|...

【数|詞|接|尾|辞|数|詞|接|尾|辞|本|動|詞|語|尾】|連|体|助|詞|普|通|名|詞|助|動|詞|準|体|助|詞|助|動|詞|語|尾|接|続|助|詞|記|号|...

【名|詞|句】|連|体|助|詞|普|通|名|詞|助|動|詞|準|体|助|詞|助|動|詞|語|尾|接|続|助|詞|読|点|...





## 付録 B

### 構文解析のための句構造規則

#### B.1 概要説明

構文解析情報付与に用いられる構文木データは、付録 A で述べた形態素後処理を行なったデータに対して、日本語基本文法の句構造規則を用いてパーザで機械的に生成される。そこで用いられる非終端記号の定義と規則については、すでに「作業マニュアル」に詳述されている。その後、非終端記号は追加、変更などされていないが、句構造規則は新たに出現した言語現象を扱うため、追加されている。

構文解析に用いられた句構造規則は、次のように大きく三つに分類できる。

1. 日本語基本文法の句構造規則 (CFG 規則) g-1
2. SLDB 作成時に追加された句構造規則 g-2
3. SLDB 以後に追加された句構造規則 g-3

ここでは、句構造規則を分類し、次のフォーマットで示した。

```

g-x.yy.zz (<e-l> <--> (<e-r1> <e-r2>)) ; [add1]str1/str2[add2]//TXXdddd-dddd-dd(comm)
:
:
:
規則の分類番号 句構造規則 ; 使用例 // ファイル ID- 発話番号 - 枝番号 (注釈)

x : 大分類      e-l : 左辺要素      [add1] : 先行する参考文字列
yy : 中分類     e-r1: 右辺左要素    str1  : 右辺左要素文字列
zz : 小分類     e-r2: 右辺右要素    / 右辺左要素と右辺右要素の区切り
                        str2  : 右辺右要素文字列
                        [add2] : 後続する参考文字列
  
```

注) 非終端記号の説明については「『作業マニュアル』 5.2 日本語基本文法で用いる非終端記号」を参照されたい。

規則によっては、特定の条件を満たす場合に限定して適用する場合がある。その場合には注釈が記されているので適宜参照されたい。

句構造規則の分類集計			
日本語基本文法の句構造規則数			291
内訳	スタートルール		1
	プレターミナル書換え規則数		41
	それ以外の句構造規則数		249
追加	SLDB 作業時に追加した句構造規則数		63
	SLDB 作業後に追加した句構造規則数		5
全体の句構造規則数			359

説明に関連した参照先は、項目番号で示した。

- 参照先が本編である場合は、項目番号の前に本編と記した。
- 参照先が付録 A である場合は、項目番号が、m- で始まる。
- 必要に応じて該当する項目を参照されたい。

注) g-1, g-2 の句構造規則のなかには、SLDB において使用されなかった規則も存在する。その場合、使用例の「// ファイル ID- 発話番号 - 枝番号」のかわりに、「// SLDB には存在しない」と記す。

## B.2 内容説明

### g-1 日本語基本文法の句構造規則

日本語基本文法には、次の合計 291 の規則が存在する。

注) スタートルールは、パーザのための規則で、句構造規則としての意味はないので、g-1.0 として別扱いとした。

それぞれの規則の詳しい説明は「作業マニュアル」にあるので、そちらを参照されたい。

#### g-1.0 スタートルール

例は省略。

##### g-1.0.1 (<START> <--> (<文>))

#### g-1.1 プレターミナルの書き換え規則

次に示す 41 個のプレターミナルが、そのまま構文解析で使用できる全品詞名でもある。付録 A の形態素後処理で、形態素データの品詞はこの中のいずれかの品詞に変更される。例は省略。

- g-1.1.1 (<句点> <--> (句点))
- g-1.1.2 (<読点> <--> (読点))
- g-1.1.3 (<感嘆符> <--> (感嘆符))
- g-1.1.4 (<疑問符> <--> (疑問符))
- g-1.1.5 (<中黒> <--> (中黒))
- g-1.1.6 (<接続詞> <--> (接続詞))
- g-1.1.7 (<文副詞> <--> (文副詞))
- g-1.1.8 (<副詞> <--> (副詞))
- g-1.1.9 (<感動詞> <--> (感動詞))
- g-1.1.10 (<本動詞> <--> (本動詞))
- g-1.1.11 (<形容詞> <--> (形容詞))
- g-1.1.12 (<語尾> <--> (語尾))
- g-1.1.13 (<補助動詞> <--> (補助動詞))
- g-1.1.14 (<補助動詞語幹> <--> (補助動詞語幹))
- g-1.1.15 (<助動詞> <--> (助動詞))
- g-1.1.16 (<助動詞語幹> <--> (助動詞語幹))
- g-1.1.17 (<使役助動詞語幹> <--> (使役助動詞語幹))
- g-1.1.18 (<受身助動詞語幹> <--> (受身助動詞語幹))
- g-1.1.19 (<形容名詞> <--> (形容名詞))
- g-1.1.20 (<サ変名詞> <--> (サ変名詞))
- g-1.1.21 (<名詞句> <--> (名詞句))

- g-1.1.22 (<普通名詞> <--> (普通名詞))  
 g-1.1.23 (<固有名詞> <--> (固有名詞))  
 g-1.1.24 (<代名詞> <--> (代名詞))  
 g-1.1.25 (<副詞の名詞> <--> (副詞の名詞))  
 g-1.1.26 (<数詞> <--> (数詞))  
 g-1.1.27 (<接頭辞> <--> (接頭辞))  
 g-1.1.28 (<接尾辞> <--> (接尾辞))  
 g-1.1.29 (<人名> <--> (人名))  
 g-1.1.30 (<住所名> <--> (住所名))  
 g-1.1.31 (<日時> <--> (日時))  
 g-1.1.32 (<連体詞> <--> (連体詞))  
 g-1.1.33 (<係助詞> <--> (係助詞))  
 g-1.1.34 (<格助詞> <--> (格助詞))  
 g-1.1.35 (<副助詞> <--> (副助詞))  
 g-1.1.36 (<引用助詞> <--> (引用助詞))  
 g-1.1.37 (<準体助詞> <--> (準体助詞))  
 g-1.1.38 (<接続助詞> <--> (接続助詞))  
 g-1.1.39 (<連体助詞> <--> (連体助詞))  
 g-1.1.40 (<並立助詞> <--> (並立助詞))  
 g-1.1.41 (<終助詞> <--> (終助詞))

## g-1.2 &lt;文&gt;を構成する規則

- g-1.2.1 (<文> <--> (<節> <句点>)) ; こんにちは /。 //TOS33016-0010-1  
 g-1.2.2 (<文> <--> (<節> <感嘆符>)) ; // SLDB には存在しない(! は表記されないため)  
 g-1.2.3 (<文> <--> (<節> <疑問符>)) ; // SLDB には存在しない(? は表記されないため)

注) 付録 A の形態素後処理 m-2.1.4、m-2.1.5 参照。

## g-1.3 &lt;節&gt;を構成する規則

- g-1.3.1 (<節> <--> (<動詞>)) ; ここに来 [て] //TOS33015-0280-1  
 g-1.3.2 (<節> <--> (<動詞句>)) ; [はい、] 分かりました //TOS33016-0270-1  
 g-1.3.3 (<節> <--> (<感動詞>)) ; どういたしまして //TOS33013-0250-1

## g-1.4 &lt;節&gt;の接続規則

- g-1.4.1 (<節> <--> (<感動詞> <節>)) ; ええ、 / そうです //TAS13003-0060-1  
 g-1.4.2 (<節> <--> (<接続詞> <節>)) ; じゃあ / よろしくお願ひします //TTS33002-0310-2  
 g-1.4.3 (<節> <--> (<文副詞> <節>)) ; どうも / ありがとう //TJS32002-0210-1  
 g-1.4.4 (<節> <--> (<副詞節> <節>)) ; それだと / 間に合いますね //TGS12004-0220-1  
 g-1.4.5 (<節> <--> (<連用接続節> <節>)) ; 昼の部なら / 取れますか //TCS12027-0120-2

## g-1.5 &lt;感動詞&gt;の接続規則

- g-1.5.1 (<感動詞> <--> (<副詞句> <感動詞>)) ; よろしく / お願ひします //TAS12026-0290-1  
 g-1.5.2 (<感動詞> <--> (<後置詞句> <感動詞>)) ; きょうは / ありがとうございました //TAS33003-0250-4

## g-1.6 &lt;連用接続節&gt;、&lt;連体修飾節&gt;の構成規則

- g-1.6.1 (<連用接続節> <--> (<動詞>)) ; こちらも祇園に在り //TBS13001-0140-1  
 g-1.6.2 (<連用接続節> <--> (<動詞句>)) ; ご利用いただき [ありがとうございました] //TCC22111-0250-2  
 g-1.6.3 (<連体修飾節> <--> (<動詞>)) ; 広い [造り] //TAS13024-0120-1  
 g-1.6.4 (<連体修飾節> <--> (<動詞句>)) ; 予約する [とき] //TCC22114-0090-1  
 g-1.6.5 (<連体修飾節> <--> (<連用接続節> <連体修飾節>)) ; 暖かく / 湿った [空気] //TCS23151-0150-1  
 g-1.6.6 (<連体修飾節> <--> (<副詞節> <連体修飾節>)) ; 部屋に戻り次第 / 電話する [よう] //TCS32035-0130-2  
 g-1.6.7 (<連体修飾節> <--> (<連体動詞句> <助動詞>)) ; その / ような [方法] // SLDB には存在しない

注) g-1.6.7 は、現在、形態素後処理 m-2.7.1 で (<普通名詞> <助動詞>) に品詞変更するので、この規則は使われない。

## g-1.7 &lt;動詞&gt;の構成規則

- g-1.7.1 (<動詞> <--> (<本動詞> <語尾>)) ; 分か / り [ました] //TAS12024-0130-1  
 g-1.7.2 (<動詞> <--> (<形容詞> <語尾>)) ; よろし / い [でしょうか] //TAS12023-0060-1  
 g-1.7.3 (<動詞> <--> (<本動詞>)) ; [スペルを] 教え [ていただけますか] //TRS22002-0190-1 (一段動詞の未然形、連用形、及び特殊活用動詞「来る」、「する」など)

## g-1.8 &lt;動詞&gt;を構成する例外規則

- g-1.8.1 (<動詞> <--> (<動詞> <接尾辞>)) ; 分かり / っこ [ない] // SLDB には存在しない

## g-1.9 &lt;接頭辞&gt;が述語(語幹)に接続する規則

- g-1.9.1 (<本動詞> <--> (<接頭辞> <本動詞>)) ; お / 願 [い] //TAS13024-0040-1  
 g-1.9.2 (<形容詞> <--> (<接頭辞> <形容詞>)) ; お / 安 [い] //TOS32010-0080-1  
 g-1.9.3 (<サ変名詞> <--> (<接頭辞> <サ変名詞>)) ; ご / 予約 [いたし] //TAS12023-0140-1 (名詞用法の場合は、形態素後処理 m-3.2.1.2 で名詞複合語句を構成する)  
 g-1.9.4 (<形容名詞> <--> (<接頭辞> <形容名詞>)) ; 御 / 親切 [に] //TCS32039-0150-1

## g-1.10 &lt;本動詞&gt;の構成規則

- g-1.10.1 (<本動詞> <--> (<本動詞> <接尾辞>)) ; 決め / かね [る] // SLDB には存在しない  
 g-1.10.2 (<本動詞> <--> (<動詞> <接尾辞>)) ; 言い出し / かね [る] // SLDB には存在しない  
 g-1.10.3 (<本動詞> <--> (<形容詞> <接尾辞>)) ; 早 / すぎ [ます] // SLDB には存在しない  
 g-1.10.4 (<本動詞> <--> (<普通名詞> <接尾辞> <接尾辞>)) ; 専門 / 的 / すぎ [る] // SLDB には存在しない

注) 現在、「かね(る)」、「すぎ(る)」などの活用する接尾辞は、形態素解析において補助動詞と解析される。

## g-1.11 述語句に&lt;助動詞&gt;、&lt;補助動詞&gt;が接続する規則

- g-1.11.1 (<動詞句> <--> (<動詞> <助動詞>)) ; 申し / ます //TAS12023-0020-1  
 g-1.11.2 (<動詞句> <--> (<動詞> <補助動詞>)) ; お願い / し [ます] //TAS13024-0040-1  
 g-1.11.3 (<動詞句> <--> (<動詞句> <助動詞>)) ; 確認いたし / ます //TAS12023-0040-2  
 g-1.11.4 (<動詞句> <--> (<動詞句> <補助動詞>)) ; お待たせ / いたし [ました] //TAS12023-0050-1

g-1.11.5 (<動詞句> <--> (<サ変名詞> <補助動詞>)) ; 見学 / し [ていただく] // TOS13004-0220-1

g-1.11.6 (<動詞句> <--> (<形容名詞> <助動詞>)) ; 結構 / です // TAS13023-0220-1

g-1.12 形容詞 (語幹) に <助動詞> が接続し、<動詞句> を構成する規則

g-1.12.1 (<動詞句> <--> (<形容詞> <助動詞>)) ; おもしろ / そう [です] // TOS33012-0230-1

g-1.13 変化の構文の規則

g-1.13.1 (<本動詞> <--> (<動詞> <本動詞>)) ; お部屋が広く / な [っており] // TCS13037-0100-1

注) g-1.13.1 は、複合動詞の構成規則を兼ねるが、SLDB に、この規則で複合動詞を構成する例は存在しない。  
(言い / 忘れ [ました] // TBS22001-0110-1 は本動詞と補助動詞に解析される)

g-1.13.2 (<本動詞> <--> (<動詞句> <本動詞>)) ; 無駄に / な [る] // TAS33003-0150-1

g-1.14 強調表現に用いられる <動詞句> の構成規則

g-1.14.1 (<動詞句> <--> (<動詞> <係助詞>)) ; 二人分で / は [ありません] // TCC23112-0130-1

g-1.14.2 (<動詞句> <--> (<動詞句> <係助詞>)) ; 御紹介できなく / は [ありません] // TCS33035-0130-1

g-1.14.3 (<動詞句> <--> (<動詞> <副助詞>)) ; 見る / しか [ありません] // SLDB には存在しない

g-1.14.4 (<動詞句> <--> (<動詞句> <副助詞>)) ; 見ていただく / しか [ありません] // SLDB には存在しない

注) g-1.14.3, g-1.14.4 を適用する副助詞は、「しか」に限定。

その他の副助詞の場合は、副助詞の直前の <動詞> または <動詞句> を <節> に書換えてから、<副詞句> を構成する規則 g-1.25.7、または <後置詞句> を構成する規則 g-1.28.8 を適用する。

g-1.15 <終助詞> が接続して <動詞句> を構成する規則

g-1.15.1 (<動詞句> <--> (<動詞> <終助詞>)) ; そうです / ね // TAS12023-0150-1

g-1.15.2 (<動詞句> <--> (<動詞句> <終助詞>)) ; よろしいでしょう / か // TAS13023-0110-2

g-1.16 述語修飾語句が <動詞> を修飾する規則

g-1.16.1 (<動詞> <--> (<後置詞句> <動詞>)) ; ご予約を / 承り [ました] // TAS12024-0140-1

g-1.16.2 (<動詞> <--> (<数量詞> <動詞>)) ; 一人分 / お願い [します] // TCC23091-0050-2

g-1.16.3 (<動詞> <--> (<副詞句> <動詞>)) ; 少々 / お待ち [ください] // TAS12023-0040-2

g-1.16.4 (<動詞> <--> (<連用修飾> <動詞>)) ; 楽しみに / し [ています] // TSS12002-0270-2

g-1.17 述語修飾語句が <形容詞> を修飾する規則

g-1.17.1 (<動詞> <--> (<後置詞句> <形容詞>)) ; どちらも / おいし [そうです] // TCC23091-0110-1

g-1.17.2 (<動詞> <--> (<副詞句> <形容詞>)) ; なかなか / おもしろ [そうです] // TOS33014-0180-1

g-1.17.3 (<動詞> <--> (<連用修飾> <形容詞>)) ; 非常に / 良さ [そうだ] // SLDB には存在しない

## g-1.18 述語修飾語句が&lt;サ変名詞&gt;を修飾する規則 (サ変名詞が述語用法の場合)

- g-1.18.1 (<動詞> <--> (<後置詞句> <サ変名詞>)) ; お早めに / ご予約 [ください]//TDS13009-0110-2  
 g-1.18.2 (<動詞> <--> (<副詞句> <サ変名詞>)) ; 必ず / お電話 [します]//TCC22111-0240-2  
 g-1.18.3 (<動詞> <--> (<数量詞> <サ変名詞>)) ; お一部屋、 / ご用意 [できます]//TAC22012-0110-1  
 g-1.18.4 (<動詞> <--> (<連用修飾> <サ変名詞>)) ; 多く / 参加 [していただきたい]//TDS13008-0080-1

注) 名詞用法の場合は、句構造規則 g-1.34.4 (<名詞句> <--> (<サ変名詞>)) で<名詞句>を構成する場合と、形態素後処理 m-3.2.1 によって名詞複合語句を構成する場合がある。

## g-1.19 述語修飾語句が&lt;形容名詞&gt;を修飾する規則 (形容名詞が述語用法の場合)

- g-1.19.1 (<動詞> <--> (<後置詞句> <形容名詞>)) ; それは / 結構 [です]//TAS13025-0160-1  
 g-1.19.2 (<動詞> <--> (<副詞句> <形容名詞>)) ; ととも / 大切 [な]//TCC23101-0040-1  
 g-1.19.3 (<動詞> <--> (<数量詞> <形容名詞>)) ; 七時間 / 必要 [になります]//THS32004-0130-1  
 g-1.19.4 (<動詞> <--> (<連用修飾> <形容名詞>)) ; 非常に / 大事 [な試合]//TCS12004-0280-2

注) 名詞用法の場合は、形態素後処理 m-2.7.3 で<普通名詞>に変更する場合と、形態素後処理 m-3.2.1 によって名詞複合語句を構成する場合がある。

## g-1.20 述語修飾語句に&lt;助動詞&gt;が接続する規則

- g-1.20.1 (<動詞> <--> (<名詞句> <助動詞>)) ; 説明書 / です //TCC22111-0130-1  
 g-1.20.2 (<動詞> <--> (<後置詞句> <助動詞>)) ; 公衆電話から / です //TCC22111-0220-2  
 g-1.20.3 (<動詞> <--> (<副詞句> <助動詞>)) ; そう / です //TAS12023-0070-1  
 g-1.20.4 (<動詞句> <--> (<副詞節> <助動詞>)) ; タワーを過ぎまして / です [ね]//TJS13002-0100-1  
 g-1.20.5 (<動詞句> <--> (<名詞節> <助動詞>)) ; 和室がいいん / です //TAS13024-0060-1

## g-1.21 &lt;助動詞&gt;、&lt;補助動詞&gt;の構成規則

- g-1.21.1 (<助動詞> <--> (<助動詞語幹> <語尾>)) ; [分かり]ま / し [た]//TBS22002-0100-1  
 g-1.21.2 (<補助動詞> <--> (<補助動詞語幹> <語尾>)) ; [お待ち] くださ / い //TBS33004-0190-2

## g-1.22 一段活用&lt;助動詞&gt;、&lt;補助動詞&gt;の未然、連用形を&lt;助動詞&gt;、&lt;補助動詞&gt;に書き換える規則

- g-1.22.1 (<助動詞> <--> (<助動詞語幹>)) ; [お待た]せ [いたしました]//TAS12023-0050-1  
 g-1.22.2 (<補助動詞> <--> (<補助動詞語幹>)) ; [お待ち] いただけ [ますか]//TAS13026-0100-2

## g-1.23 &lt;助動詞&gt;を構成する例外規則 (本来なら一語のはずの&lt;助動詞&gt;を再構成するための規則)

- g-1.23.1 (<助動詞語幹> <--> (<接続助詞> <補助動詞語幹>)) ; て / くださ [い]//TCC22114-0190-1  
 g-1.23.2 (<助動詞> <--> (<接続助詞> <補助動詞>)) ; て、 / き [ます]//TAS32010-0140-1

## g-1.24 &lt;副詞節&gt;の構成規則

- g-1.24.1 (<副詞節> <--> (<節> <接続助詞>)) ; 二十八日です / と //TAS13025-0080-2
- g-1.24.2 (<副詞節> <--> (<形容名詞> <接続助詞>)) ; 残念 / ながら // SLDB には存在しない (現在、「残念ながら」は一語で副詞である。ただし、言い誤り、読点で一語に解析されなかった場合を考慮して規則は残す。)
- g-1.24.3 (<副詞節> <--> (<副詞節> <係助詞>)) ; やはり日本料理を召し上がって / は [いかがですか] //TCS33021-0080-1
- g-1.24.4 (<副詞節> <--> (<副詞節> <格助詞>)) ; お調べしまして / から //TCC23112-0110-2

## g-1.25 &lt;副詞句&gt;の構成規則

- g-1.25.1 (<副詞句> <--> (<副詞>)) ; 少々 [お待ちください] //TGS12003-0120-3(一語の<副詞>を<副詞句>に書き換える)
- g-1.25.2 (<副詞句> <--> (<副詞> <格助詞>)) ; いろいろ / と //TCS33042-0240-2
- g-1.25.3 (<副詞句> <--> (<副詞> <係助詞>)) ; 少々 / は //TDS32002-0100-2
- g-1.25.4 (<副詞句> <--> (<副詞> <副助詞>)) ; 少し / くらい //TDS32008-0090-1
- g-1.25.5 (<副詞句> <--> (<節> <接続助詞>)) ; どのようにし / て [行けばいい] //TCC23084-0040-1
- g-1.25.6 (<副詞句> <--> (<節> <格助詞>)) ; お部屋に届け / に [あがります] //TCS12030-0100-2
- g-1.25.7 (<副詞句> <--> (<節> <副助詞>)) ; 診ていただく / ほど [ひどいとは] //TCC23073-0050-1
- g-1.25.8 (<副詞句> <--> (<動詞> <接尾辞>)) ; ニューヨークに滞 / 中 [の鈴木和夫] //TAS32007-0020-1
- g-1.25.9 (<副詞句> <--> (<動詞句> <接尾辞>)) ; 確認でき / しい // SLDB には存在しない
- g-1.25.10 (<副詞句> <--> (<サ変名詞> <接尾辞>)) ; 確認 / しい // SLDB には存在しない

注) 以上2例は、接尾辞「しい」を想定した場合の例である。ただし、現在、形態素解析では「しい」は接続助詞と解析されるので、この規則の適用対象にはならない。

- g-1.25.11 (<副詞句> <--> (<普通名詞> <接尾辞>)) ; 何時 / ごろ [お見え] //TAS12024-0150-1(時間に関する表現に適用する。他は、形態素後処理 m-3.2.1.3 の 2 により、名詞複合語句を構成する)
- g-1.25.12 (<副詞句> <--> (<代名詞> <副助詞>)) ; 何 / か [ございましたか] //TCC22112-0050-1
- g-1.25.13 (<副詞句> <--> (<代名詞> <接尾辞>)) ; いつ / 頃 [御滞在] //TAS33005-0090-1(時間に関する表現に適用する。他は、形態素後処理 m-3.2.1.3 の 5 により、名詞複合語句を構成する)
- g-1.25.14 (<副詞句> <--> (<連体修飾節> <副詞的名詞>)) ; バスで行く / 場合 //TIS33001-0240-2
- g-1.25.15 (<副詞句> <--> (<連体詞句> <副詞的名詞>)) ; 今の / ところ、 //TCC23103-0050-2
- g-1.25.16 (<副詞句> <--> (<普通名詞> <副詞的名詞>)) ; 夕食 / 後 // SLDB には存在しない (形態素後処理 m-3.2.1.1 の 7 により「夕食 後」で、名詞複合語句を構成する)
- g-1.25.17 (<副詞句> <--> (<サ変名詞> <副詞的名詞>)) ; 会議 / 前 // SLDB には存在しない (形態素後処理 m-3.2.1.1 の 2 により「会議 前」で、名詞複合語句を構成する)

注) この2例のように名詞類が連続する場合名詞複合語句の構成が優先される。

- g-1.25.18 (<副詞句> <--> (<副詞句> <格助詞>)) ; 必ず届くよう / に //TCS32035-0150-2
- g-1.25.19 (<副詞句> <--> (<副詞句> <係助詞>)) ; はっきりと / は //TCS33045-0080-1
- g-1.25.20 (<副詞句> <--> (<副詞句> <副助詞>)) ; 一般が行列に参加したり / とか [はできませんか] //TDS33013-0150-1

## g-1.26 &lt;文副詞&gt;を構成する例外規則

- g-1.26.1 (<文副詞> <--> (<感動詞> <接続助詞>)) ; 申し訳ありません / が //TGS33020-0130-1

## g-1.27 &lt;連用修飾&gt;の構成規則

- g-1.27.1 (<連用修飾> <--> (<形容詞> <語尾>)) ; 詳しく / く [教えてください] //TUS33004-0230-3



- g-1.27.2 (<連用修飾> <--> (<形容名詞> <助動詞>)) ; 大変 / に [有名な] // TRS13002-0100-2  
 g-1.27.3 (<連用修飾> <--> (<連用修飾> <係助詞>)) ; 正確に / は [分かりません] // TKS12004-0210-1  
 g-1.27.4 (<連用修飾> <--> (<名詞句> <連用修飾>)) ; ご遠慮 / なく [お申しつけ] // TCC23072-0130-2

## g-1.28 &lt;後置詞句&gt;の構成規則

- g-1.28.1 (<後置詞句> <--> (<名詞句> <格助詞>)) ; 宿泊日 / を // TAS12023-0030-1  
 g-1.28.2 (<後置詞句> <--> (<名詞句> <係助詞>)) ; お客様 / は // TAS12026-0050-2  
 g-1.28.3 (<後置詞句> <--> (<名詞句> <副助詞>)) ; こちら / しか [ございません] // TAS12024-0120-1  
 g-1.28.4 (<後置詞句> <--> (<名詞節> <格助詞>)) ; そちらまで行くの / に // TCC23081-0080-1  
 g-1.28.5 (<後置詞句> <--> (<名詞節> <係助詞>)) ; 注文したの / は // TCC23112-0130-1  
 g-1.28.6 (<後置詞句> <--> (<名詞節> <副助詞>)) ; [送信が長いのも] 短い / でも [... 手数料は変わらない] // TCS33023-0170-1  
 g-1.28.7 (<後置詞句> <--> (<節> <引用助詞>)) ; 東寺へ行こう / と [思ってる] // TCC23082-0040-1  
 g-1.28.8 (<後置詞句> <--> (<節> <副助詞>)) ; 高島屋が、ある / なんて [知らなかった] // TCS32018-0150-1  
 g-1.28.9 (<後置詞句> <--> (<後置詞句> <係助詞>)) ; 当ホテルで / は // TAS12023-0190-1  
 g-1.28.10 (<後置詞句> <--> (<後置詞句> <副助詞>)) ; 近くまで / でも [行ってみたい] // TIS32001-0130-1  
 g-1.28.11 (<後置詞句> <--> (<後置詞句> <格助詞>)) ; 午後一時から / と [なっております] // TCC23013-0030-2

## g-1.29 &lt;格助詞&gt;の構成規則

この規則は、助詞列「まで | に」が期限の意味を表す場合にのみ用いる。それ以外の場合、例えば TOS33010-0060-2 の「参考まで / に」には、g-1.28.11 を適用する。

- g-1.29.1 (<格助詞> <--> (<格助詞> <格助詞>)) ; [夜の八時] まで / に // THS22003-0070-1

## g-1.30 &lt;副助詞&gt;を構成する例外規則

- g-1.30.1 (<副助詞> <--> (<副助詞> <副助詞>)) ; ばかり / か // SLDB には存在しない

## g-1.31 &lt;引用助詞&gt;を構成する例外規則

- g-1.31.1 (<引用助詞> <--> (<引用助詞> <引用助詞>)) ; と、 / か // SLDB には存在しない

## g-1.32 &lt;連体詞句&gt;の構成規則

- g-1.32.1 (<連体詞句> <--> (<連体詞>)) ; その [通りです] // TGS23001-0080-1 (一語の <連体詞> を <連体詞句> に書き換える)  
 g-1.32.2 (<連体詞句> <--> (<名詞句> <連体助詞>)) ; どちら / の [ほう] // TBS22003-0140-1  
 g-1.32.3 (<連体詞句> <--> (<副詞句> <連体助詞>)) ; 社長を囲んで / の [パーティー] // TDS33010-0070-1  
 g-1.32.4 (<連体詞句> <--> (<後置詞句> <連体助詞>)) ; 日本から / の [小包] // TCS12030-0050-1  
 g-1.32.5 (<連体詞句> <--> (<節> <連体助詞>)) ; 送迎バスをご利用 / の [場合] // TCC23081-0090-1

## g-1.33 &lt;並立助詞&gt;が接続して &lt;連体詞句&gt;を構成する規則

- g-1.33.1 (<連体詞句> <--> (<名詞句> <並立助詞>)) ; お名前 / と [連絡先] // TAS13023-0160-2

---

g-1.34 <名詞句>の構成規則 (名詞の下位カテゴリを<名詞句>に書き換える)

- g-1.34.1 (<名詞句> <--> (<普通名詞>)) ; ホテル [は]//TJS12001-0100-1  
 g-1.34.2 (<名詞句> <--> (<固有名詞>)) ; ニューヨーク [に]//TIS13004-0040-1  
 g-1.34.3 (<名詞句> <--> (<代名詞>)) ; わたくし [, 担当の]//TBS23004-0350-1  
 g-1.34.4 (<名詞句> <--> (<サ変名詞>)) ; [空室の] 確認 //TAS12024-0060-1  
 g-1.34.5 (<名詞句> <--> (<人名>)) ; 田中 [です]//TCC22113-0040-2  
 g-1.34.6 (<名詞句> <--> (<姓名>)) ; 鈴木直子 [です]//TAS12025-0120-1  
 g-1.34.7 (<名詞句> <--> (<数詞>)) ; 零三 [の]//TGS33006-0350-1  
 g-1.34.8 (<名詞句> <--> (<数量詞>)) ; 二百四十ドル [の]//TAS12023-0130-1  
 g-1.34.9 (<名詞句> <--> (<日時>)) ; 二十四日 //TAS12023-0090-1  
 g-1.34.10 (<名詞句> <--> (<複合日時>)) ; 十月一日 //TDS33007-0120-2  
 g-1.34.11 (<名詞句> <--> (<住所>)) ; 大阪市淀川区西中島六の十二の二十六 //TCS22102-0070-1  
 g-1.34.12 (<名詞句> <--> (<住所名>)) ; 西 [の五十三丁目]//TOS22001-0100-1  
 g-1.34.13 (<名詞句> <--> (<番地要素>)) ; 六の十二の二十六 // SLDB には存在しない  
 g-1.34.14 (<名詞句> <--> (<複合番地要素>)) ; // SLDB には存在しない (<複合番地要素> が出現した場合は、すべて <住所> に接続する例のみ。→ g-1.45.2 参照)  
 g-1.34.15 (<名詞句> <--> (<区画番地>)) ; 五十三丁目 //TOS22001-0100-1  
 g-1.34.16 (<名詞句> <--> (<複合区画番地>)) ; // SLDB には存在しない (<複合区画番地> が構成される g-1.44.6 の適用例が存在しないため)

---

g-1.35 <連体詞句>が修飾して<名詞句>を構成する規則

- g-1.35.1 (<名詞句> <--> (<連体詞句> <準体助詞>)) ; キャンセル料という / の [は掛かるんでしょうか]//TAS12023-0180-1  
 g-1.35.2 (<名詞句> <--> (<連体詞句> <名詞句>)) ; その / 部屋 //TAS12023-0150-2

---

g-1.36 <連体修飾節>が修飾して<名詞句>・<名詞節>を構成する規則

- g-1.36.1 (<名詞句> <--> (<連体修飾節> <名詞句>)) ; 予約する / とき [には]//TCC22114-0090-1  
 g-1.36.2 (<名詞節> <--> (<連体修飾節> <準体助詞>)) ; そうな / ん [です]//TAS12024-0040-1

---

g-1.37 名詞の下位カテゴリに他の語句が接続して<名詞句>を構成する規則

- g-1.37.1 (<名詞句> <--> (<代名詞> <準体助詞>)) ; わたし / の [だ]//TCS13017-0130-1  
 g-1.37.2 (<名詞句> <--> (<数量詞> <準体助詞>)) ; 八時間 / の [は]//TOS13003-0110-1  
 g-1.37.3 (<名詞句> <--> (<名詞句> <副助詞>)) ; だれ / か [が]//TCS12031-0100-1  
 g-1.37.4 (<名詞句> <--> (<人名> <接尾辞>)) ; 鈴木 / 様 //TKS12003-0030-1  
 g-1.37.5 (<名詞句> <--> (<人名> <普通名詞>)) ; ブラウン / 夫妻 //TCS33048-0110-1  
 g-1.37.6 (<名詞句> <--> (<姓名> <接尾辞>)) ; 田中健史 / 様 //TCS12029-0070-1  
 g-1.37.7 (<名詞句> <--> (<姓名> <普通名詞>)) ; 長尾真 / 教授 // SLDB には存在しない  
 g-1.37.8 (<名詞句> <--> (<固有名詞> <接尾辞>)) ; シーエービー社 / 様 //TAS33013-0220-1

注) 企業名、団体名に<接尾辞>「様」などが接続する場合に限って適用する。それ以外は、形態素後処理 m-3.2.1.3 により名詞複合語句を構成する。

---

g-1.38 述語句に<接尾辞>、<副助詞>が接続して<名詞句>を構成する規則

- g-1.38.1 (<名詞句> <--> (<動詞> <接尾辞>)) ; 飲み / 放題 // SLDB には存在しない  
 g-1.38.2 (<名詞句> <--> (<動詞句> <接尾辞>)) ; 放置し / っ放し // SLDB には存在しない  
 g-1.38.3 (<名詞句> <--> (<形容詞> <接尾辞>)) ; 大き / さ // TCS12034-0060-2  
 g-1.38.4 (<名詞句> <--> (<節> <副助詞>)) ; 来てもらう / ほど [のことでもないの] // TCC22072-0140-1
- 

## g-1.39 &lt;接尾辞&gt; を構成する例外規則

- g-1.39.1 (<接尾辞> <--> (<接尾辞> <接尾辞>)) ; [-] 週 / 間 // TCS33047-0060-1 (この規則は「週 | 間」、「カ | 所」、「カ | 月」などの場合に限定して適用する)
- 

## g-1.40 &lt;数量詞&gt; の構成規則

- g-1.40.1 (<数詞> <--> (<接頭辞> <数詞>)) ; だいたい / 三十 [から五十ドルぐらい、の] // TOS32010-0080-1 (他に、「第 / 二 [に]」などの場合を想定。)  
 g-1.40.2 (<数量詞> <--> (<接頭辞> <数量詞>)) ; 約 / 十分 // TCS13034-0100-2  
 g-1.40.3 (<数量詞> <--> (<数詞> <接尾辞>)) ; 二 / 名 // TAS12024-0080-1  
 g-1.40.4 (<数量詞> <--> (<数詞> <普通名詞>)) ; 一 / 部屋 // TAS13024-0150-1  
 g-1.40.5 (<数量詞> <--> (<数量詞> <接尾辞>)) ; 二人 / 分 // TCC22113-0080-1  
 g-1.40.6 (<数量詞> <--> (<数量詞> <副助詞>)) ; 二十分 / ほど // TCC23081-0110-1  
 g-1.40.7 (<数量詞> <--> (<数量詞> <数量詞>)) ; お一人様 / 七千円 // TCS13036-0150-1
- 

## g-1.41 &lt;日時&gt;、&lt;複合日時&gt; の構成規則

- g-1.41.1 (<日時> <--> (<日時> <普通名詞>)) ; 十二時 / 過ぎ // TCS33038-0150-1  
 g-1.41.2 (<日時> <--> (<普通名詞> <日時>)) ; 午後 / 六時 // TAS12024-0160-1  
 g-1.41.3 (<日時> <--> (<日時> <接尾辞>)) ; 四時 / ごろ // TAS13026-0180-1  
 g-1.41.4 (<複合日時> <--> (<日時> <日時>)) ; 十月 / 一日 // TDS33007-0120-2  
 g-1.41.5 (<複合日時> <--> (<複合日時> <日時>)) ; 十月二十八日 / 金曜日 // TAS13025-0070-2  
 g-1.41.6 (<複合日時> <--> (<普通名詞> <複合日時>)) ; 午後 / 七時三十分 // TRS22002-0350-1  
 g-1.41.7 (<日時> <--> (<数詞> <接尾辞>)) ; 九十六 / 年 // TAS12025-0170-1  
 g-1.41.8 (<日時> <--> (<固有名詞> <日時>)) ; 平成 / 五年 // SLDB には存在しない
- 

## g-1.42 &lt;姓名&gt; の構成規則

- g-1.42.1 (<姓名> <--> (<人名> <人名>)) ; 鈴木 / 直子 // TGS32001-0050-1  
 g-1.42.2 (<姓名> <--> (<人名> <中黒> <人名>)) ; ジョン / ・ / フィリップス // TAS13025-0020-1
- 

## g-1.43 &lt;住所&gt;、&lt;住所要素&gt; の構成規則

- g-1.43.1 (<住所要素> <--> (<住所名> <接尾辞>)) ; 大阪 / 市 // TCS22101-0090-2  
 g-1.43.2 (<住所> <--> (<住所要素> <住所要素>)) ; 大阪市 / 淀川区 [西中島] // TCS22101-0090-2  
 g-1.43.3 (<住所> <--> (<住所> <住所要素>)) ; 大阪市淀川区 / 西中島 // TCS22101-0090-2  
 g-1.43.4 (<住所要素> <--> (<住所名>)) ; 西中島 // TCS22101-0090-2
- 

## g-1.44 &lt;番地&gt; などの構成規則

- g-1.44.1 (<番地要素> <--> (<数詞>)) ; 六 [の十二の二六]//TCS22101-0090-2  
 g-1.44.2 (<番地連体詞句> <--> (<番地要素> <連体助詞>)) ; 六 / の [十二の二六]//TCS22101-0090-2  
 g-1.44.3 (<複合番地要素> <--> (<番地連体詞句> <番地要素>)) ; 六の / 十二 [の二六]//TCS22101-0090-2  
 g-1.44.4 (<番地連体詞句> <--> (<複合番地要素> <連体助詞>)) ; 六の十二 / の [二六]//TCS22101-0090-2  
 g-1.44.5 (<区画番地> <--> (<数詞> <接尾辞>)) ; 五十九 / 丁目 //TIS22001-0060-1  
 g-1.44.6 (<複合区画番地> <--> (<区画番地> <区画番地>)) ; // SLDB には存在しない  
 g-1.44.7 (<複合区画番地> <--> (<複合区画番地> <区画番地>)) ; // SLDB には存在しない

## g-1.45 &lt;住所&gt; と &lt;番地&gt; と &lt;姓名&gt; の接続規則

- g-1.45.1 (<住所> <--> (<住所> <番地要素>)) ; // SLDB には存在しない  
 g-1.45.2 (<住所> <--> (<住所> <複合番地要素>)) ; 大阪市淀川区西中島 / 六の十二の二六 //TCS22101-0090-2  
 g-1.45.3 (<住所> <--> (<住所> <区画番地>)) ; // SLDB には存在しない  
 g-1.45.4 (<住所> <--> (<住所> <複合区画番地>)) ; // SLDB には存在しない  
 g-1.45.5 (<住所> <--> (<住所> <姓名>)) ; // SLDB には存在しない

## g-1.46 各カテゴリに&lt;読点&gt;が接続する規則

例は省略。

- g-1.46.1 (<接続詞> <--> (<接続詞> <読点>))  
 g-1.46.2 (<副詞> <--> (<副詞> <読点>))  
 g-1.46.3 (<文副詞> <--> (<文副詞> <読点>))  
 g-1.46.4 (<感動詞> <--> (<感動詞> <読点>))  
 g-1.46.5 (<本動詞> <--> (<本動詞> <読点>))  
 g-1.46.6 (<形容詞> <--> (<形容詞> <読点>))  
 g-1.46.7 (<語尾> <--> (<語尾> <読点>))  
 g-1.46.8 (<補助動詞> <--> (<補助動詞> <読点>))  
 g-1.46.9 (<補助動詞語幹> <--> (<補助動詞語幹> <読点>))  
 g-1.46.10 (<助動詞> <--> (<助動詞> <読点>))  
 g-1.46.11 (<助動詞語幹> <--> (<助動詞語幹> <読点>))  
 g-1.46.12 (<使役助動詞語幹> <--> (<使役助動詞語幹> <読点>))  
 g-1.46.13 (<受身助動詞語幹> <--> (<受身助動詞語幹> <読点>))  
 g-1.46.14 (<名詞句> <--> (<名詞句> <読点>))  
 g-1.46.15 (<形容名詞> <--> (<形容名詞> <読点>))  
 g-1.46.16 (<サ変名詞> <--> (<サ変名詞> <読点>))  
 g-1.46.17 (<普通名詞> <--> (<普通名詞> <読点>))  
 g-1.46.18 (<固有名詞> <--> (<固有名詞> <読点>))  
 g-1.46.19 (<代名詞> <--> (<代名詞> <読点>))  
 g-1.46.20 (<副詞の名詞> <--> (<副詞の名詞> <読点>))  
 g-1.46.21 (<数詞> <--> (<数詞> <読点>))  
 g-1.46.22 (<接頭辞> <--> (<接頭辞> <読点>))  
 g-1.46.23 (<接尾辞> <--> (<接尾辞> <読点>))  
 g-1.46.24 (<人名> <--> (<人名> <読点>))  
 g-1.46.25 (<住所名> <--> (<住所名> <読点>))  
 g-1.46.26 (<日時> <--> (<日時> <読点>))  
 g-1.46.27 (<連体詞> <--> (<連体詞> <読点>))  
 g-1.46.28 (<係助詞> <--> (<係助詞> <読点>))  
 g-1.46.29 (<格助詞> <--> (<格助詞> <読点>))  
 g-1.46.30 (<副助詞> <--> (<副助詞> <読点>))  
 g-1.46.31 (<引用助詞> <--> (<引用助詞> <読点>))  
 g-1.46.32 (<準体助詞> <--> (<準体助詞> <読点>))

- g-1.46.33 (<接続助詞> <--> (<接続助詞> <読点>))  
 g-1.46.34 (<連体助詞> <--> (<連体助詞> <読点>))  
 g-1.46.35 (<並立助詞> <--> (<並立助詞> <読点>))  
 g-1.46.36 (<終助詞> <--> (<終助詞> <読点>))

注) この規則は、<読点>が直前のプレターミナルに接続するときだけに用いられる。<名詞句>、<助動詞>のように中間カテゴリにもなりうるカテゴリについては、プレターミナルの場合以外は、<読点>は接続させない。(g-2.19.2 の同格表現の3項規則が唯一の例外である)

#### g-1.47 格のコントロール現象のための規則

- g-1.47.1 (<態の助動詞> <--> (<使役助動詞語幹>)) ; [お部屋のほうに運ば] せ [ますので]//TCS22061-0200-1  
 g-1.47.2 (<態の助動詞> <--> (<受身助動詞語幹>)) ; [イニシャルが書か] れ [てます]//TCC23034-0090-1  
 g-1.47.3 (<態の助動詞> <--> (<使役助動詞語幹> <語尾>)) ; [病人に食べ] させ / る //TCC22072-0050-1  
 g-1.47.4 (<態の助動詞> <--> (<受身助動詞語幹> <語尾>)) ; [回避さ] れ / る //TGS33004-0210-1  
 g-1.47.5 (<態の動詞> <--> (<本動詞> <語尾>)) ; [二十四時間ストが] 行 / わ [れる]//TGS33004-0050-1  
 g-1.47.6 (<態の動詞> <--> (<本動詞>)) ; [病人に] 食べ [させる]TCC22072-0050-1  
 g-1.47.7 (<態の動詞> <--> (<サ変名詞> <補助動詞>)) ; [空港が] 閉鎖 / さ [れる]//TGS32004-0300-1  
 g-1.47.8 (<態の動詞句> <--> (<後置詞句> <態の動詞句>)) ; 毎週水曜日に / 開かれ //TCS32005-0200-1  
 g-1.47.9 (<態の動詞句> <--> (<副詞句> <態の動詞句>)) ; そう / 言われ [ても]//TCS12004-0190-2  
 g-1.47.10 (<態の動詞句> <--> (<数量詞> <態の動詞句>)) ; 五百五十円ずつ / 加算され //TCS33015-0140-1  
 g-1.47.11 (<態の動詞句> <--> (<連用修飾> <態の動詞句>)) ; きれいに / パッケージされ //TCS13030-0060-1  
 g-1.47.12 (<態の動詞句> <--> (<態の動詞> <態の助動詞>)) ; [幹事に] 選ば / れ //TDS32005-0170-1  
 g-1.47.13 (<動詞句> <--> (<態の動詞句> <助動詞>)) ; 金閣寺が含まれ / てい [ない]//TDS33001-0110-1  
 g-1.47.14 (<動詞句> <--> (<態の動詞句> <補助動詞>)) ; 書かせられ / かね [ない]// SLDB には存在しない  
 g-1.47.15 (<態の助動詞> <--> (<使役助動詞語幹> <受身助動詞語幹>)) ; [書か] せ / られ [ました]// SLDB には存在しない  
 g-1.47.16 (<態の助動詞> <--> (<使役助動詞語幹> <態の助動詞>)) ; [書か] せ / られる // SLDB には存在しない  
 g-1.47.17 (<節> <--> (<態の動詞句>)) ; 運航が再開され [次第]//TGS32004-0250-1  
 g-1.47.18 (<連用接続節> <--> (<態の動詞句>)) ; 市は毎月二十一日、に行われ [... 賑やかでございます]//TCS33028-0050-1  
 g-1.47.19 (<連体修飾節> <--> (<態の動詞句>)) ; 友達を驚かせる [のに] //TCS33040-0070-3

#### g-1.48 <副詞>、<副詞句> がさまざまなカテゴリを修飾する規則

- g-1.48.1 (<文副詞> <--> (<副詞> <文副詞>)) ; 誠に / 申し訳ございませんけれども //TAS12004-0130-1  
 g-1.48.2 (<副詞句> <--> (<副詞> <副詞句>)) ; つい / 先ほど [電話しまして]//TIS13003-0030-1  
 g-1.48.3 (<数量詞> <--> (<副詞> <数量詞>)) ; もう / 一度 [繰り返してみます]//TVS33002-0270-1  
 g-1.48.4 (<連用修飾> <--> (<副詞> <連用修飾>)) ; もう少し / 詳しく [教えていただけます]//TUS32002-0040-2  
 g-1.48.5 (<名詞句> <--> (<副詞> <名詞句>)) ; [その] すぐ / 近く [です]//TUS33004-0260-1  
 g-1.48.6 (<連体詞句> <--> (<副詞句> <連体詞句>)) ; より / 大きな // SLDB には存在しない (SLDB では一語の<副詞>と<連体詞句>の場合 g-2.23.3 を適用する)

#### g-2 SLDB作成時に追加された句構造規則

g-1 で述べた日本語基本文法以後、構文解析のための句構造規則として、次に述べる規則を追加した。

これらの句構造規則の中には、他の句構造規則との整理統合で規則だけが残り、実例がないものがある。

実際の構文木作成作業においては、これらの規則は、パーザで使用する文法のテーブルにはのせていないので、対応する規則が適用される部分については、手作業で構文木を作成する。

#### g-2.1 <節> に <節> が接続する規則

g-2.1.1 (<節> <--> (<節> <節>)) ; そうですか、 / 鴨川屋ですか //TBS13004-0180-1

注) 使用頻度はかなり高いが、構文木の候補数が増えるため、この規則は、日本語基本文法には載せていない。

g-2.2 助詞の省略により、<名詞句>・<名詞節>が、直接述語を修飾する規則

g-2.2.1 (<動詞> <--> (<名詞句> <動詞>)) ; これ、 / なんです [か] //TRS13001-0120-2

g-2.2.2 (<動詞> <--> (<名詞句> <サ変名詞>)) ; ホテル / 予約 [したいんですけど] //TAC22012-0020-1

g-2.2.3 (<感動詞> <--> (<名詞句> <感動詞>)) ; お電話 / ありがとうございます //TAS32016-0190-1

g-2.2.4 (<動詞> <--> (<名詞句> <形容名詞>)) ; 何部屋 / ご必要 [でしょうか] //TAC23014-0110-2

g-2.2.5 (<動詞> <--> (<名詞節> <形容名詞>)) ; 英語で説明するの、 / 苦手 [なんですよ] //TCS32009-0080-1

g-2.2.6 (<動詞> <--> (<名詞節> <動詞>)) ; 十時ぐらいに、出るの、 / あり [ませんか] //TCS33052-0070-1

g-2.2.7 (<態の動詞句> <--> (<名詞句> <態の動詞句>)) ; 通常どおり / 運航されます //TGS32004-0080-1

g-2.3 <連用修飾>が<感動詞>を修飾し、<感動詞>を構成する規則

g-2.3.1 (<感動詞> <--> (<連用修飾> <感動詞>)) ; [どうも] 親切に / ありがとうございました //TCS12022-0290-2

g-2.4 <名詞句>が<形容詞>の語幹を修飾し、<動詞>を構成する規則

g-2.4.1 (<動詞> <--> (<名詞句> <形容詞>)) ; 両方 / おいし [そうですね] //TCS33027-0210-1

g-2.5 <形容詞>の語幹に<補助動詞>が接続して、<動詞句>を構成する規則

g-2.5.1 (<動詞句> <--> (<形容詞> <補助動詞>)) ; よろしゅう / ございます [か] //TBS32003-0110-2

g-2.6 <サ変名詞>、<形容名詞>を<動詞句>に書き換える規則

g-2.6.1 (<動詞句> <--> (<サ変名詞>)) ; // SLDB には存在しない

g-2.6.2 (<動詞句> <--> (<形容名詞>)) ; [それは (<感動詞>)] 残念、 [じゃあ...] //TCS33003-0090-1

g-2.7 <接続詞>・<連体詞>に<助動詞>が接続する規則

g-2.7.1 (<動詞句> <--> (<接続詞> <助動詞>)) ; しかし / です [ね] //TCC22091-0120-1

g-2.7.2 (<動詞句> <--> (<連体詞句> <助動詞>)) ; 子供の / です [ね] //TCS12006-0040-1

g-2.8 述語修飾語句に<終助詞>が接続して<動詞句>を構成する規則

g-2.8.1 (<動詞句> <--> (<接続詞> <終助詞>)) ; でも / なあ //TSS13001-0210-2

g-2.8.2 (<動詞句> <--> (<副詞句> <終助詞>)) ; ちょっと / ね //TCS32002-0070-1

g-2.8.3 (<動詞句> <--> (<副詞節> <終助詞>)) ; 約束がありまして / ねえ //TCS32007-0200-1

g-2.8.4 (<動詞句> <--> (<名詞句> <終助詞>)) ; 一泊百ドルぐらい / かな //TBS12002-0060-2

g-2.8.5 (<動詞句> <--> (<名詞節> <終助詞>)) ; 合計どれぐらいになるの / かしら //TCS32014-0140-1

---

g-2.9 述語修飾語句に<終助詞>が接続して構成された<動詞句>を、<後置詞句>が修飾する規則

g-2.9.1 (<動詞句> <--> (<後置詞句> <動詞句>)) ; 値段は / 一泊百ドルぐらいかな //TBS12002-0060-2

---

g-2.10 <終助詞>が接続して<後置詞句>を構成する規則

g-2.10.1 (<後置詞句> <--> (<後置詞句> <終助詞>)) ; お友達のおみやげに / ね //TCS32005-0030-1

注) <終助詞>が右辺右要素である場合、a: 左辺が<動詞句>になる場合 と b: 右辺左要素が左辺に上がる場合がある。g-2.8 の全規則は a の場合、g-2.10.1 , g-2.13.4 , g-2.23.2 は b の場合としている。

---

g-2.11 <引用助詞>が接続して、<後置詞句>を構成する規則

g-2.11.1 (<後置詞句> <--> (<後置詞句> <引用助詞>)) ; 七月二十五日から / と [思っています] //TAS33005-0100-1

g-2.11.2 (<後置詞句> <--> (<副詞句> <引用助詞>)) ; [その点は] どう / かと [思ってる] //TDS13001-0070-1

g-2.11.3 (<後置詞句> <--> (<名詞句> <引用助詞>)) ; 十二時三十分 / かと [思います] //TIS13003-0170-1

g-2.11.4 (<後置詞句> <--> (<副詞節> <引用助詞>)) ; お願いできれば / と [思っ] //TCS33010-0100-1

注) 以上は、後続の述語が「思う」、「存じる」の場合に限定される。

---

g-2.12 <並立助詞句>に助詞類が接続して、<後置詞句>を構成する規則

g-2.12.1 (<後置詞句> <--> (<並立助詞句> <格助詞>)) ; [りんごか] 何か / を [むいて] //TCC22073-0140-1

g-2.12.2 (<後置詞句> <--> (<並立助詞句> <係助詞>)) ; ひかりとのぞみと / は //THS33005-0210-2

---

g-2.13 <並立助詞句>を構成する規則

g-2.13.1 (<並立助詞句> <--> (<後置詞句> <並立助詞>)) ; どこから乗ればいいのか / と、 [それから] //TCC23082-0060-2

g-2.13.2 (<並立助詞句> <--> (<節> <並立助詞>)) ; サービス料です / とか、 [税金です / とか、] //TAS13001-0200-1

g-2.13.3 (<並立助詞句> <--> (<名詞句> <並立助詞>)) ; 連絡先の電話番号 / と、 [それから] //TAS12001-0200-1

g-2.13.4 (<並立助詞句> <--> (<並立助詞句> <終助詞>)) ; ハリウッドの映画のものとか / ね、 //TCS32006-0120-1

---

g-2.14 <副詞節>を構成する規則

g-2.14.1 (<副詞節> <--> (<副詞節> <接続助詞>)) ; もし歩いていくしかないなら / ば //TCS33041-0230-2

g-2.14.2 (<副詞節> <--> (<サ変名詞> <接続助詞>)) ; // SLDB には存在しない

---

g-2.15 <接頭辞>・<連体詞>が<副詞>を修飾する規則

g-2.15.1 (<副詞> <--> (<接頭辞> <副詞>)) ; ご / ゆっくり [お休みください] //TBS32004-0240-2

g-2.15.2 (<副詞> <--> (<連体詞> <副詞>)) ; ほんの / ちょっと [部屋を空けた] //TCS22121-0080-1

## g-2.16 &lt;副詞句&gt; を構成する規則

- g-2.16.1 (<副詞句> <--> (<副詞句> <副詞句>)) ; // SLDB には存在しない  
 g-2.16.2 (<副詞句> <--> (<名詞句> <接続助詞>)) ; 当然のこと / ながら //TCS32027-0080-1  
 g-2.16.3 (<副詞句> <--> (<サ変名詞> <接続助詞>)) ; 散歩 / がてら //TCS33001-0160-2  
 g-2.16.4 (<副詞句> <--> (<名詞句> <副助詞>)) ; // SLDB には存在しない  
 g-2.16.5 (<副詞句> <--> (<節> <係助詞>)) ; // SLDB には存在しない

## g-2.17 &lt;連用修飾&gt; を構成する規則

- g-2.17.1 (<連用修飾> <--> (<形容名詞>)) ; 正直 / 言い [ますと] //TTS13001-0240-1  
 g-2.17.2 (<連用修飾> <--> (<副詞句> <連用修飾>)) ; できるかぎり / 早く //TCC22042-0120-3  
 g-2.17.3 (<連用修飾> <--> (<数量詞> <連用修飾>)) ; 百五十ドル / 余分に [請求] //TCC22114-0150-2

## g-2.18 &lt;連体詞句&gt; が &lt;名詞節&gt; を修飾する規則

- g-2.18.1 (<名詞節> <--> (<連体詞句> <名詞節>)) ; その / 割引していただくの [は] //TDS32004-0140-1

## g-2.19 同格を表す &lt;名詞句&gt; を構成する規則

- g-2.19.1 (<名詞句> <--> (<名詞句> <名詞句>)) ; 次の金曜日 / 二十八日 [の夜] //TDS13006-0060-1  
 g-2.19.2 (<名詞句> <--> (<名詞句> <読点> <名詞句>)) ; [こちら] 係 /、 / 鈴木 [と申しました] //TAC23022-0170-2

注) g-2.19.2 が適用できる場合、常に g-2.19.1 も適用可能となるが、g-2.19.2 が優先する。

## g-2.20 &lt;名詞句&gt; を構成する規則

- g-2.20.1 (<名詞句> <--> (<形容名詞> <接尾辞>)) ; 便利 / さ [ということを] //TDS32001-0100-1

注) g-1.38.3 <形容詞> に <接尾辞> が接続する場合の例 参照。(「さ」以外の接尾辞が後接する場合には、形態素後処理 m-3.2.1.3 により名詞複合語句を構成する。)

- g-2.20.2 (<名詞句> <--> (<数量詞> <名詞句>)) ; 十メートルほど / 先 [を] //TIS33009-0180-1(この例の場合、<副助詞>「ほど」がなければ、形態素後処理 m-3.2.3.2 の 2 により名詞複合語句を構成する。)

- g-2.20.3 (<名詞句> <--> (<名詞句> <準体助詞>)) ; 十三時発 / の [で] //THS32001-0090-1  
 g-2.20.4 (<名詞句> <--> (<名詞句> <副詞>)) ; あした / いっぱい [まで] //TCC23061-0090-2  
 g-2.20.5 (<名詞句> <--> (<形容名詞> <名詞句>)) ; 同じ / 部屋 //TAC23032-0050-1(この規則は <形容名詞> 「同じ」に限定して適用する)

## g-2.21 &lt;数量詞&gt; を構成する規則

- g-2.21.1 (<数量詞> <--> (<数量詞> <係助詞>)) ; 三百年 / も [の歴史] //TCS13020-0120-1



注) 係助詞「も」、「は」を伴う強調表現の場合に限り、<後置詞句>ではなく、<数量詞>を構成する。

- g-2.21.2 (<数量詞> <--> (<数量詞> <副詞>)) ; 百ドル / ちょうど [に] // TBS12002-0130-1  
 g-2.21.3 (<数量詞> <--> (<数量詞> <連用修飾>)) ; 一月 / 近く [かかります] // TGS32013-0210-1

#### g-2.22 <日時>・<複合日時>を構成する規則

- g-2.22.1 (<日時> <--> (<日時> <サ変名詞>)) ; 六時 / 前後 [になる] // TAC22013-0380-2  
 g-2.22.2 (<日時> <--> (<日時> <副詞>)) ; 二十一時 / ちょうど [の便] // TGS33001-0170-1  
 g-2.22.3 (<日時> <--> (<日時> <副助詞>)) ; [九月十日] 正午 / ぐらい // THS23002-0090-2  
 g-2.22.4 (<複合日時> <--> (<複合日時> <接尾辞>)) ; 十時三十分 / 頃 // TCS33040-0110-1  
 g-2.22.5 (<複合日時> <--> (<複合日時> <普通名詞>)) ; 八月十二日 / 夜 [の予約] // TSS32002-0030-1  
 g-2.22.6 (<複合日時> <--> (<日時> <複合日時>)) ; 二十八日 / 五時半 [より] // SLDB には存在しない  
 g-2.22.7 (<複合日時> <--> (<複合日時> <複合日時>)) ; 八月十二日、 / 七時三十分 // TSS22001-0240-2

#### g-2.23 <連体詞句>を構成する規則

- g-2.23.1 (<連体詞句> <--> (<連用修飾> <連体詞>)) ; 非常に / 大きな [ショッピングアーケード] // TAS32016-0130-1  
 g-2.23.2 (<連体詞句> <--> (<連体詞句> <終助詞>)) ; あしたの / ね [朝十時にチェックアウトし] // TCS32002-0050-1  
 g-2.23.3 (<連体詞句> <--> (<副詞> <連体詞句>)) ; かなり / 大きな [ホテル] // TBS12004-0250-2

#### g-3 SLDB以後に追加された句構造規則

SLDB の構文木付与作業終了後、LDB の構文木付与作業において、新たに追加された句構造規則を挙げる。

実際の構文木作成作業において、これらの規則は、g-2 と同様、パーザで使用する文法のテーブルにはのせていないので、対応する規則が適用される部分については、手作業で構文木を作成する。

#### g-3.1 <並立助詞句>を構成する規則

- g-3.1.1 (<並立助詞句> <--> (<名詞節> <並立助詞>)) ; ケーブルカーを利用するの / と // IT320032-0150-2  
 g-3.1.2 (<並立助詞句> <--> (<並立助詞句> <並立助詞>)) ; 主な出版社が... 路上に並べたり / とか [... したりするんですよ。] // OT320071-0070-2

#### g-3.2 <連体詞句>を構成する規則

- g-3.2.1 (<連体詞句> <--> (<形容詞> <連体助詞>)) ; 懐かし / の [ポップスを] // DT130031-0070-1

#### g-3.3 <副詞句>を構成する規則

- g-3.3.1 (<副詞句> <--> (<連用修飾> <副詞句>)) ; 非常に / よく [川が見えるお席] // ST220021-0090-1

#### g-3.4 述語修飾語句に<終助詞>が接続して構成された<動詞句>を、<副詞句>が修飾する規則

- g-3.4.1 (<動詞句> <--> (<副詞句> <動詞句>)) ; 多分 / ワシントンに着くのは、夜の七時過ぎぐらいかな // AT320012-0180-1